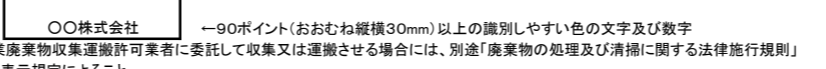


# スケートボード等専用施設管理棟ほか1棟新築本体工事

NO	【意匠図】図面名称	縮尺	NO	【意匠図】図面名称	縮尺
A-00	表紙・図面リスト	no-scale			
A-01	建築工事特記仕様書5-1	no-scale	S-01	新構造設計標準仕様 その1	no-scale
A-02	建築工事特記仕様書5-2	no-scale	S-02	新構造設計標準仕様 その2	no-scale
A-03	建築工事特記仕様書5-3	no-scale	S-03	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)	no-scale
A-04	建築工事特記仕様書5-4	no-scale	S-04	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)	no-scale
A-05	建築工事特記仕様書5-5	no-scale	S-05	鉄筋コンクリート構造配筋標準図(3)	no-scale
A-06	概要・仕上表, 付近見取図, 建物求積図	no-scale S=1/300	S-06	鉄骨構造標準図(1)	no-scale
A-07	配置図, 敷地求積図	S=1/400 S=1/800	S-07	鉄骨構造標準図(2)	no-scale
A-08	LVS計算・24時間換気計算	no-scale	S-08	デッキ合成スラブ設計・施工標準	no-scale
A-09	管理棟_平面図	S=1/100	S-09	ボーリング柱状図・基礎断面図	S=1/100
A-10	管理棟_立面図, 断面図	S=1/100	S-10	地盤改良特記仕様書(管理棟) 参考	no-scale
A-11	管理棟_矩計図	S=1/30	S-11	地盤改良特記仕様書(ダンス競技場) 参考	no-scale
A-12	管理棟_天井伏図, 床伏図	S=1/100	S-12	部材リスト, 共通事項	no-scale S=1/40
A-13	ダンス競技棟_平面図, 屋根伏図, 天井伏図	S=1/100	S-13	管理棟_砕石パイル伏図, 基礎伏図	S=1/100
A-14	ダンス競技棟_立面図, 断面図	S=1/100	S-14	ダンス競技棟_砕石パイル伏図, 基礎伏図	S=1/100
A-15	ダンス競技棟_矩計図	S=1/30	S-15	基礎・地中梁リスト(管理棟)	S=1/40
A-16	管理棟_建具図	S=1/50	S-16	基礎・地中梁リスト(ダンス競技場)	S=1/100
A-17	管理棟_展開図1	S=1/50	S-17	管理棟_屋根伏図	S=1/40
A-18	管理棟_展開図2	S=1/50	S-18	管理棟_軸組図	S=1/100
A-19	管理棟_展開図3	S=1/50	S-19	ダンス競技棟_屋根伏図, 軸組図	S=1/100
A-20	管理棟_平面詳細図	S=1/50	S-20	管理棟_鉄骨詳細図	S=1/40
A-21	管理棟_階段詳細図	S=1/40	S-21	ダンス競技棟_鉄骨詳細図	S=1/40
A-22	管理棟_屋上手摺詳細図1	S=1/50			
A-23	管理棟_屋上手摺詳細図2	S=1/50			
A-24	管理棟_造作家具図1(カウンター)	S=1/20			
A-25	管理棟_造作家具図2(造作流し)	S=1/30			
A-26	管理棟_部分詳細図1(アルミパーテーション)	S=1/50, 1/5			
A-27	管理棟_部分詳細図2(バリアフリードア)	S=1/50, 1/5			
A-28	管理棟_部分詳細図3(WC引戸)	S=1/50, 1/5			
A-29	管理棟_部分詳細図4(用具入れドア)	S=1/50, 1/5			
A-30	管理棟_部分詳細図5(室外機外部フェンス)	S=1/20			
A-31	管理棟_詳細図	S=1/5, 1/10, 1/20			
A-32	管理棟_サイン平面図	S=1/100			
A-33	管理棟_サイン(S-1)詳細図	S=1/30, 1/8, 1/1			
A-34	管理棟_サイン(S-2)詳細図	S=1/30, 1/8			
A-35	管理棟_屋根各部断面図	S=1/10			
A-36	ダンス競技棟_屋根各部断面図	S=1/10			
A-37	重力式擁壁図	S=1/50, 1/40			
A-38	仮設計画図	S=1/400			

一級建築士事務所 知事登録 第1-4-16号 トラス・アーキテクト株式会社 一級建築士 第344260号 木元 達也	スケートボード等専用施設管理棟 ほか1棟新築本体工事 表紙・図面リスト 鹿児島市建設局建築部建築課	A-00
--	--	------

建築工事特記仕様書		特記事項	特記事項
<b>I. 工事概要</b> 1. 工事名称 スケートボード等専用施設管理棟ほか1棟新築本体工事 2. 工事場所 鹿児島市与次郎二丁目2番9615 3. 工事種目 (○)新築 ・増築 ・改築 ・改修 ・その他 ) 4. 工事期間 令和 9 年 3 月 1 日まで			
<b>II. 建築工事仕様</b> ○ 1. 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書」(建築工事編)(令和7年版)、「公共建築改修工事標準仕様書」(建築工事編)(令和7年版)及び「公共建築木造工事標準仕様書」(令和7年版)による。 ○ 2. 特記事項の適用は次のとおりとする。 1) 項目は ○ 印の付いたものを適用する。 2) 特記事項は ◎ 印の付いたものを適用する。 ◎ 印の付かない場合は、※ 印の付いたものを適用する。 ◎ 印と ◎ 印の付いた場合は、共に適用する。 3) 特記事項に記載の ( ) 内表示番号は、公共建築工事標準仕様書(建築工事編)の当該項目、当該図、又は当該表を示す。 4) 形状寸法の単位は、特記なきがミリメートルとする。			
<b>III. 一般事項</b> 適用 ○ 1. 本工事は鹿児島市建設工事請負契約書に基づき、施工するものとする ○ 2. 前払金 ※請求することができる ・令和 年度中に請求すること ○ 3. 中間前払金 1) 請負金額が100万円以上で年度内に完成する工事は、中間前払金か部分払かのいずれかを選択することができる。 2) 中間前払金を受けのための要件(全て満たすこと。) ア) 請負金額の10分の4の前払金がなされていること。 イ) 工期の2分の1を経過していること。 ウ) 工程表により工期の2分の1を経過するまでに実施するべきものとされている当該工事に係る作業が行われていること。 エ) 既に行われた当該工事に係る作業に要する経費が請負金額の2分の1以上の額に相当するものであること。 3) 中間前払金の割合について 請負代金の10分の2以内とする。ただし、中間前払金を支出した後の前払金の合計額が請負代金の額の10分の6を超えてはならないものとする。 ○ 4. 部分払 部分払については、鹿児島市契約規則による。 ○ 5. 部分払対象品目 工事の出来形部分並びに、工事現場に搬入した工事材料のうち、次の工事に含まれるものは部分払いの対象とする。ただし、監督員の検査に合格したものであって確認写真及び出来高等の確認ができるものに限る。 1.仮設工事 2.土工事 3.地業工事 4.鉄筋工事 5.コンクリート工事 6.鉄骨工事 7.コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事 8.防水工事 9.石工事 10.タイル工事 11.木工事 12.屋根及びびとい工事 13.金属工事 14.左官工事 15.建具工事 16.ファンコイル工事 17.塗装工事 18.内装工事 19.ユニット及びその他の工事 20.排水工事 21.舗装工事 22.植栽及び屋上緑化工事 ○ 6. 火災保険等 請負契約締結後速やかに次の工事保険に加入し、証券又はこれに代わるもの(保険証券等)の写しを直ちに監督員に提出するものとする。 保証期間は工期後満21日間(24時)までとする。 ※ 火災保険等(工事目的物及び工事材料(支給材料を含む)等に生じる損害を填補) ( ※ 火災等 ※ 工事材料等の盗難等 ・その他 ) に対応したものを含むこと。 ※ 請負業者賠償責任保険(工事の施工に伴い第三者に与えた損害を填補) なお、上記の保険内容が含まれる火災保険、建設工事保険、組立保険等でも可とする。 その場合、保険証券等により保険内容が確認できるものであること。 ○ 7. 住宅瑕疵担保履行法について 受注者は、「特定住宅瑕疵担保責任の履行の確保等に関する法律」(平成19年法律第66号)に基づき、保険への加入又は保証金の供託を行うものとする。なお、保険加入の場合は、着工前に保険法人に申し込む必要があるので注意すること。 ○ 8. 契約不適合担保責任検査 契約不適合担保責任(鹿児島市建設工事請負契約書第41条)の確実な履行を図るため、受注者は、契約不適合責任期間の満了前に、受注者の負担で、契約不適合担保責任検査を実施すること。受注者は、発注者から契約不適合担保責任検査実施の通知を受けた場合は、発注者の指定する方法により速やかに契約不適合担保責任検査の実施日及び報告書提出日回答したうえで、契約不適合担保責任検査を実施し、その結果を報告すること。なお、履行の追完方法は発注者と協議のうえ、実施すること。 ○ 9. 施工体制台帳の提出等 1) 建設工事の一部を下請に付する場合は、施工体制台帳及び添付書類を作成し、工事現場に備え置くとともに、その写しを監督員に遅滞なく(遅くとも下請下請工事の着手前まで)提出すること。また、施工体制台帳の記載事項又は添付書類に変更があったときは、その都度、当該変更があった年月日を付記して、変更に関する事項について、作成し提出すること。 2) 工事を施工するため、建設工事の一部又は以下の各号の業務を下請に付する場合は、施工体系図を作成し、工事の期間中、工事現場の工事関係者が見やすい場所及び公衆の見やすい場所に掲示するとともに、その写しを監督員に遅滞なく(遅くとも下請下請工事の着手前まで)提出すること。また、施工体系図の記載事項に変更があったときは、その都度、変更に関する事項について、作成し提出すること。 (1)伐採及び測量・調査等の工事現場で作業を行う業務 (2)土砂やコンクリート等の運搬のみを行う業務 (3)工事現場の警備(交通誘導を含む)を行う業務 (4)その他監督職員が記載を指示した業務等 ○ 10. 環境基本計画 1) 本工事に伴う環境への影響を抑制するため、工事車両通行往復ルートの分別、交通整理員の配置、走行速度の制限、ルートの設定等の対策を講じること 2) 本工事に使用する建設機械については、原則として、国等による環境物品等の調達推進等に関する法律第10条第1項に基づく環境物品等調達方針に適合するものを使用すること。 3) 本工事に伴い提出する関係書類については、可能な限り、国等による環境物品等の調達推進等に関する法律第10条第1項に基づく環境物品等調達方針適合製品又はエコマーク製品、グリーンマーク製品などの環境ラベリング製品を使用すること。 4) 本工事に伴い提出する関係書類については、写真やメーカー提出の資料等、両面印刷では支障を生ずるものは除き、可能な限り、両面印刷すること。 5) 工事に伴い発生する廃棄物については、缶・ビン、ペットボトル、プラスチック容器等を搬出しやすいよう分別ボックスの設置スペース又は分別ヤードを設置するなどして、分別の徹底及びリサイクルに努めること。 ○ 11. 排出ガス対策型建設機械の使用について 本工事において以下の対象機種を使用する場合は、排出ガス対策型建設機械又は「排出ガス浄化装置」装着機械の使用を原則とする。ただし、①リース業者等が対策型建設機械を供給できない場合、②自社で未対策型建設機械を保有し対策型建設機械を使用することが妥当でない場合等は、監督員との協議により、未対策型建設機械を使用してもよいものとする。 (1)バックホウ (2)ホイールローダ (3)ブルドーザ (4)発動発電機 (5)空圧圧縮機 (6)油圧ユニット (7)ローラ類 (8)ラフテレーンクレーン なお、排出ガス対策型建設機械又は「排出ガス浄化装置」装着機械の使用の有無を施工計画書に明示すること。 ○ 12. 低騒音型建設機械の使用の原則化について 本工事は「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針」(昭和62年建設省経機発第58号)に基づき「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定」(平成9年建設省告示第1536号)により指定された低騒音型建設機械の使用を原則とする。 なお、低騒音型建設機械の使用の有無を施工計画書に明示すること。 ○ 13. ダンプトラック等による過積載等の防止について 1) 工事事務用資材等の積載超過のないようにすること。 2) 過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。 3) 資材等の過積載を防止するため、資材の購入等に当たっては、資材納入業者等の利益を不当に害することがないようにすること。 4) さし枠の装着又は物品積載装置の不正改造をしたダンプトラックが、工事現場に入入ることがないようにすること。 5) 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」(以下「法」という。)の目的に鑑み、法第1条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。 6) 下請契約の相手方又は資材納入業者を選定するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故が発生させたものを排除すること。 7) 1)から6)のことにつき、下請契約における受注者を指導すること。		特記事項 ○ 14. 産業廃棄物収集運搬車に係る表示及び書面備え付けについて 両側面に「産業廃棄物の収集又は運搬に供する運搬車である旨」及び「排出事業者名」を表示するとともに、その運搬車に「産業廃棄物の収集又は運搬の用に供する運搬車であることを証する書面」を備え付けること。 [表示例]  〇〇株式会社 ←90ポイント(おおむね縦横30mm)以上の識別しやすい色の文字及び数字 なお、産業廃棄物収集運搬許可業者に委託して収集又は運搬させる場合には、別途「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則」に基づく、表示規定によること。 ○ 15. 内装仕上りに使用する材料等の選定について 1) ホルムアルデヒドを発生する建材については、F☆☆☆☆の規格に適合すること。 ただし、これによりがたい場合は、監督員と協議し、承諾を得ること。 対象となる材料(居室に使用する内装材、並びに、造り付け木製家具) 木質建材(合板、木質フローリング、パーティクルボード、MDF等)、壁紙、ホルムアルデヒドを含む断熱材、接着剤、仕上塗材等 2) クロルビリホスについて クロルビリホスを添加しないこと。クロルビリホスを添加した材料でないこと。 3) 建築材料の種類、種類、数量、及び面積等について 必要書類等 ア) 施工計画書提出時に、JIS、JASの表示、又は、国土交通大臣認定書の写し等を添付し監督員の承諾を得ること。 イ) 材料搬入時に表示等を確認をし、記録写真を提出すること。 ウ) 工事終了後に、内装仕上部分を書した写真を提出すること。 ※ 塗料は、ホルマリン不検出のもので、水性形のもとする。(水廻り及び湿度の高い箇所を除く) ただし、有機溶剤系塗料を使用する場合は、トルエンやキシレンの放散が極力小さいものとする。 ○ 16. 現場代理人の工事現場への常駐を要しない場合について 1) 現場代理人の工事現場への常駐を要しない場合 現場代理人は現場に常駐し、その運営、取締りを行うこととされているが、以下の要件を満たす場合には、工事請負契約第10条第3項の「工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がない」として取り扱うこととする。ただし、いずれの場合にも連絡が常にとれる体制を確保する必要や、現場保全の義務(現場の巡回等)があるため、現場代理人を設置しておくことは必要である。 ア) 契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間 イ) 工事請負契約書第20条により工事が一時中止されている期間 ウ) 橋梁、ポンプ、ゲート、モレーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間 エ) 前3号に掲げる期間のほか、受注者から工事完成の通知があり、完成検査、事務手続、後片付け等のみが残っているなど、工事現場において作業等が行われていない期間 2) 発注者への報告 上記1)の要件を満たす場合は、現場代理人の工事現場における常駐は不要とし、他の工事と兼務することを可能とするが、「工事打合簿」等により、工事現場において作業等が行われていない期間を明確にしておくこと。 ○ 17. 現場代理人の兼任について 1) 現場代理人の兼任を認める工事 現場代理人は、請負契約の的確な履行を確保するため、工事現場の運営、取締りのほか、工事の施工及び契約関係事務に関する一切の事項(請負代金の変更、契約の解除等を除く。)を処理する受注者の代理人であるが、次のア)からオ)の全てを満たし、工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がないと発注者が認めた場合、工事現場の兼任を認めるものとする。 なお、専任の主任(監理)技術者と現場代理人を兼務する場合において、専任の技術者配置の特例により他の現場と兼任が認められた工事については、イ)、エ)、オ)の要件を満たすものとし、兼任できる工事は2件までとする。 ア) 兼任できる工事は3件までとし、それぞれの工事の請負金額が4,500万円未満であること。ただし、設計変更により、工事の請負金額が4,500万円以上となり、各々の工事における主任(監理)技術者と現場代理人が異なる場合においては、受発注者協議の上、兼任することが出来る。 ※建築一式工事は9,000万円 イ) 発注者又は監督員と常に携帯電話等で連絡が取れること。 ウ) 兼任する工事の相互の移動は、概ね1時間以内であること。 エ) 発注者又は監督員が求めた場合には、工事現場に速やかに向かう等の対応を行うこと。 オ) 兼任する現場代理人は、必ず担当工事現場のいずれかに常駐するとともに、1日1回以上、担当工事現場を巡回し、現場管理等に当たること。 2) 手続き 現場代理人の兼任を行う場合には、兼任(変更)申請書を提出し、発注者の承認を得たのち、必要に応じ、現場代理人等変更通知書により、発注者に通知すること。なお、各々の工事において、発注者に現場代理人の兼任の承認を得ること。 3) 受注者に対する措置請求 安全管理の不徹底や現場体制の不備に起因する事故等が発生した場合、建設工事請負契約書第12条に基づき、受注者に対して、必要な措置を取るべきことを請求するものとする。 ○ 18. 低入札価格調査に基づく措置について 低入札価格調査基準価格未満の価格での受注者に対しては、次に掲げる措置を講じるものとする。 1) 施工体制の強化 ア) 低入札価格調査の対象となった工事(以下「調査対象工事」という。)には、専任の主任技術者等を配置すること。 イ) 調査対象工事を施工する場合において、契約日の属する年度及びその前年度に完成した工事に関し、次のいずれかに該当する場合は、配置すべき主任技術者又は監理技術者とは別に、同等の要件を満たす技術者を専任で人配置すること。 a) 65点未満の工事成績評定を通知された場合 b) 工事請負契約書に基づき修補又は損害賠償を請求された場合 c) 品質管理・安全管理に関し、指名停止又は書面による警告・注意の喚起を受けた場合 d) 自らに起因して工期を大幅に遅らせた場合 2) 監督体制の強化 ア) 受注者は、施工体制台帳を提出し、その内容についてのヒアリングを求められたときはこれに応じなければならない。 イ) 受注者は、特記仕様書に基づく施工計画書を提出し、その内容についてのヒアリングを求められたときはこれに応じなければならない。 ○ 19. 「快適トイレ」の試行について 受注者は積極的に快適トイレの試行に取り組むこと。快適トイレを設置する場合は、「建設現場における「快適トイレ」設置の試行の改定について(令和8年6月2日付け鹿児島市建設局通知)」に基づき行うものとする。なお、通知は鹿児島市ホームページから入手できる。 ○ 20. 足場の設置について 足場の設置を必要とする場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン」(厚生労働省令和5年12月26日)によるものとする。 なお、これにより難しい場合は、監督員と協議の上、決定することとする。 ○ 21. 架空線の防護措置における防護管設置については、受注者が架空線管理者と協議するものとし、防護管設置の必要があるとされた場合は、監督員と協議により設計変更の対象とする。 22. 交通誘導員について 本工事の交通誘導員の編成人員は、見積閲覧書によるものとするが、交通管理者等との協議の結果、又は現場条件等により変更が生じた場合は別途協議すること。 また、受注者は工事着手前に、実施工程に対応した配置予定図と配置予定時間を施工計画書に記載しなければならない。 23. 地下工事について 地下室等(地下工作物)がある場合等は、周辺地盤や地下水への影響について、建設場所や建物の規模などを考慮した上で観測体制を含めた施工をすること。施工の際は周辺環境に配慮しながら地下水等の観測を行い、異常が生じた場合は必要な措置を行うこと。 建設場所毎の事前調査等は事前に打合せを行い遺漏のないようにすること。 ○ 24. 杭打ち・地盤改良工事について 地下水汚濁への影響などについては事前調査を行い(近隣に井戸がある場合や中間に逸水層がある場合)、工法について施工計画段階で検討し、施工の際は十分に注意しながら施工を行い異常が生じた場合には必要な措置を行うこと。 ○ 25. 周辺住民への説明等について 工事現場の周辺住民に対しては、事前に十分な工事内容の説明(作業時間、工法、期間等)を行い協力を得るよう努めるとともに、工事期間中は迷惑、紛争等のないように十分注意すること。 (近隣住民から相談・苦情の申立て等があった場合には誠意をもって、速やかに対処すること。) ○ 26. 本工事は公共工事であることを十分認識し、工事の施工に必要な官公署その他への手続きは、速やかに行うとともに、安全管理を含む諸管理に十分留意して作業を行うこと。	特記事項 ○ 27. ヤンバルトサカヤサデのまん延防止対策について ヤンバルトサカヤサデのまん延を防止するため、当該現場での土壌や植物等の搬入に当たっては、以下の項目を参考に、十分注意を払うとともに、ヤンバルトサカヤサデの罹患が確認された場合は、罹患状況等の調査報告書を監督員に提出し、まん延防止対策を講ずること。(※発生地については、鹿児島市ホームページで確認すること。) 1) 原則、土・樹木等は、発生地区からの搬出を極力おさえ、廃棄木材については、産業廃棄物の取扱い可能な焼却施設にて、焼却処理を行うこと。 2) 工事区域周辺部への拡散防止のため、周辺部に薬物散布等の措置を行うこと。 3) やむを得ず、土・樹木等を発生地区から搬出する場合は、薬剤処理・煮沸後、搬出を行うこと。 4) 発生地区に搬入した建設機材等は、付着土壌の除去並びに薬剤処理後、搬出を行うこと。 5) 未発生地区においても、発生地区からの土・樹木等の搬入や、建設機材の移動等があった場合は、1)~4)の措置が講じられているかを確認すること。 ○ 28. 本工事の施工に伴う災害及び公害の防止は、建築基準法、労働安全衛生法、騒音規制法、振動規制法、大気汚染防止法、道路交通法及び建設工事公害災害防止対策要綱その他関係法令等に従い適切に処理すること。また、必要な届出等は滞りなく行うこと。 ○ 29. 工事現場及びその周囲は危険防止に十分注意し工事を行い、現場周辺の公共物(特に側溝等)の維持管理及び地域住民、行人への危害防止に万全を期すること。万一事故の起きた場合、受注者が復旧し、又、補償をするものとする。 ○ 30. 工事現場への通行、踏破等に当たっては、特に現場周辺の住民・行人及び児童・生徒等への危害防止に万全を期すること。 ○ 31. 工事現場内での火気発生等を定め、火気の取扱いには十分注意すること。 ○ 32. 工事において支障物がある場合は、その処理方法等は監督員との協議による。 ○ 33. 工事現場の快適な作業環境を確保するため、受注者事務所、監督員事務所、従業員休憩所、便所等は関係法令に従い、適切な材料・構造などのものとする。 ○ 34. 本工事の施工に際しては、地場産業育成の立場から、できるだけ市内の専門業者や作業員を活用し、資材についても市内業者から購入し、使用するよう努めること。 ○ 35. 再生資源利用計画書・再生資源利用促進計画書を作成し、施工計画書に含めて提出するとともに、工事現場の見やすいところに掲示(デジタルサイネージによる掲示も可)して公衆の閲覧に供することとし、あわせてインターネットに公表するよう努めるものとする。また、その実施状況を記録した実施書を作成書類に含めて提出するものとする。 ○ 36. 本工事により発生する建設廃棄物のうち、焼却施設及び最終処分場に搬入する産業廃棄物には、産業廃棄物税が課税されるので適正に処理すること。 ○ 37. 暴力団関係者等による不当要求又は工事妨害(以下「不当介入」という。)を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、その旨を遅滞なく発注者及び警察に通報すること。また、暴力団関係者等による不当介入を受けたことにより工程に遅れが生じた場合は、発注者と協議を行うこと。 ○ 38. 駐車場は建設業者の責任において確保し、周辺道路上への駐車は絶対に行わないこと。 ○ 39. 工事現場隣接家屋について、事前に状況調査(現場の実情)を実施し写真等記録に残すこと。調査範囲は監督員と打合せをすること。また、工事完了後家屋、構造物に被害不具合等の申出があった場合は、速やかな対応をすること。 ○ 40. 本工事に伴いスラブに設置する墨出し用の開口部については、建築基準法を満足する工法で確実に塞ぐこと。 ○ 41. 工事完成写真の仕様について 1) インク、用紙等は普通の使用条件のもとで、5年程度で顕著な劣化が生じないものとする。 2) カラー写真(ネガフィルムタイプ)と電子媒体による写真の混合管理は行わないこと。 3) 完成検査若しくは、工事目的物引渡完了後5年間写真管理に利用した電子媒体を保管すること。 ○ 42. 再生資材(再生クラッシュ等)については、再資源化施設製造のものを使用すること。 ○ 43. 法定外の労災保険の付保について 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。なお、当該保険契約を締結したときは、その証券またはこれに代わるもの(保険証券等)の写しを直ちに監督員に提出すること。保証期間は工期後満21日間(24時)までとする。 ○ 44. 墜落制止用器具の使用について 高さが2m以上の作業床がない箇所、または作業床の端・開口部等で囲い・手すり等の設置が困難な箇所における作業については、労働者の危険を防止する手段として、墜落制止用器具の使用を講じること。 ○ 45. 営繕工事における週休2日工事について 実施に当たっては、鹿児島県「営繕工事における「週休2日」工事実施要領(令和7年8月1日施行)」(以下、「実施要領」という。))を準用するものとする。なお、実施要領は鹿児島県ホームページから入手できる。 ○ 46. 電子納品 本工事は電子納品対象工事とし、市HPIに掲載する鹿児島市電子納品ガイドライン[建築・設備編]及び鹿児島市電子納品ガイドライン 運用の手引き[建築・設備編]に定める基準に基づいて作成した電子成果品を納品すること。 ただし、事前協議により電子化しない成果品については従来どおりの取扱とする。 ○ 47. 情報共有システムを活用した工事の試行 本工事は、情報共有システム活用の試行対象工事である。試行にあたっては、鹿児島市営繕工事等における情報共有システム活用工事試行要領(令和8年4月1日)に基づき行うものとする。試行要領は、鹿児島市ホームページから入手できる。 ○ 48. 施工体制点検等への協力 請負代金額が4,500万円(建築一式工事は9,000万円)以上の工事においては、「鹿児島市施工体制点検要領」に基づく点検を、また請負代金額が4,500万円(建築一式工事は9,000万円)未満の建設工事の下請契約を締結した工事においては、同要領の枠組外における一括下請負に関する確認を実施するので、受注者はこれに協力すること。 ○ 49. 産業廃棄物管理票(マニフェスト)の提出 工事の施工により発生する産業廃棄物については、処分状況等の記録(E票の写し及び産業廃棄物管理票(マニフェスト)総括表)を工事完成図書に添付すること。なお、工事完了時点で最終処分が完了せず、E票が処分業者より返送されていない場合は、A票、B2票及びB3票のうち直前に返送されたものの写しを添付すること。 ただし、この場合においても、最終処分が完了し、E票が処分業者より返送された次第、直ちに同票の写しを提出すること。 電子マニフェストの場合は、受渡確認表の写しを添付すること。 ○ 50. 監理技術者等の途中交代 監理技術者等の途中交代が認められる場合としては、主任技術者又は監理技術者の死亡、疾病、退職等、真にやむを得ない場合の他、下記に該当する場合である。 1) 受注者の責によらない理由により工事中止又は工事内容の大幅な変更が発生し、工期が延長された場合 2) 橋梁、ポンプ、ゲート等の工場製作を含む工事であって、工場から現場へ工事の現場が移行する時点 3) ダム、トンネル等大規模な工事で1つの契約工期が多年に及ぶ場合 上記の場合にあっても、受注者と発注者が協議し、工事の継続性、品質確保等に支障がないと認められる場合のみ途中交代が可能となる。 ○ 51. 監理技術者等の途中交代の試行について 本工事は、工程上一定の区切りと認められる時点で、監理技術者又は主任技術者の途中交代を認める試行工事である。 1) 工程上一定の区切りと認められる時点とは、品質管理・出来形管理が必要な工事事務目的の施工が完了した時点とし、仮設備の撤去、後片付け及び検査等を行う期間中は、監理技術者等の途中交代を認めることとする。 2) 受注者と発注者が協議し、工事の継続性、安全管理、工程等に支障がないと認められる場合のみ途中交代が可能となる。 なお、総合評価方式の場合は、当該工事の入札契約手続きにおける競争参加資格を満足する者を配置しなければならない。 ○ 52. 公共工事における現場一斉閉所の実施について 受注者は、公共工事における現場一斉閉所の実施に協力するものとする。なお、現場閉所の実施への協力は、受注者の判断によるもの(任意)とし、実施の有無等について発注者への報告は必要ないものとする。なお、県ホームページに本取組みに係るチラシを掲載しているので確認のこと。 ○ 53. 道路占用許可申請及び道路使用許可申請について 申請については、受注者が道路管理者や警察署と協議するものとし、必要書類については、監督員と協議の上、作成すること。 なお、道路占用料及び道路使用許可申請手数料については、監督員との協議により設計変更の対象とする。 ○ 54. 建設キャリアアップシステム活用工事の試行 本工事は、建設キャリアアップシステム活用工事の対象である。試行に当たっては、鹿児島市建設キャリアアップシステム活用工事試行要領(令和8年4月1日)に基づき行うものとする。試行要領は、鹿児島市ホームページから入手できる。
トラス・アーキテクト株式会社		スケートボード等専用施設管理棟ほか1棟新築本体工事	
一級建築士 第 344260 号		建築工事特記仕様書 5-1	
木元 達也		鹿児島市建設局建築部建築課	
		A-1	

章 通 用 項 目	特 記 事 項																												
○ 1. 適用基準等	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 建築工事標準詳細図：国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和4年版)</li> <li>・ 敷地調査共通仕様書：国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和4年版)</li> <li>・ 公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)：国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和7年版)</li> <li>・ 公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)：国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和7年版)</li> <li>・ 公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)：国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和7年版)</li> <li>・ 公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)：国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和7年版)</li> <li>・ 公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)：国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和7年版)</li> <li>・ 公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)：国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(令和7年版)</li> <li>◎ 営繕工事写真撮影要領(令和5年版)</li> <li>◎ 工事写真撮影ガイドブック(建築工事及び解体工事編)：国土交通省大臣官房官庁営繕部監修</li> <li>・ 営繕工事における工事関係図書等に関する効率化実施方針：国土交通省大臣官房官庁営繕部制定</li> <li>・ 営繕工事における工事関係図書等に関する効率化実施要領：関東地方建設局営繕部作成</li> </ul>																												
○ 2. 電気保安技術者	※ 適用する (1.3.3)																												
○ 3. 施工条件	※ 適用する (1.3.5)																												
4. 技能士	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鉄筋施工(鉄筋組立作業) ・ コンクリート圧送施工 ・ 型枠施工 ・ とび ・ フック建築 (1.5.2)</li> <li>・ 鉄工(・ 構造物鉄工作業 ・ 製缶作業) ・ エルシールパネル施工 ・ 石材施工(石張り作業)</li> <li>・ 防水施工(・ ルルタコム系塗膜防水工事作業 ・ シーリング防水工事作業 ・ 合成ゴム系シート防水工事作業</li> <li>・ アスファルト防水工事作業 ・ アクリルゴム系塗膜防水工事作業) ・ タル張り ・ 建築大工 ・ かかわらぶき</li> <li>・ 建築板金(内外装板金作業) ・ 左官 ・ サツ施工 ・ ガラス施工 ・ カーテンウォール施工</li> <li>・ 建具製作(・ 木製建具 手加工作業 ・ アルミ製室内建具製作作業 ・ 木製建具 機械加工作業)</li> <li>・ 内装仕上げ施工 ・ ホード仕上げ工事作業 ・ 鋼製地下工事作業 ・ プラスチック系床仕上げ工事作業</li> <li>・ カーペット系床仕上げ工事作業) ・ 塗装(建築塗装作業) ・ 量製作 ・ 表装 ・ 造園</li> <li>・ 熱絶縁施工(吹付硬質ウレタンフォーム断熱工事作業) ・ 樹脂接着剤注入施工</li> </ul>																												
○ 5. 工事実績情報の登録	<p>受注者は、受注時又は変更時において工事請負代金額が500万円以上の工事について、工事実績情報システム(コンス)に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報として「通知書」を作成し監督員の確認を受けたうえ、受注時は契約後10日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から10日以内に、完成時は工事完成後10日以内に、(一財)日本建設情報総合センターに登録しなければならない。</p> <p>なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の登録申請を省略できる。</p> <p>(ただし、期間には、行政機関の休日に関する法律(昭和63年法律第91号)に定める行政機関の休日は含まない)</p> <p>本工事に使用する建築材料等のうち、特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督員の承諾を受ける。なお、「評価名簿による」と特記されたものについては、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿(最新版)」による。また、評価を受けたものを使用する場合は、評価書の写しを監督員に提出し、その確認をもって、品質・性能の確認があったものとしてすることができる。</p>																												
○ 6. 建築材料等	建築工事共通仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。																												
○ 7. 特別な材料の工法	建設副産物の処理 (1.3.11)																												
○ 8. 発生材の処理等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本工より発生する建設副産物については、再生資源の活用を行うことを原則とし、「廃棄物処理法」、「資源の有効な利用の促進に関する法律」(リサイクル法)、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(建設リサイクル法)、「建設工事公衆災害防止対策要綱」及び「建設副産物適正処理推進要綱」を遵守するとともに、マニフェストシステムにより適正処理を行うこと。</li> <li>2. 建設発生土及び建設廃棄物にあつては、建設副産物適正処理推進要綱や関係法令を遵守すること。</li> <li>3. 建設発生土及び建設廃棄物処理に起因する災害及び苦情については、受注者の責任において処理すること。</li> <li>4. 建設廃材処分場は、不燃物は最寄りの処分場、可燃物は最寄りの焼却施設とする。</li> <li>5. 建設廃棄物のうち、再生資材として有効利用できるコンクリート・アスファルト塊、金属(ず、木くず等)については、最寄りの再資源化施設(許可を受けた施設)へ搬出すること。</li> <li>6. マニフェスト(管理票)の備考欄にせつこうホードの有無を明記するとともに、せつこうホードが含まれている場合は製造会社名等を明記すること。</li> <li>7. 特別管理産業廃棄物の種類及び処理方法は図示による。</li> </ol>																												
○ 9. 施工図等の取扱い	施工図等の著作権に係る当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。																												
○ 10. 設備工事との取扱い	<p>施工範囲 図示した鉄筋コンクリート梁の貫通孔及び鉄筋コンクリート部で、補強を必要とする貫通孔、開口部の補強、壁、天井の仕上げ、下地材の補強、駆動装置が電動による建具類の2次配線及び操作スイッチ並びに自動閉鎖装置取付け箇所等の切込み及び補強は標準詳細図などのとおりとし、本工事とする。</p> <p>なお、細部については監督員と協議する。</p> <p>施工図 設備機器の位置、取扱いなどの検討のできる施工図を提出し、監督員の承諾を受ける。</p>																												
○ 11. 完成図等	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 完成図等を提出すること。</li> <li>(1) 電子データ「46 電子納品」とおり。</li> <li>(2) 2つ折製本(A3判)2部を監督員に提出する。装丁や文字の仕上げについては監督員と協議。</li> <li>◎ 保全に関する資料 部数1部(監督員の指定する様式) ・ 取扱い説明書 部数 部 (建設戸数+2戸分)</li> </ul>																												
○ 12. 工事写真	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>分類</th> <th>規格</th> <th>撮影枚数</th> <th>部数</th> <th>原画の大きさ</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ 着工前</td> <td>※ カラー</td> <td>※ L版程度</td> <td></td> <td>※ 1部</td> <td>24×36以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※ 工事中</td> <td>※ カラー</td> <td>※ L版程度</td> <td></td> <td>※ 1部</td> <td>24×36以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※ 完成時</td> <td>※ カラー</td> <td>※ L版程度</td> <td>枚</td> <td>※ 1部</td> <td>・ 60×90以上 ・ 24×36以上</td> <td>外観4面 主要内部</td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 実績報告用写真(2部)を監督員に提出する。</p> <p>着工前と完成時の外観4面及び完成時の主要内部その他監督員の指示する工種の状況及び完成写真、その他監督員の指示する工種の状況及び完成写真</p>	区分	分類	規格	撮影枚数	部数	原画の大きさ	備考	※ 着工前	※ カラー	※ L版程度		※ 1部	24×36以上		※ 工事中	※ カラー	※ L版程度		※ 1部	24×36以上		※ 完成時	※ カラー	※ L版程度	枚	※ 1部	・ 60×90以上 ・ 24×36以上	外観4面 主要内部
区分	分類	規格	撮影枚数	部数	原画の大きさ	備考																							
※ 着工前	※ カラー	※ L版程度		※ 1部	24×36以上																								
※ 工事中	※ カラー	※ L版程度		※ 1部	24×36以上																								
※ 完成時	※ カラー	※ L版程度	枚	※ 1部	・ 60×90以上 ・ 24×36以上	外観4面 主要内部																							
○ 13. 竣工写真	<p>竣工写真は下記業者の撮影とし、箇所及び方法については監督員の指示による。</p> <p>撮影業者 ※ 監督員の承諾する撮影業者(ただし、建築竣工写真撮影の実績のある業者とする。)</p> <p>・ 完成後(解体工事の場合は、着工前及び完成後)の航空写真及びその電子データを提出すること。</p> <p>撮影業者 ※ 監督員の承諾する撮影業者(ただし、建築竣工写真撮影の実績のある業者とする。)</p>																												
○ 14. 既存建物との取扱い	工事中、取合部その他本工事範囲外の部分に汚損又は損傷した場合は監督員に報告するとともに承諾を受けて現状に準じて補修する。																												
○ 15. 揮発性有機化合物の室内濃度の測定	<p>揮発性有機化合物の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、報告すること。また、指針値を上回った場合は、引渡しをするまでの間、換気の繰り返し又はベークアウト等により濃度の低下に努め、指針値以下になるようにすること。なお、住宅については「住宅の品質確保の促進等に関する法律」の評価方法基準第5の6-3の(3)の定めにより測定等を行うこと。</p> <p>測定対象 ・ 住宅 (建設戸数の1割以上(10戸未満の場合は1戸以上)で、各住戸2室以上)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 非住宅 (測定対象室(共用スペース))</li> <li>◎ 5項目(ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン)</li> <li>◎ 6項目(上記5項目及びパラジクロロベンゼン)</li> </ul>																												
16. 部分使用	・ 有 (部分使用の場所等)																												
17. 指定部分	・ 有 (範囲、時期については監督員の指示による)																												

章 通 用 項 目	特 記 事 項																					
○ 18. 品質計画	<p>建築基準法により定められた風速 <math>V_0</math>(※38) ・ ( )</p> <p>地表面粗度区分 ・ I ・ II ・ III ・ IV</p> <p>適用工種 ・ コンクリートブロック ・ ALCパネル ・ 押出成形セメント板工事 ・ 防水工事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 石工事 ・ 屋根及びびい工事 ・ 金属工事</li> </ul>																					
19. 住宅性能評価	<p>・ 適用する ・ しない</p> <p>住宅の品質確保の促進等に関する法律第3条第1項の規定に基づく評価方法基準の下記項目ごとに示した等級基準を満たすこと。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>性能評価項目</th> <th>等級評価説明</th> <th>等級</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>劣化の軽減</td> <td>劣化対策等級(構造躯体等)</td> <td>※ 3 ・ ( )</td> </tr> <tr> <td>維持管理への配慮</td> <td>維持管理対策等級</td> <td>※ 2 ・ ( )</td> </tr> <tr> <td>温熱等級</td> <td>省エネルギー対策等級</td> <td>※ 4 ・ ( )</td> </tr> <tr> <td>空気環境</td> <td>ホルムアルデヒド対策</td> <td>※ 3 ・ ( )</td> </tr> <tr> <td>音環境</td> <td>重量床衝撃音対策 等価損失等級(外壁開口部)</td> <td>※ 2 ・ ( )</td> </tr> <tr> <td>高齢者等への配慮</td> <td>高齢者等配慮対策等級</td> <td>※ 3 ・ ( )</td> </tr> </tbody> </table>	性能評価項目	等級評価説明	等級	劣化の軽減	劣化対策等級(構造躯体等)	※ 3 ・ ( )	維持管理への配慮	維持管理対策等級	※ 2 ・ ( )	温熱等級	省エネルギー対策等級	※ 4 ・ ( )	空気環境	ホルムアルデヒド対策	※ 3 ・ ( )	音環境	重量床衝撃音対策 等価損失等級(外壁開口部)	※ 2 ・ ( )	高齢者等への配慮	高齢者等配慮対策等級	※ 3 ・ ( )
性能評価項目	等級評価説明	等級																				
劣化の軽減	劣化対策等級(構造躯体等)	※ 3 ・ ( )																				
維持管理への配慮	維持管理対策等級	※ 2 ・ ( )																				
温熱等級	省エネルギー対策等級	※ 4 ・ ( )																				
空気環境	ホルムアルデヒド対策	※ 3 ・ ( )																				
音環境	重量床衝撃音対策 等価損失等級(外壁開口部)	※ 2 ・ ( )																				
高齢者等への配慮	高齢者等配慮対策等級	※ 3 ・ ( )																				
1. 監督員事務所	<p>※ 設ける(規模：・ 1号(10㎡程度) ・ 2号(20㎡程度) ・ 3号(35㎡程度) ・ 4号(65㎡程度) (2.3.1)</p> <p>・ 5号(100㎡程度) ・ 設けない</p> <p>・ 仮設便所 ・ 工事用電話 ・ 設置する備品の種類及び数量(監督員との協議による)</p> <p>仕上げは下表を標準とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>部位等</th> <th>仕 上 げ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>床</td> <td>合板張り又はビニル床シート張り</td> </tr> <tr> <td>内壁、天井</td> <td>合板又はせつこうボード張り、合成樹脂エマルジョンペイント塗り</td> </tr> <tr> <td>屋根</td> <td>塗装溶融垂鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り</td> </tr> </tbody> </table>	部位等	仕 上 げ	床	合板張り又はビニル床シート張り	内壁、天井	合板又はせつこうボード張り、合成樹脂エマルジョンペイント塗り	屋根	塗装溶融垂鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り													
部位等	仕 上 げ																					
床	合板張り又はビニル床シート張り																					
内壁、天井	合板又はせつこうボード張り、合成樹脂エマルジョンペイント塗り																					
屋根	塗装溶融垂鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り																					
○ 2. 工 事 用 水	構内既存の施設 ※ 利用できない ・ 利用できる (※ 有償 ・ 無償)																					
○ 3. 工 事 用 電 力	構内既存の施設 ※ 利用できない ・ 利用できる (※ 有償 ・ 無償)																					
○ 4. 敷 地 調 査	平板、周辺設備マンホール等の取り合い。																					
○ 5. そ の 他	※ 表示板の大きさ等： ※ 下図による。 <p>設置位置は監督員との協議による。また、取付けは、強風等に対し安全な工法とする。</p> <div style="text-align: center;"> <p>市章 150×150程度</p> <p>シブ'マーク 150×150程度以上</p> <p>工事名 ○○○○○○○○新築本体工事</p> <p>発注者 鹿児島市長</p> <p>設計者 鹿児島市○○局○○部○○課</p> <p>監督者 鹿児島市○○局○○部○○課</p> <p>施工者 ○○○○建設株式会社 連絡先 ○○</p> <p>工 期 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日</p> <p>1800(900)程度</p> </div>																					
○ 1. 埋戻し及び盛土	<p>種類 ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 (3.2.3)(表3.2.1)</p> <p>各層厚さ ※ 300mm程度ごとに締め固める</p>																					
○ 2. 地 均 し	<p>工事完了後の整地は建物周囲2m程度の範囲について水はけよく地均しを行う。 (3.2.4)</p> <p>ただし、仮設等で使用した範囲については原形に復する。</p>																					
○ 3. 建設発生土の処理	<p>※((株)普賢産業)処分場へ搬出するものとする。その他処分場にて投棄処分を行う場合は、必ず処理場変更願承諾申請書を提出し、監督員にその承諾を得るものとする。</p> <p>・ 構内指示の場所にたい積 ・ 構内指示の場所に敷き均し</p> <p>・ 存置する ※ 存置しない (3.3.3)</p>																					
4. 山 留 め	※ 存置しない (3.3.3)																					
○ 1. 砂 利 地 業	<p>材料 ◎ 再生クラッシュラン ・ 切込砂利及び切込砕石 (4.6.2)</p> <p>厚さ ※ 60 (図示による) (4.6.3)</p> <p>再生クラッシュランは、原則としてかごサイズ認定リサイクル製品認定制度の認定を受けた製品を使用すること。</p>																					
○ 2. 砂 地 業	厚さ ※ 30 ・ 60 ・ ( ) (4.6.3)																					
○ 3. 捨コンクリート地業	厚さ ※ 50 ・ ( ) (4.6.2)(4.6.4)																					
○ 4. 床 下 防 湿 層	<p>施工箇所 ※ 建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下(ピット下を除く) (4.6.2)(4.6.5)</p> <p>材料 ※ ポリエチレンフィルム ・ ( )</p> <p>厚さ ※ 0.15 ・ ( )</p> <p>重ね合せ及び基礎梁際の折り下りは、250mm程度とする。</p>																					
○ 1. 鉄 筋 の 種 類	<p>※ JISG3112 ・ JIS3117 (5.2.1)(表5.2.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び名(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>◎ SD295</td> <td>D16以下</td> </tr> <tr> <td>◎ SD345</td> <td>D19以上</td> </tr> <tr> <td>・ SD390</td> <td>D29以下</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 高強度せん断補強筋(建築基準法第37条認定を受けたもの、種別、使用部位、加工： ( )</p> <p>※ 図面による</p>	種類の記号	呼び名(mm)	◎ SD295	D16以下	◎ SD345	D19以上	・ SD390	D29以下	・												
種類の記号	呼び名(mm)																					
◎ SD295	D16以下																					
◎ SD345	D19以上																					
・ SD390	D29以下																					
・																						
○ 2. 溶 接 金 網	鉄線の形状、網目寸法及び鉄線の径： ※ 図示による (5.2.2)																					
○ 3. 継 手 及 び 定 着	<p>柱及び梁の主筋 (※ D19以上) ・ 重ね継手 ※ ガス圧接 (5.3.4)</p> <p>その他の鉄筋 (※ D16以下) ・ 重ね継手 ・ ( )</p>																					
○ 4. 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔	<p>かぶり厚さは目地から算定する。 (5.3.5)</p> <p>※(表5.3.6)による ・ 構造特記仕様書による ・ 図示による</p> <p>・ 耐久上不利な箇所及び鉄筋のかぶり厚さ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施 工 箇 所</th> <th>鉄筋のかぶり厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施 工 箇 所	鉄筋のかぶり厚さ(mm)																			
施 工 箇 所	鉄筋のかぶり厚さ(mm)																					
○ 5. 帯 筋	形の種別 ・ H形 ・ W-1形 ・ SP形(スパイラル筋) ・ 丸形 (別図2.2)																					
6. 最上階柱頭補強	※ 行う ・ 行わない																					
○ 7. 壁開口部の補強	<p>一般壁 ・ A形 ※ B形 ・ 図示 (別図4.3)(表4.3)(表4.4)</p> <p>耐震壁 ※ B形 ・ 図示</p>																					
○ 8. 土間コンクリート補強	補強箇所 ・ 土間 ・ 犬走り ・ ( )																					
○ 9. 梁貫通孔の補強形式	補強形式 ※ H形 ・ ( ) (別図7.1)(表7.1~3)																					
○ 10. 圧接完了後の試験	検査方法 ・ 引張試験(JIS Z 3120) ※ 超音波探傷試験 ※ 外観試験 (5.4.10)																					
○ 11. 各 部 配 筋	図示のないものは、各部配筋参考図による。																					

章 通 用 項 目	特 記 事 項																												
○ 1. 一 般 事 項	<p>コンクリートの種類 ※ I類 ・ II類 (6.2.1)</p> <p>気乾単位容積質量による種類 ◎ 普通コンクリート ・ 軽量コンクリート (6.2.1)</p> <p>設計基準強度(<math>F_c</math>) (6.2.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種類</th> <th colspan="6">普通コンクリートの設計基準強度 <math>F_c</math>(N/mm<sup>2</sup>)</th> </tr> <tr> <th>15</th> <th>18</th> <th>21</th> <th>24</th> <th>27</th> <th>30</th> <th>36</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>部品</td> <td></td> <td></td> <td>基礎・立上・スラブ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>軽量コンクリートの設計基準強度 <math>F_c</math>(N/mm<sup>2</sup>) ・ 15 ・ 18 ・ 21 ・ 24 ・ 27 ・ ( ) (6.2.2)</p> <p>※ 構造体強度補正值(普通ポルトランドセメント) その他のセメント種類は(表6.3.2)による</p> <p>コンクリート打込みから材齢28日までの予想平均気温 <math>\theta</math> の範囲(°C) <math>0 \leq \theta &lt; 8</math> <math>8 \leq \theta</math> (6.3.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">構造体強度補正值(N/mm<sup>2</sup>)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><math>0 \leq \theta &lt; 8</math></td> <td>6</td> </tr> <tr> <td><math>8 \leq \theta</math></td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	種類	普通コンクリートの設計基準強度 $F_c$ (N/mm <sup>2</sup> )						15	18	21	24	27	30	36	部品			基礎・立上・スラブ					構造体強度補正值(N/mm <sup>2</sup> )		$0 \leq \theta < 8$	6	$8 \leq \theta$	3
種類	普通コンクリートの設計基準強度 $F_c$ (N/mm <sup>2</sup> )																												
	15	18	21	24	27	30	36																						
部品			基礎・立上・スラブ																										
構造体強度補正值(N/mm <sup>2</sup> )																													
$0 \leq \theta < 8$	6																												
$8 \leq \theta$	3																												
○ 2. コンクリートの品質	<p>普通コンクリート気乾単位容積質量 ※ 23t/m<sup>3</sup>程度 ・ ( ) (6.2.3)</p> <p>スランブ (6.2.4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>打込み箇所</th> <th>基礎、基礎梁、土間スラブ</th> <th>柱、梁、スラブ、壁</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>所要スランブ(cm)</td> <td>・ 15</td> <td>・ 21 ※ 18</td> </tr> </tbody> </table> <p>部材の位置及び断面寸法の許容差並びにその測定方法 ※ 6.2.5(1) ・ ( ) (6.2.5)</p> <p>合板使用打放し仕上げ種別 (6.2.5)(6.8.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>適用箇所</th> <th>J A S 種 別</th> <th>合板厚さ</th> <th>塗 装</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ A種</td> <td></td> <td>※ 表面加工品</td> <td>※ B-C</td> <td>※ 12 ・ 15 ※ 有 ・ 無</td> </tr> <tr> <td>・ B種</td> <td></td> <td>・ 表面加工品</td> <td>※ B-C</td> <td>※ 12 ・ 15 ・ 有 ※ 無</td> </tr> <tr> <td>・ C種</td> <td></td> <td>・ 表面加工品</td> <td>※ B-C</td> <td>※ 12 ・ 15 ・ 有 ※ 無</td> </tr> </tbody> </table> <p>平たんさ ※ 表6.2.5 ・ ( ) (6.2.5)</p>	打込み箇所	基礎、基礎梁、土間スラブ	柱、梁、スラブ、壁	所要スランブ(cm)	・ 15	・ 21 ※ 18	種類	適用箇所	J A S 種 別	合板厚さ	塗 装	・ A種		※ 表面加工品	※ B-C	※ 12 ・ 15 ※ 有 ・ 無	・ B種		・ 表面加工品	※ B-C	※ 12 ・ 15 ・ 有 ※ 無	・ C種		・ 表面加工品	※ B-C	※ 12 ・ 15 ・ 有 ※ 無		
打込み箇所	基礎、基礎梁、土間スラブ	柱、梁、スラブ、壁																											
所要スランブ(cm)	・ 15	・ 21 ※ 18																											
種類	適用箇所	J A S 種 別	合板厚さ	塗 装																									
・ A種		※ 表面加工品	※ B-C	※ 12 ・ 15 ※ 有 ・ 無																									
・ B種		・ 表面加工品	※ B-C	※ 12 ・ 15 ・ 有 ※ 無																									
・ C種		・ 表面加工品	※ B-C	※ 12 ・ 15 ・ 有 ※ 無																									
○ 3. コンクリートの材料	<p>セメント ◎ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 ・ ( ) (6.3.1)(表6.3.1)</p> <p>◎ 高炉セメントB種 (適用箇所：基礎) (適用箇所：)</p> <p>( ) (適用箇所：)</p> <p>・ 普通ポルトランドセメントは、JIS R 5210ポルトランドセメントに示された規定の他、右の規定に適合しなければならない。全アルカリの算出は、JIS R 5210ポルトランドセメント(低アルカリ形)による。</p> <p>骨材 フェロニッケルスラグ骨材及び銅スラグ骨材 ( ・ 使用する ・ 使用しない)</p> <p>アルカリシリカ反応性区分(※ A ・ B) (6.3.1)</p> <p>混和材料 ◎ 混和剤(・ AE剤 ◎ AE減水剤 ・ 高性能AE減水剤 ・ )</p> <p>◎ 混和材(・ フライアッシュ I種 ・ フライアッシュ II種 ◎ 高炉スラグ微粉末 ・ コーク用膨張材 ・ ) (6.3.1)</p>																												
○ 4. 型 枠	<p>外部コンクリート打放し仕上げ打増し厚さ ※ 20mm ・ ( ) (6.8.1)</p> <p>ひび割れ誘発目地位置等 ※ 図示による ・ ( ) (6.8.1)</p> <p>床型枠用鋼製デッキプレート 建築技術評価「鉄筋コンクリートの建築物等における床型枠用鋼製デッキプレート」の開発Jにおいて評価を取得したもの又は、評価名簿によるもの。</p> <p>MCR工法用シート ・ 使用する ・ 使用しない (6.8.2)(表6.8.1)</p> <p>スリーブ材種 ・ 鋼管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 ・ 溶融垂鉛めっき鋼板 ・ つば付き鋼板 (6.8.2)(表6.10.1)</p>																												
5. 軽量コンクリート	<p>種類 ・ 1種 ・ 2種 (6.10.1)(表6.10.1)</p> <p>スランブ ※ 21cm以下 ・ ( ) (6.10.2)</p> <p>気乾単位容積質量( ) (6.14.1)</p>																												
6. 無筋コンクリート	<p>適用箇所( ) (6.14.1)</p> <p>設計基準強度 ※ 18N/mm<sup>2</sup> ・ ( ) (6.14.1)</p> <p>スランブ ※ 15cm ・ 18cm ・ ( ) (6.14.1)</p>																												
○ 7. 防水剤入コンクリート	<p>施工箇所( 屋根スラブ )</p> <p>スランブ(cm) ・ 15 ◎ ( 18 ) 混和剤( 活性進化防水剤 )</p> <p>製造所 ( 監督員の承諾を得るものとする )</p>																												
○ 1. 鉄骨製作工場	<p>※ 製作工場(グレード ・ H ・ M ◎ R ・ J ・ 指定なし) (7.1.3)</p> <p>施工管理技術者 ※ 適用する ・ 適用しない (7.1.4)</p>																												
○ 2. 材 料	<p>鋼材 (7.2.1)(表7.2.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類の記号</th> <th>使用箇所</th> <th>規格等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>SS400</td> <td>図面による</td> <td>※ JIS規格</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※ JIS規格</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※ JIS規格</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※ JIS規格</td> </tr> </tbody> </table>	種類の記号	使用箇所	規格等	SS400	図面による	※ JIS規格			※ JIS規格			※ JIS規格			※ JIS規格													
種類の記号	使用箇所	規格等																											
SS400	図面による	※ JIS規格																											
		※ JIS規格																											
		※ JIS規格																											
		※ JIS規格																											
高力ボルト	<p>※ トルシア形高力ボルト(セットの種類2種(S 10 T)) ・ JIS形高力ボルト(セットの種類2種(F 10 T))</p> <p>・ 溶融垂鉛めっき高力ボルト(セットの種類1種(F 8 T相当))</p> <p>径( ) (7.2.2)</p>																												
普通ボルト	<p>ボルト(※ 六角ボルト) ・ ( ) (7.2.3)(表7.2.3)</p> <p>ナット(※ 六角ナット) ・ ( )</p> <p>ボルト径( )</p>																												
アンカーボルト	<p>構造用材質 (※ SNR400) ・ ( ) (7.2.4)</p> <p>建方用材質 (※ SS400) ・ ( )</p> <p>形状及び寸法( )</p>																												
ターンバックル	<p>ターンバックル鋼の種類： ※ 割枠式 ・ ( ) (7.2.6)</p> <p>ターンバックルボルトの種類： ※ 羽子板ボルト ・ ( )</p>																												
デッキプレート	<p>構造用材質( ) (7.2.7)</p> <p>形状及び寸法( )</p>																												
スタッド	種類( ) (7.2.8)																												
柱底均しモルタル	<p>・ 無収縮モルタル(製造所：評価名簿による) (7.2.9)</p>																												
スカラップ	<p>◎ 改良型(国土交通省大臣官房官庁営繕部「建築鉄骨設計基準」別図3.11) ・ ( ) (7.2.10)</p> <p>※ 規格品証明書を提出</p>																												
○ 3. 工 作 一 般	<p>仮組 ・ 実施する ※ 実施しない (7.3.10)</p> <p>高力ボルト及び普通ボルトのゲージ、ピッチ、ヘリあき等(国土交通省大臣官房官庁営繕部「建築鉄骨設計基準」による)</p>																												
トラス・アーキテクト株式会社																													
一級建築士 第 344260 号																													
木元 達也																													
スケートボード等専用施設管理棟ほか1棟新築本体工事																													
建築工事特記仕様書 5-2																													
鹿児島市建設局建築部建築課																													
A-2																													

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項						
7	鉄骨工事	4. 溶接接合	開先形状(国土交通省大臣官房官庁営繕部「建築鉄骨設計基準」による) ○レ形 ・ K形 ・ ( ) (7. 6. 4) 余盛り高さ ※ 鉄骨精度検査基準による ・ ( ) (7. 6. 7) ・鋼製エンドタブを切断する箇所及び範囲 ( ) 溶接部の試験 (7. 6. 12) ※外観試験 (a)( ) (b)( ) ※超音波探傷試験 ※行う AOQL(工場溶接) ※レベルⅠ: 4.0% ・レベルⅡ: 2.5% 検査水準 ※第6水準 ・( )	11	1. 共通事項	伸縮調整目地及びびびり割れ誘発目地 (11. 1. 3) 位置 外壁( ※表11. 1. 1 ・図示による) 屋内( ) 寸法 ※9. 7. 3 ・( )	12	木工事	○2. 防蟻・防虫処理	しろあり防除工事 鹿児島県土木部建築課監修 鹿児島県しろあり防除工事特記仕様書により、社団法人日本しろあり対策協会鹿児島県支所登録施工業者が施工する。(使用薬剤は、非有機リン系薬剤とする) 土壌処理 ※行う(範囲:土間下) ・行わない 木材処理 ※行う(範囲:各階のFL+1m以下の下地材(合板等除く)) ・行わない 防蟻・防蟻処理 ◎薬剤の加圧注入による防蟻・防蟻処理 ・薬剤の塗布等による防蟻・防蟻処理 (12. 3. 1) 防虫処理 ・行う ※行わない (12. 3. 2) 土壌処理、木材処理共に行った際は、受注者と白蟻防除工事施工業者連帯の5年保証書を提出する。 木材処理のみを行った際は、白蟻防除工事施工業者による施工証明書を提出する。(12. 4. 1)				
		5. 錆止め塗装	耐火被覆材の接着する面の塗装範囲( ) (7. 8. 2) 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲( ) 種別 鋼製スリーブ内面( ※A種 ・ B種) (7. 8. 4)(表18. 3. 1) 耐火被覆材の接着面( ) (7. 8. 4)	3. 材	2. 施工後の確認及び試験	※外観の確認 ※打診による確認 ・引張接着試験 (11. 1. 7)			3. RC造等の内部間仕切軸組及び床	木材 間仕切軸組に用いる製材 ・ 杉 ・ 松 ・ ( ) (12. 4. 1) 床組に用いる製材(土間スラブ類の土台、転ばし大引、転ばし根太) ・ ひのき ・ 保存処理木材 ・ ( )				
		6. 耐火被覆	種類( ) (7. 9. 2) 材料( ) 工法( ) 耐火性能( ) (7. 9. 3)	4. セメントモルタルによるタイル張り	3. 材	タイルの種類 (11. 2. 2)(11. 3. 2) 施工箇所 形状・寸法 耐凍害性 耐滑り性 役物 色 ・有 ・ 無 ・有 ・ 無 ・有 ・ 無 ・標準 ・ 特注 ・有 ・ 無 ・有 ・ 無 ・有 ・ 無 ・標準 ・ 特注 ・有 ・ 無 ・有 ・ 無 ・有 ・ 無 ・標準 ・ 特注 ・有 ・ 無 ・有 ・ 無 ・有 ・ 無 ・標準 ・ 特注 製造所 ( 監督員の承諾を得るものとする。 ) タイル試験張り ( ・実施する ・実施しない) タイル見本焼き( ・実施する ・実施しない) (11. 2. 3) ・既調合モルタル( ) (11. 2. 3) ・下地及びタイルごしらえ ( ・MCR工法 ・目荒し工法(高圧水洗)) (11. 2. 7)(表11. 2. 3) タイル張りの種別 ( ) ( ) 工法 ( ) ( )			4. 窓、出入口その他	木材 窓、出入口、その他に用いる製材 吊元枠、水掛りの下枠、敷居 ※ひのき ・( ) (12. 5. 1) その他 ・ 松 ※杉 ・( )				
		7. 工事現場施工	建方精度 ※ 鉄骨精度検査基準による ・( ) (7. 10. 2) アンカーボルト ・ 構造用アンカーボルト 形状( )寸法( ) (7. 10. 3) ・ 建方用アンカーボルト ※鋼製アンカーフレーム ・ 図示による ・( ) 保持及び埋込方法( ・ A種 ※ B種) (7. 10. 3)(表7. 10. 1) 柱底均しモルタル工法 工法(※A種 ・ B種)厚さ( ) (7. 11. 2)	5. 有機系接着剤によるタイル張り	3. 材	・外装タイルにおける目地詰め ( ・行う ・行わない) (11. 3. 3) ・下地及びタイルごしらえ ( ・MCR工法 ・目荒し工法) (11. 3. 5)			5. 床板張り	木材 緑甲板、上がりがまちに用いる製材 ※ひのき ・( ) ・ 図示による (12. 6. 1)				
		8. 軽量形鋼	ボルト接合 ※普通ボルト接合 ・( ) (7. 11. 2)	12	1. 材	1. 材			1. 材	1. 共通事項	※公共建築木造工事標準仕様書(令和7年版)5章の規定による。 ※建築基準法施行令第46条第4項表1に掲げる軸組を用いて、同4項の壁量を満たす建築物 木構仕(5. 1. 1) 木構仕(5. 2. 2)			
		9. 溶融亜鉛めっき工	亜鉛めっき種類 材料 適用部位 A種 最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板類 B種 最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板類 C種 最小板厚1.6mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板類 普通ボルト・ナット類及びアンカーボルト類 高力ボルト接合摩擦面 ◎プラスト処理 ◎(リン酸処理) (7. 12. 5)	12	1. 材	木材 木材については、市内で生産・加工された木材の使用に努めること。(12. 2. 1) 市内産材の確保が難しい場合でも、可能な限り県産材の使用に努めること。 ・地域産材の場所 ( )地域 ただし、次の部位については「認証かごしま材」又は「認証かごしま材」と同等の基準を満足している市内産材を使用すること。 なお、「認証かごしま材」同等材の使用にあたっては、下記の条件を満足したものとす。 ア. 認証かごしま材の品質(乾燥、寸法、面材品質)と同等の基準を満足している旨及び原木の生産産地を記載した旨の出荷証明書が添付されたもの イ. 監督員の立会い検査により、上記アの品質が確認されたもの 指定部分 ・ 構造材全て ・ その他( ) 含水率 構造材 ※20%以下とする。 下地材 ※A種 ・ B種 造作材 ※A種 ・ B種 製材 「JAS1083」による製材 下地用製材 樹種、等級、寸法、形状、含水率、保存処理及び材面の品質 ※ 図示による 等級 ・ 図示による ※2級 造作用製材 樹種、寸法、等級、形状、含水率、保存処理及び材面の品質 ※ 図示による 板類における等級 ※ 杉、緑松、敷居、かまひ、かまの類の見え掛り面は上小節、それ以外は小節以上 ・ 図示による 広葉樹製材 樹種、寸法、保存処理及び材面の品質 ※ 図示による 等級 ※1等 ・ 図示による ・( ) 含水率 ※10%以下 ・ 図示による ・( ) 「JAS1083」以外の製材 下地、造作及び仕上げに用いる製材 樹種、寸法、材面の品質、含水率及び防虫処理 ※ 図示による 造作材の材面の品質の基準 ※A種 ・ B種 (表12. 2. 2) 造作用集材材 「JAS1152」による造作用集材材 造作用集材材 品名、樹種、見付け材面数、寸法 ※ 図示による 見付け材面の品質 ※1等 ・ 図示による 化粧ばり造作用集材材 品名、樹種、化粧薄板の厚さ、見付け材面数、寸法 ※ 図示による 見付け材面の品質 ※1等 ・ 図示による 化粧ばり構造用集材材 品名、樹種、化粧薄板の厚さ、寸法、見付け材面の品質 ※ 図示による 「JAS1152」以外の造作用集材材 造作用集材材 樹種、寸法、見付け材面の品質 ※ 図示による 含水率 ※15%以下 ・ 図示による ・( ) 化粧ばり造作用集材材 樹種、寸法、化粧薄板の厚さ、見付け材面の品質 ※ 図示による 含水率 ※15%以下 ・ 図示による ・( ) 化粧ばり構造用集材材 樹種、寸法、見付け材面の品質、化粧薄板の厚さ ※ 図示による 含水率 ※15%以下 ・ 図示による ・( ) 造作用単板積層材 「JAS0701(単板積層材)」に基づく造作用単板積層材 品名、寸法、表面の品質及び防虫処理 ※ 図示による 「JAS0701(単板積層材)」以外の造作用単板積層材 寸法、表面の品質及び防虫処理 ※ 図示による 含水率 ※14%以下 ・ 図示による ・( ) JAS3079(直交集成板) 品名、強度等級、種別、接着性能(使用環境)、樹種及び寸法 ※ 図示による 合板等 下地用普通合板 品名、単板の樹種名、防虫処理 ※ 図示による 厚さ ※5. 5mm ・ 図示による 接着の程度 ※1類 ・ 図示による 板面の品質 ※2等以上(広葉樹) ※C-D以上(針葉樹) ・ 図示による 下地用構造用合板 品名、単板の樹種名、保存処理、防虫処理、強度等級 ※ 図示による 厚さ ※12mm ・ 図示による 接着の程度 ※1類(湿潤箇所を除く) ※特類(湿潤箇所) ・ 図示による 等級 ※2級以上 ・( ) 板面の品質 ※C-D以上 ・ 図示による 化粧ばり構造用合板 品名、厚さ、単板の樹種名、接着の程度、防虫処理 ※ 図示による 湿潤状態となる場所に使用する場合の接着の程度 ※特類 ・ 図示による 天然木化粧合板 厚さ、接着の程度、化粧板に使用する単板の樹種名、防虫処理 ※ 図示による 特殊加工化粧合板 品目、厚さ、接着の程度、単板の樹種名、化粧加工の方法、防虫処理 ※ 図示による パーティクルボード 表表面の状態による区分、難燃性による区分及び厚さ ※ 図示による 曲げ強さによる区分、耐水性による区分、厚さ ※厚さ15mm、曲げ強さ13タイプ、耐水性MR1(M)又はMR2(P)タイプ 構造用パネル 品名、厚さ ※ 図示による MDF 表表面の状態による区分、曲げ強さによる区分、接着剤による区分 ※ 図示による 難燃性による区分、厚さ ※ 図示による 接合具等 (12. 2. 2) 造作材の化粧面の釘打ち ※隠し釘打ち ・ 釘頭埋め木 ・ つぶし頭釘打ち ・ 釘頭現し 諸金物の形状、寸法、材質 ※12. 2. 2(ア)(イ)による ・( ) ・ 図示による			2. 木	2. 木	2. 木	2. 木	2. 木	部材寸法、その他 柱 : ( 120*120 ) @ 950 間柱 : ( 120*60 ) @ 455 胴縁 : ( 13*45 ) @ 455 木摺 : ( 13*75 ) @ 455 天井 吊木受 : ( 45*120~150 ) @ 950 吊木 : ( 45*45 ) @ 950 野縁受 : ( 45*45 ) @ 950 野縁 : ( 45*45 ) @ 455 ※但し、下地材の間隔は、使用材料の規格寸法にあわせる。 構造材及び下地材に対する釘の打ち込み本数等 木構仕(5. 2. 4) ※木構仕5章の規定以外は図示による。 ボルトの径 ( ※ 図示 ・( ) ) ※木構仕5章の規定以外は図示による。 ボルトが受ける応力の種類 ・ 引張りを受けるボルト ( ※ 図示 ・( ) ) ・ せん断力を受けるボルト ( ※ 図示 ・( ) ) 複合金物の工法等を木材に接合するためのボルト等の種類、形状、寸法及び本数 ※ 図示及び木構仕5章各節の規定による。 ( ) ※構造金物はZマーク品又は(公財)日本住宅・木材技術センターにより認定されたものを使用する。
		8. 軽量形鋼	ボルト接合 ※普通ボルト接合 ・( ) (7. 11. 2)	12	1. 材	1. 材			1. 材	2. 木	2. 木	部材寸法、その他 柱 : ( 120*120 ) @ 950 間柱 : ( 120*60 ) @ 455 胴縁 : ( 13*45 ) @ 455 木摺 : ( 13*75 ) @ 455 天井 吊木受 : ( 45*120~150 ) @ 950 吊木 : ( 45*45 ) @ 950 野縁受 : ( 45*45 ) @ 950 野縁 : ( 45*45 ) @ 455 ※但し、下地材の間隔は、使用材料の規格寸法にあわせる。 構造材及び下地材に対する釘の打ち込み本数等 木構仕(5. 2. 4) ※木構仕5章の規定以外は図示による。 ボルトの径 ( ※ 図示 ・( ) ) ※木構仕5章の規定以外は図示による。 ボルトが受ける応力の種類 ・ 引張りを受けるボルト ( ※ 図示 ・( ) ) ・ せん断力を受けるボルト ( ※ 図示 ・( ) ) 複合金物の工法等を木材に接合するためのボルト等の種類、形状、寸法及び本数 ※ 図示及び木構仕5章各節の規定による。 ( ) ※構造金物はZマーク品又は(公財)日本住宅・木材技術センターにより認定されたものを使用する。		
		9. 溶融亜鉛めっき工	亜鉛めっき種類 材料 適用部位 A種 最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板類 B種 最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板類 C種 最小板厚1.6mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板類 普通ボルト・ナット類及びアンカーボルト類 高力ボルト接合摩擦面 ◎プラスト処理 ◎(リン酸処理) (7. 12. 5)	12	1. 材	1. 材			1. 材	3. 接合金物・接合具等	3. 接合金物・接合具等	構造材及び下地材に対する釘の打ち込み本数等 木構仕(5. 2. 4) ※木構仕5章の規定以外は図示による。 ボルトの径 ( ※ 図示 ・( ) ) ※木構仕5章の規定以外は図示による。 ボルトが受ける応力の種類 ・ 引張りを受けるボルト ( ※ 図示 ・( ) ) ・ せん断力を受けるボルト ( ※ 図示 ・( ) ) 複合金物の工法等を木材に接合するためのボルト等の種類、形状、寸法及び本数 ※ 図示及び木構仕5章各節の規定による。 ( ) ※構造金物はZマーク品又は(公財)日本住宅・木材技術センターにより認定されたものを使用する。		
		8. 1. 補強コンクリートブロック造	ブロックの種類( ) (8. 2. 2) モジュール呼び寸法 長さ( )高さ( ) 正味厚さ( ) 各部の配筋 ※ 図示による (8. 2. 5) 目地仕上げ ・ 押し目地仕上げ ・ 化粧目地仕上げ (8. 2. 7) ブロックの種類 ※表8. 3. 1 (8. 3. 2) 壁鉄筋の継手( ) 定着( ) 末端部折り曲げ形状( ) (8. 3. 4) 配筋 縦筋 横筋 開口補強筋(縦横) 端部補強筋 D10-400@ D10-400@ 1-D13 1-D13	12	1. 材	1. 材			1. 材	4. 仕口及び継手の工法	4. 仕口及び継手の工法	※「木造の継手及び仕口の構造方法を定める件」(平成12年5月31日 建設省告示第1460号)による。木構仕(5. 4. 2)		
		2. コンクリートブロック造	ブロックの種類( ) (8. 2. 2) モジュール呼び寸法 長さ( )高さ( ) 正味厚さ( ) 各部の配筋 ※ 図示による (8. 2. 5) 目地仕上げ ・ 押し目地仕上げ ・ 化粧目地仕上げ (8. 2. 7) ブロックの種類 ※表8. 3. 1 (8. 3. 2) 壁鉄筋の継手( ) 定着( ) 末端部折り曲げ形状( ) (8. 3. 4) 配筋 縦筋 横筋 開口補強筋(縦横) 端部補強筋 D10-400@ D10-400@ 1-D13 1-D13	12	1. 材	1. 材			1. 材	4. 仕口及び継手の工法	4. 仕口及び継手の工法	※「木造の継手及び仕口の構造方法を定める件」(平成12年5月31日 建設省告示第1460号)による。木構仕(5. 4. 2)		
3. ALCパネル	区分( )単位荷重( )厚さ( )幅( )長さ( )耐火性能( ) (8. 4. 2) 耐火目地材 ・ 図示による ・( ) 外壁パネル構造 構造の種類:( ・ A種 ・ B種)目地幅( ) (8. 4. 3) 耐風圧性能( )耐震性能( )	12	1. 材	1. 材	1. 材	4. 仕口及び継手の工法	4. 仕口及び継手の工法	※「木造の継手及び仕口の構造方法を定める件」(平成12年5月31日 建設省告示第1460号)による。木構仕(5. 4. 2)						
4. 押出成形セメント板	種類( )形状( )厚さ( )幅( ) (8. 5. 2) 外壁パネル工法 工法の種類:( ・ A種 ・ B種)目地幅( ) (8. 5. 3) 間仕切壁パネル工法 工法の種類:( ・ B種 ・ C種) (8. 5. 4)	12	1. 材	1. 材	1. 材	4. 仕口及び継手の工法	4. 仕口及び継手の工法	※「木造の継手及び仕口の構造方法を定める件」(平成12年5月31日 建設省告示第1460号)による。木構仕(5. 4. 2)						
9. 防水工事	1. 合成高分子系ルーフィングシート防水 (9. 4. 2~3)(表9. 4. 1) 工程種別 適用箇所 仕上げ塗料塗り 厚さ ・ S-F1 ・ カラー ・ シルバー ※1.2mm ・ ・ S-F2 ※1.5mm ・ ・ S-M1 ・ カラー ・ シルバー ※1.5mm ・ ・ S-M2 ※1.5mm ・ 機械的固定方法 建築基準法に基づく風圧力に対応した工法とし監督員の承諾を受けること (9. 4. 4) 可塑剤移行防止用シート ※発泡ポリエチレンシート ・( )	13	1. 材	1. 材	1. 材	1. 長尺金属板葺	1. 長尺金属板葺 (13. 2. 2)(13. 2. 3)(表13. 2. 1) 屋根葺き形式 材 種 (板・コイル) 表面処理 板厚(mm) ・ 心木なし瓦葺葺 ・ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3312) ◎フッソ樹脂塗装 ※0.4 ・ 0.5 ◎立て平葺 ・ 溶融アルミニウムめっき鋼板(JIS G 3314) ・ 亜鉛めっき塗装 ※0.6 ・ 0.8 ・ 横葺 ・ 塗装溶融亜鉛5%アルミニウム合金めっき鋼板 (JIS G 3318) ・ 焼付塗装 ・ 0.8 ・ 1.0 ・ 溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 (JIS G 3321) ・ 1.2 ・ ◎塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 (JIS G 3322) ※0.6 ◎鼻隠し・クハラ ・ 専門工事業者は製造所の指定業者とする 塗膜の耐久性の種類 表面 ◎1類 ・ 2類 ・ 3類 裏面 ◎1類 ・ 2類 ・( ) めっき付着量 ( ) 下葺材 ※アスファルトルーフィング940 ・ 改質アスファルトルーフィング下葺材 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※ 図示による 横葺きの場合のけらば納め ・ つかみ込み納め ・ けらば包み納め (13. 3. 2)(13. 3. 3)							
2. 塗膜防水	ウレタンゴム系塗膜防水 (9. 5. 3)(表9. 5. 1~2) 工程種別 施工箇所 備考 ・ X-1 ※屋根 (絶縁工法) ・ X-2 ※屋根 (密着工法) ゴムアスファルト系塗膜防水 工程種別 施工箇所 備考 ・ Y-1 地下外壁 ・ Y-2 屋内 保護層 ・ 適用する ・ 適用しない	13	1. 材	1. 材	1. 材	2. 折板葺	2. 折板葺 (13. 3. 2)(13. 3. 3) 材料 ※ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 (板厚(mm) ・ 0.6 ・ 0.8 ) (板厚(mm) ・ ) 寸法 山高( )mm 山ピッチ( )mm 形式 ※重ね形 ・ はせ絡め形 ・ かん合形 直接外気の影響を受けない屋内のタイトフレームに使用する材料 ※ 図示による 軒先面戸板 ※有り ・ 無し 断熱材張り (種別: 厚さ: 防火性能: ) 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※ 図示による							
3. シーリング	シーリングの種類は、表9. 7. 1による (9. 7. 2)(表9. 7. 1) 目地寸法 ※9. 7. 3(1)(ア~ウ) ・( ) (9. 7. 3) 接着性試験 ※簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験 (9. 7. 5)	13	1. 材	1. 材	1. 材	3. と	3. と	とい 材料等 ※ 図示による (13. 5. 2)(表13. 5. 1) 外部縦どい受け金物 ※ステンレス製 ・ 鋼製(亜鉛めっき) (13. 5. 2) 形状・取付間隔 ※ 図示による						
4. 屋根コンクリート防水	防水工事の施工については、10年保証書を提出すること。 なお、保証書は、受注者と施工業者の連帯とする(シーリングを除く)。 保証書の必要な防水工事の施工業者は建設業法の許可業者とする。	13	1. 材	1. 材	1. 材	4. 保証書及び期間	4. 保証書及び期間	屋根工事の施工については、10年保証書を提出すること。なお、保証書は、受注者と施工業者の連帯とする。 保証書の必要な屋根工事の施工業者は建設業法の許可業者とする。						
10. 石工事	1. 共通事項	石の割付け( ) ・ 図示による (10. 1. 3) 石材の加工 粗面仕上げの場合 ・ 監督員と協議 ・ 図示による (10. 1. 5) ワックスの使用 ・ 使用する ・ 使用しない (10. 2. 1)	1. 材	1. 材	1. 材	トラス・アーキテクト株式会社	トラス・アーキテクト株式会社	トラス・アーキテクト株式会社 一級建築士 第 344260 号 木元 達也						
2. 材	テラゾ 種類及び大きさ ※大理石(1.5~12mm) ・( ) テラゾブロック 形状 ・ 平物 ・ 役物 仕上げ面 ・ 片面 ・ 両面 寸法 ( 図示による ) 表面仕上げ ・ 粗磨き ・ 水磨き ・ 本磨き	1. 材	1. 材	1. 材	1. 材	トラス・アーキテクト株式会社	トラス・アーキテクト株式会社	トラス・アーキテクト株式会社 一級建築士 第 344260 号 木元 達也						
							スケートボード等専用施設管理棟ほか1棟新築本体工事							
							建築工事特記仕様書 5-3							
							鹿児島市建設局建築部建築課							
							A-3							

章 項目	特記事項	章 項目	特記事項	章 項目	特記事項																																																																																																																																																																																														
14 金属工事	<p>1. 一般事項</p> <p>2. 表面処理</p> <p>あと施工アンカー施工後の確認引張試験 ・ 実施する ・ 実施しない (14. 1. 3)</p> <p>○ アルミニウム及びアルミニウム合金 (14. 2. 1)(表14. 2. 1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・ AB-1種(無着色)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ AB-2種( ・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ AC-1種(無着色)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ AC-2種( ・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ BA-1種(無着色)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ BA-2種( ・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※ BB-1種(無着色)</td> <td>アルミ建具</td> </tr> <tr> <td>・ BB-2種( ・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ BC-1種(無着色)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ BC-2種( ・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ C種</td> <td></td> </tr> </table> <p>陽極酸化皮膜着色方法 ※二次電解着色 (色合: ) ・ ( )</p> <p>・ 鉄鋼の亜鉛めっき (14. 2. 2)(表14. 2. 2~4)</p> <table border="1"> <tr> <th>表面処理方法</th> <th>種類</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>溶融亜鉛めっき</td> <td>・ A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ D種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電気亜鉛めっき</td> <td>・ E種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ F種</td> <td></td> </tr> </table>	種類	施工箇所	・ AB-1種(無着色)		・ AB-2種( ・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)		・ AC-1種(無着色)		・ AC-2種( ・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)		・ BA-1種(無着色)		・ BA-2種( ・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)		※ BB-1種(無着色)	アルミ建具	・ BB-2種( ・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)		・ BC-1種(無着色)		・ BC-2種( ・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)		・ C種		表面処理方法	種類	施工箇所	溶融亜鉛めっき	・ A種			・ B種			・ C種			・ D種		電気亜鉛めっき	・ E種			・ F種		<p>2. 鋼製建具 (16. 4. 2.4,5)(表16. 4. 1.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>簡易気密型ドアセットの性能</th> <th>外部に面する建具の耐風圧性</th> <th>鋼板類の厚さ</th> </tr> <tr> <td>・ 標準型建具</td> <td>・ 表16. 4. 1を適用する</td> <td>・ S-4 ・ S-5</td> <td>※表16. 4. 2による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 適用しない</td> <td>・ S-6</td> <td>・ 適用しない</td> </tr> <tr> <td>・ 標準型建具以外の建具</td> <td>・ 表16. 4. 1を適用する</td> <td>・ S-4 ・ S-5</td> <td>※表16. 4. 2による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 適用しない</td> <td>・ S-6</td> <td>・ 適用しない</td> </tr> </table> <p>製造所 ( 監督員の承諾を得るものとする。 )</p> <p>3. ステンレス製建具</p> <p>材料 ※ SUS304 ・ SUS430J1L ・ SUS443J1 ・ ( ) (16. 6. 3)</p> <p>表面仕上げ ※ HL ・ No.8(鏡面) ・ #400 ・ No.2B ・ ( ) (16. 6. 4)</p> <p>曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ 角出し曲げ (16. 6. 5)</p> <p>製造所 ( 監督員の承諾を得るものとする。 )</p> <p>○ 4. 木製建具 (16. 7. 2)(表16. 7. 1)</p> <p>建具材の含水率 ※ A種 ・ B種</p> <p>かまち戸の樹種 かまち ( ) 鏡板 ( )</p> <p>ふすま紙の上張り ・ 新鳥の子 ・ 鳥の子 ・ ビニル紙 ・ 雲花紙</p> <p>枠</p> <p>○ 木製枠 ・ 鋼製枠 ( )</p> <p>くつずり ・ ステンレス製(HL仕上げ) ( )</p> <p>フラッシュ戸 表面板の厚さ ※ 表16.7.6 ( ) (16. 7. 3)</p> <p>見込み寸法 かまち戸( ※ 36mm ) ふすま戸( ※ 19.5 ・ 21 ・ 18 ) (16. 7. 3)</p> <p>戸ふすま( ※ 30mm ) 紙張り障子( ※ 30mm )</p> <p>○ 5. 建具用金物 (16. 8. 1.2,3)(表16. 8. 1)</p> <p>※ 建具製作所の仕様による ・ 図示による (16. 8. 1)</p> <p>マスターキー ※ 製作する ・ 製作しない (16. 8. 4)</p> <p>鍵箱 ※ 必要 ( 組用 ) ・ 不要</p> <p>6. 重量シャッター (16. 11. 2~5)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>耐風圧性能</th> <th>開閉機能</th> <th>シャッターケースの設置</th> <th>危害防止機構</th> </tr> <tr> <td>・ 管理用シャッター</td> <td>・ 50 ・ 80</td> <td>※ 上部電動式</td> <td>・ 有 ・ 無</td> <td rowspan="2">※ 危険防止措置</td> </tr> <tr> <td>・ 外壁用防火シャッター</td> <td>・ 120</td> <td>( 手動併用 )</td> <td>・ シャッターの二段降下方式</td> </tr> <tr> <td>・ 屋内用防火シャッター</td> <td></td> <td>・ 上部手動式</td> <td>※ 有</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 防煙シャッター</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>7. 軽量シャッター (16. 12. 2)</p> <p>開閉形式 ※ 手動式 ・ 上部電動式(手動併用)</p> <p>耐風圧性能 ・ 50 ・ 65 ・ 80</p> <p>スラットの材質 ※ 塗装亜鉛めっき鋼帯 ・ ( ) (16. 12. 3)</p> <p>スラットの形状 ・ インターロック形 ・ オーバーラッピング形 (16. 12. 4)</p> <p>○ 8. ガラス (16. 14. 2)</p> <p>JIS規格品</p> <p>※ 材料、厚みは図示による</p> <p>○ 9. ガラス留め材 (16. 14. 2.3)</p> <p>アルミニウム製建具 ※ シーリング(SR-1)</p> <p>・ ガスケット(グレイジングチャンネル形)(意に適用)</p> <p>鋼製・ステンレス製建具 ※ シーリング(SR-1) (表 9. 7. 1)</p> <p>木製建具 ※ シーリング(SR-1)</p> <p>10. ガラスブロック積み (16. 14. 5)</p> <p>JIS A 5212(ガラスブロック(中空))</p> <p>表面形状( ) 呼び寸法( ) 厚さ( )</p> <p>壁用金属枠及び補強材 ( )</p> <p>カチ</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>寸法</th> <th>形状</th> </tr> <tr> <td>※ ステンレス鋼(SUS304)</td> <td>※ 径5.5mm</td> <td>※ はしご形状腹筋及び単筋</td> </tr> </table> <p>シーリング材 ( )</p> <p>金属製化粧カバー 材質( ) 寸法( ) 形状( )</p> <p>ガラスブロックの目地幅の寸法</p> <p>平積み ※ 8~15mm ( )</p> <p>曲面積み ※ 外側15mm以下、内側6mm以上 ( )</p> <p>伸縮調整目地位置 ※ 6mm以下 ( )</p> <p>目地部のカチの補強方法 ※ 製造所の仕様 ( )</p>	種別	簡易気密型ドアセットの性能	外部に面する建具の耐風圧性	鋼板類の厚さ	・ 標準型建具	・ 表16. 4. 1を適用する	・ S-4 ・ S-5	※表16. 4. 2による		・ 適用しない	・ S-6	・ 適用しない	・ 標準型建具以外の建具	・ 表16. 4. 1を適用する	・ S-4 ・ S-5	※表16. 4. 2による		・ 適用しない	・ S-6	・ 適用しない	種類	耐風圧性能	開閉機能	シャッターケースの設置	危害防止機構	・ 管理用シャッター	・ 50 ・ 80	※ 上部電動式	・ 有 ・ 無	※ 危険防止措置	・ 外壁用防火シャッター	・ 120	( 手動併用 )	・ シャッターの二段降下方式	・ 屋内用防火シャッター		・ 上部手動式	※ 有		・ 防煙シャッター					材質	寸法	形状	※ ステンレス鋼(SUS304)	※ 径5.5mm	※ はしご形状腹筋及び単筋	<p>19 内装工事</p> <p>1. ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り (19. 2. 2)</p> <p>接着剤 壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート、ビニル幅木に使用する接着剤は、ホルマリン不検出のもので、水性のものとする。接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする(水廻り及び湿度の高い箇所を除く)。</p> <p>ビニル床シート</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>色柄</th> <th>厚さ</th> <th>工法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ FS</td> <td>・ 無地</td> <td>※ 2.0</td> <td>※ 熱溶接</td> <td>・ 防滑性ビニル床シート</td> </tr> <tr> <td>・ 模様</td> <td></td> <td></td> <td>・ 突付け</td> <td></td> </tr> </table> <p>ビニル床タイル</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>色柄</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ コンポジションビニル床タイル(KT)</td> <td>・ 無地</td> <td>※ 2</td> <td>・ 防滑性床タイル</td> </tr> <tr> <td>・ 単層ビニル床タイル(TT)</td> <td>・ 模様</td> <td>・ 3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 複層ビニル床タイル(FT)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>特殊機能床材</p> <p>帯電防止床シート又は床タイル 種類( ) 性能( ) 厚さ( )</p> <p>視覚障害者用床タイル 種類( ) 形状( )</p> <p>耐動荷重性床シート 種類( ) 厚さ( )</p> <p>ビニル幅木 厚さ( ※ 1.5mm以上 ) 高さ( ※ 60mm ・ 100mm ) 種類( )</p> <p>ゴム床タイル 種類( ) 厚さ( ) 色柄( ) 寸法( )</p> <p>下地がセメント系及び木質系以外の場合の接着剤種別 ビニル床シート、タイル( )</p> <p>ゴム床タイル( )</p> <p>2. カーペット敷き (19. 3. 2~3)(表19. 3. 1~2)</p> <p>・ 織じゅうたん 種別 ( ・ A種 ・ B種 ・ C種 ) 織り方( )</p> <p>パイル形状 ( ・ カットパイル ・ ループパイル )</p> <p>帯電性(人体帯電圧 ※ 3kv以下 )</p> <p>・ タフテッドカーペット パイル形状 ( ・ カットパイル ・ ループパイル )</p> <p>パイル長( ) 帯電性(人体帯電圧 ※ 3kv以下 )</p> <p>工法 ( ・ グリッパ ・ 全面接着 )</p> <p>・ タイルカーペット 種類 ( ※ 第1種 ) パイル形状( ※ ループパイル )</p> <p>寸法 ( ※ 500mm角 ) 総厚さ( ※ 6.5mm )</p> <p>平畳敷き方 ( ※ 市松敷き )</p> <p>階段敷き方 ( ※ 模様流し )</p> <p>下敷き材 ( ※ JIS L 3204 第2種2号 呼び厚さ8mm )</p> <p>取付け用付属品 見切り 材質( ) 種類( ) 形状( )</p> <p>押え金物 材質( ) 種類( ) 形状( )</p> <p>○ 3. 合成樹脂塗床 (19. 4. 2~3)(表19. 4. 4~8)</p> <table border="1"> <tr> <th>材料</th> <th>種類</th> <th>仕上げの種類</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">○ 厚膜型塗床材</td> <td>・ 弾性ウレタン樹脂系塗床材</td> <td>※ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ</td> </tr> <tr> <td>○ エポキシ樹脂系塗床材</td> <td>・ 薄膜流しのべ工法 ( ※ 平滑 ・ 防滑 )</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○ 薄膜型塗床材</td> <td>・ 樹脂モルタル工法 ( ※ 平滑 ・ 防滑 )</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ エポキシ樹脂系塗床材</td> <td>○ 平滑仕上げ</td> </tr> </table> <p>4. フローリング張り (19. 5. 2~7)(表19. 5. 1~5)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">工法</th> <th rowspan="2">フローリング種類</th> <th colspan="2">寸法等</th> <th rowspan="2">樹種</th> </tr> <tr> <th>単層</th> <th>複合</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">※ 釘留め工法(接着剤併用)</td> <td rowspan="2">※ 根太張り工法</td> <td>※ フローリングボード</td> <td>表19. 5. 1</td> <td>・ なら</td> </tr> <tr> <td>・ A種</td> <td></td> <td>・ さくら</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 直張り工法</td> <td rowspan="2">複合</td> <td>・ B種</td> <td>表19. 5. 2</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ C種</td> <td></td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">・ 接着工法</td> <td rowspan="2">単層</td> <td>※ フローリングボード</td> <td>表19. 5. 3</td> <td>・ なら</td> </tr> <tr> <td>・ A種</td> <td></td> <td>・ さくら</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">複合</td> <td>・ B種</td> <td>表19. 5. 4</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ C種</td> <td></td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ フローリングブロック</td> <td>※ 図示による</td> <td>表19. 5. 5</td> <td>・ なら</td> </tr> <tr> <td>・ フローリングボード</td> <td>表19. 5. 6</td> <td>・ さくら</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ A種</td> <td rowspan="2">複合</td> <td>・ B種</td> <td>表19. 5. 6</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ C種</td> <td></td> <td>・</td> </tr> </table> <p>5. 畳敷き (19. 6. 2)(表19. 6. 1)</p> <p>畳の種類 (和室) ・ A種 (畳表 ・ JS ・ J1 ) ・ B種 (19. 6. 2)(表19. 6. 1)</p> <p>※ C種 (畳床 ※ PS-C20 ・ PS-C25 ・ PS-C30 )</p> <p>・ D種 (畳床 ・ KT-I ・ KT-II ・ KT-III ・ KT-K ・ KT-N )</p> <p>(柔道場) 製造所 ( 監督員の承諾を得るものとする。 )</p>	種類	色柄	厚さ	工法	備考	※ FS	・ 無地	※ 2.0	※ 熱溶接	・ 防滑性ビニル床シート	・ 模様			・ 突付け		種類	色柄	厚さ(mm)	備考	※ コンポジションビニル床タイル(KT)	・ 無地	※ 2	・ 防滑性床タイル	・ 単層ビニル床タイル(TT)	・ 模様	・ 3		・ 複層ビニル床タイル(FT)				材料	種類	仕上げの種類	○ 厚膜型塗床材	・ 弾性ウレタン樹脂系塗床材	※ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ	○ エポキシ樹脂系塗床材	・ 薄膜流しのべ工法 ( ※ 平滑 ・ 防滑 )	○ 薄膜型塗床材	・ 樹脂モルタル工法 ( ※ 平滑 ・ 防滑 )		○ エポキシ樹脂系塗床材	○ 平滑仕上げ	工法	フローリング種類	寸法等		樹種	単層	複合	※ 釘留め工法(接着剤併用)	※ 根太張り工法	※ フローリングボード	表19. 5. 1	・ なら	・ A種		・ さくら	・ 直張り工法	複合	・ B種	表19. 5. 2	・	・ C種		・	・ 接着工法	単層	※ フローリングボード	表19. 5. 3	・ なら	・ A種		・ さくら	複合	・ B種	表19. 5. 4	・	・ C種		・	・ フローリングブロック	※ 図示による	表19. 5. 5	・ なら	・ フローリングボード	表19. 5. 6	・ さくら	・ A種	複合	・ B種	表19. 5. 6	・	・ C種		・
種類	施工箇所																																																																																																																																																																																																		
・ AB-1種(無着色)																																																																																																																																																																																																			
・ AB-2種( ・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)																																																																																																																																																																																																			
・ AC-1種(無着色)																																																																																																																																																																																																			
・ AC-2種( ・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)																																																																																																																																																																																																			
・ BA-1種(無着色)																																																																																																																																																																																																			
・ BA-2種( ・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)																																																																																																																																																																																																			
※ BB-1種(無着色)	アルミ建具																																																																																																																																																																																																		
・ BB-2種( ・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)																																																																																																																																																																																																			
・ BC-1種(無着色)																																																																																																																																																																																																			
・ BC-2種( ・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー)																																																																																																																																																																																																			
・ C種																																																																																																																																																																																																			
表面処理方法	種類	施工箇所																																																																																																																																																																																																	
溶融亜鉛めっき	・ A種																																																																																																																																																																																																		
	・ B種																																																																																																																																																																																																		
	・ C種																																																																																																																																																																																																		
	・ D種																																																																																																																																																																																																		
電気亜鉛めっき	・ E種																																																																																																																																																																																																		
	・ F種																																																																																																																																																																																																		
種別	簡易気密型ドアセットの性能	外部に面する建具の耐風圧性	鋼板類の厚さ																																																																																																																																																																																																
・ 標準型建具	・ 表16. 4. 1を適用する	・ S-4 ・ S-5	※表16. 4. 2による																																																																																																																																																																																																
	・ 適用しない	・ S-6	・ 適用しない																																																																																																																																																																																																
・ 標準型建具以外の建具	・ 表16. 4. 1を適用する	・ S-4 ・ S-5	※表16. 4. 2による																																																																																																																																																																																																
	・ 適用しない	・ S-6	・ 適用しない																																																																																																																																																																																																
種類	耐風圧性能	開閉機能	シャッターケースの設置	危害防止機構																																																																																																																																																																																															
・ 管理用シャッター	・ 50 ・ 80	※ 上部電動式	・ 有 ・ 無	※ 危険防止措置																																																																																																																																																																																															
・ 外壁用防火シャッター	・ 120	( 手動併用 )	・ シャッターの二段降下方式																																																																																																																																																																																																
・ 屋内用防火シャッター		・ 上部手動式	※ 有																																																																																																																																																																																																
・ 防煙シャッター																																																																																																																																																																																																			
材質	寸法	形状																																																																																																																																																																																																	
※ ステンレス鋼(SUS304)	※ 径5.5mm	※ はしご形状腹筋及び単筋																																																																																																																																																																																																	
種類	色柄	厚さ	工法	備考																																																																																																																																																																																															
※ FS	・ 無地	※ 2.0	※ 熱溶接	・ 防滑性ビニル床シート																																																																																																																																																																																															
・ 模様			・ 突付け																																																																																																																																																																																																
種類	色柄	厚さ(mm)	備考																																																																																																																																																																																																
※ コンポジションビニル床タイル(KT)	・ 無地	※ 2	・ 防滑性床タイル																																																																																																																																																																																																
・ 単層ビニル床タイル(TT)	・ 模様	・ 3																																																																																																																																																																																																	
・ 複層ビニル床タイル(FT)																																																																																																																																																																																																			
材料	種類	仕上げの種類																																																																																																																																																																																																	
○ 厚膜型塗床材	・ 弾性ウレタン樹脂系塗床材	※ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ																																																																																																																																																																																																	
	○ エポキシ樹脂系塗床材	・ 薄膜流しのべ工法 ( ※ 平滑 ・ 防滑 )																																																																																																																																																																																																	
○ 薄膜型塗床材	・ 樹脂モルタル工法 ( ※ 平滑 ・ 防滑 )																																																																																																																																																																																																		
	○ エポキシ樹脂系塗床材	○ 平滑仕上げ																																																																																																																																																																																																	
工法	フローリング種類	寸法等		樹種																																																																																																																																																																																															
		単層	複合																																																																																																																																																																																																
※ 釘留め工法(接着剤併用)	※ 根太張り工法	※ フローリングボード	表19. 5. 1	・ なら																																																																																																																																																																																															
		・ A種		・ さくら																																																																																																																																																																																															
・ 直張り工法	複合	・ B種	表19. 5. 2	・																																																																																																																																																																																															
		・ C種		・																																																																																																																																																																																															
・ 接着工法	単層	※ フローリングボード	表19. 5. 3	・ なら																																																																																																																																																																																															
		・ A種		・ さくら																																																																																																																																																																																															
	複合	・ B種	表19. 5. 4	・																																																																																																																																																																																															
		・ C種		・																																																																																																																																																																																															
・ フローリングブロック	※ 図示による	表19. 5. 5	・ なら																																																																																																																																																																																																
	・ フローリングボード	表19. 5. 6	・ さくら																																																																																																																																																																																																
・ A種	複合	・ B種	表19. 5. 6	・																																																																																																																																																																																															
		・ C種		・																																																																																																																																																																																															
15 左官工事	<p>1. モルタル塗り (15. 3. 2)</p> <p>材料</p> <p>モルタル ・ 現場調査材料 ・ 既調合材料(JIS A 6916)</p> <p>防水モルタルの防水剤</p> <p>製造所 ( 監督員の承諾を得るものとする。 )</p> <p>・ 既製目地材 形状( )</p> <p>2. 仕上塗材仕上げ (15. 6. 2)(表15. 6. 1~2)</p> <p>材料</p> <p>JIS A 6909(建築用仕上塗材)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>呼び名</th> <th>仕上げ形状等</th> </tr> <tr> <td>・ 薄付け仕上塗材</td> <td>※ 外装薄塗材E</td> <td>・ 砂壁状 ・ 着色骨材砂壁状</td> </tr> <tr> <td>・ 複層仕上塗材</td> <td>※ 複層塗材E</td> <td>※ ゆず肌状 ・ 凸部処理 ・ 凹凸状</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 複層塗材RE</td> <td>耐水性 ※ 耐候形3種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 防水形複層塗材E</td> <td>上塗材</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>溶媒 ※ 水系 ・ 溶剤系</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>樹脂 ※ アクリル系</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>外観 ※ つやあり ・ つやなし</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ メタリック</td> </tr> </table>	種類	呼び名	仕上げ形状等	・ 薄付け仕上塗材	※ 外装薄塗材E	・ 砂壁状 ・ 着色骨材砂壁状	・ 複層仕上塗材	※ 複層塗材E	※ ゆず肌状 ・ 凸部処理 ・ 凹凸状		・ 複層塗材RE	耐水性 ※ 耐候形3種		・ 防水形複層塗材E	上塗材			溶媒 ※ 水系 ・ 溶剤系			樹脂 ※ アクリル系			外観 ※ つやあり ・ つやなし			・ メタリック	<p>18 塗装工事</p> <p>○ 1. 材料 (18. 2. 2)(表18. 2. 1)</p> <p>※ 屋内の壁及び天井の塗装仕上げ材は、防火材料の指定がある場合は建築基準法に基づき、指定又は認定を受けたものとする。基材同等の認定表示のあるものとする。</p> <p>○ 2. 素地ごしらえ (18. 2. 2)(表18. 2. 1)</p> <p>・ 木部 不透明塗料塗り ( ※ A種 ・ B種 )</p> <p>透明塗料塗り ( ・ A種 ※ B種 )</p> <p>・ 鉄鋼面 ( ・ A種 ・ B種 ※ C種 ) (18. 2. 3)(表18. 2. 2)</p> <p>(耐候性塗料塗り(DP)の場合は、B種とする)</p> <p>・ 亜鉛めっき鋼面 ( ・ A種 ・ B種 ) (18. 2. 4)(表18. 2. 3)</p> <p>・ モルタル及びせっこうラスター面 ( ・ A種 ※ B種 ) (18. 2. 5)(表18. 2. 4)</p> <p>・ コンクリート及びALCパネル及び押出成形セメント板面 ( ・ A種 ※ B種 ) (18. 2. 6)(表18. 2. 5)</p> <p>(押出成形セメント板面及び耐候性塗料塗り(DP)については、表18. 2. 6による) (表18. 2. 6)</p> <p>○ せっこうボード及びその他ボード面 ( ・ A種 ※ B種 ) (18. 2. 7)(表18. 2. 7)</p> <p>○ 3. 塗料塗り (18. 3. 2~3)(表18. 3. 1~6)</p> <p>○ 錆止め塗料塗り</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">下地</th> <th colspan="2">塗料種別</th> <th rowspan="2">塗り種別</th> </tr> <tr> <th>錆止め塗装のまま</th> <th>※ As種</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">鉄鋼面</td> <td>SOP</td> <td>※ As種</td> <td>見え掛り部分 ※ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>EP-G</td> <td>・ As種 ※ Bs種</td> <td>見え隠れ部分 ・ A種 ※ B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">亜鉛めっき鋼面</td> <td>DP</td> <td>1回目 ※ Cs種</td> <td rowspan="2">表18. 3. 4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2・3回目 ※ Ds種</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)</td> <td>SOP</td> <td>※ Az種 ・ Bz種</td> <td>鋼製建具 ※ A種 ・ B種</td> </tr> <tr> <td>EP-G</td> <td>※ Cz種</td> <td>その他 ・ A種 ※ B種</td> </tr> <tr> <td>DP</td> <td>※ Bz種</td> <td>表18. 3. 6</td> </tr> </table> <p>○ 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)</p> <p>塗料種類 ※ 1種 ・ 2種 (18. 4. 2)</p> <p>木部塗り種別 (屋外) ※ A種 ・ B種 (18. 4. 3)</p> <p>(屋内) ・ A種 ※ B種 (多孔質広葉樹の場合を除く)</p> <p>鉄鋼面塗り種別 ・ A種 ※ B種 (18. 4. 4)</p> <p>・ クリヤラッカー塗り(CL) (18. 5. 2)(表18. 5. 1)</p> <p>塗り種別 ・ A種 ※ B種</p> <p>○ アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD) (18. 6. 2)(表18. 6. 1)</p> <p>塗り種別 ・ A種 ※ B種</p>	下地	塗料種別		塗り種別	錆止め塗装のまま	※ As種	鉄鋼面	SOP	※ As種	見え掛り部分 ※ A種 ・ B種	EP-G	・ As種 ※ Bs種	見え隠れ部分 ・ A種 ※ B種	亜鉛めっき鋼面	DP	1回目 ※ Cs種	表18. 3. 4		2・3回目 ※ Ds種	合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	SOP	※ Az種 ・ Bz種	鋼製建具 ※ A種 ・ B種	EP-G	※ Cz種	その他 ・ A種 ※ B種	DP	※ Bz種	表18. 3. 6	<p>トラス・アーキテクト株式会社</p> <p>一級建築士 第 344260 号</p> <p>木元 達也</p> <p>スケートボード等専用施設管理棟ほか1棟新築本体工事</p> <p>建築工事特記仕様書 5-4</p> <p>鹿児島市建設局建築部建築課</p> <p>A-4</p>																																																																																																																																								
種類	呼び名	仕上げ形状等																																																																																																																																																																																																	
・ 薄付け仕上塗材	※ 外装薄塗材E	・ 砂壁状 ・ 着色骨材砂壁状																																																																																																																																																																																																	
・ 複層仕上塗材	※ 複層塗材E	※ ゆず肌状 ・ 凸部処理 ・ 凹凸状																																																																																																																																																																																																	
	・ 複層塗材RE	耐水性 ※ 耐候形3種																																																																																																																																																																																																	
	・ 防水形複層塗材E	上塗材																																																																																																																																																																																																	
		溶媒 ※ 水系 ・ 溶剤系																																																																																																																																																																																																	
		樹脂 ※ アクリル系																																																																																																																																																																																																	
		外観 ※ つやあり ・ つやなし																																																																																																																																																																																																	
		・ メタリック																																																																																																																																																																																																	
下地	塗料種別		塗り種別																																																																																																																																																																																																
	錆止め塗装のまま	※ As種																																																																																																																																																																																																	
鉄鋼面	SOP	※ As種	見え掛り部分 ※ A種 ・ B種																																																																																																																																																																																																
	EP-G	・ As種 ※ Bs種	見え隠れ部分 ・ A種 ※ B種																																																																																																																																																																																																
亜鉛めっき鋼面	DP	1回目 ※ Cs種	表18. 3. 4																																																																																																																																																																																																
		2・3回目 ※ Ds種																																																																																																																																																																																																	
合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	SOP	※ Az種 ・ Bz種	鋼製建具 ※ A種 ・ B種																																																																																																																																																																																																
	EP-G	※ Cz種	その他 ・ A種 ※ B種																																																																																																																																																																																																
	DP	※ Bz種	表18. 3. 6																																																																																																																																																																																																
16 建具工事	<p>1. アルミニウム製建具 (16. 2. 2.4,5)(表16. 2. 1.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>外部に面する建具</th> <th>内部建具</th> <th>枠見込み(mm)</th> </tr> <tr> <td>※ 普通ドア</td> <td>※ コットレス</td> <td>・ A種</td> <td>○ B種</td> <td>※ 70</td> </tr> <tr> <td>セツ、サツ</td> <td>鉄骨下地</td> <td>・ C種</td> <td></td> <td>※ 100 ・ 図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 木下地</td> <td>・ D種</td> <td>・ E種</td> <td>※ 70</td> </tr> </table> <p>・ 防音ドアセット 遮音性の等級( )</p> <p>・ 断熱ドアセット 断熱性の等級( )</p> <p>・ 耐震ドアセット 面内変形追従性の等級( )</p> <p>表面処理(表14.2.11による) ※ BB-1種 ・ ※ AC-1種</p> <p>網戸防虫網 ※ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス(SUS316)製 (16. 2. 3)</p> <p>結露水 ※ 屋外排出</p> <p>くつずり仕上 ※ HL</p> <p>水切り板、ぜん板等 ※ 図示</p> <p>製造所 ( 監督員の承諾を得るものとする。 )</p>	種別	外部に面する建具	内部建具	枠見込み(mm)	※ 普通ドア	※ コットレス	・ A種	○ B種	※ 70	セツ、サツ	鉄骨下地	・ C種		※ 100 ・ 図示		・ 木下地	・ D種	・ E種	※ 70	<p>19 内装工事</p> <p>1. ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り (19. 2. 2)</p> <p>接着剤 壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート、ビニル幅木に使用する接着剤は、ホルマリン不検出のもので、水性のものとする。接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする(水廻り及び湿度の高い箇所を除く)。</p> <p>ビニル床シート</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>色柄</th> <th>厚さ</th> <th>工法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ FS</td> <td>・ 無地</td> <td>※ 2.0</td> <td>※ 熱溶接</td> <td>・ 防滑性ビニル床シート</td> </tr> <tr> <td>・ 模様</td> <td></td> <td></td> <td>・ 突付け</td> <td></td> </tr> </table> <p>ビニル床タイル</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>色柄</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ コンポジションビニル床タイル(KT)</td> <td>・ 無地</td> <td>※ 2</td> <td>・ 防滑性床タイル</td> </tr> <tr> <td>・ 単層ビニル床タイル(TT)</td> <td>・ 模様</td> <td>・ 3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 複層ビニル床タイル(FT)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>特殊機能床材</p> <p>帯電防止床シート又は床タイル 種類( ) 性能( ) 厚さ( )</p> <p>視覚障害者用床タイル 種類( ) 形状( )</p> <p>耐動荷重性床シート 種類( ) 厚さ( )</p> <p>ビニル幅木 厚さ( ※ 1.5mm以上 ) 高さ( ※ 60mm ・ 100mm ) 種類( )</p> <p>ゴム床タイル 種類( ) 厚さ( ) 色柄( ) 寸法( )</p> <p>下地がセメント系及び木質系以外の場合の接着剤種別 ビニル床シート、タイル( )</p> <p>ゴム床タイル( )</p> <p>2. カーペット敷き (19. 3. 2~3)(表19. 3. 1~2)</p> <p>・ 織じゅうたん 種別 ( ・ A種 ・ B種 ・ C種 ) 織り方( )</p> <p>パイル形状 ( ・ カットパイル ・ ループパイル )</p> <p>帯電性(人体帯電圧 ※ 3kv以下 )</p> <p>・ タフテッドカーペット パイル形状 ( ・ カットパイル ・ ループパイル )</p> <p>パイル長( ) 帯電性(人体帯電圧 ※ 3kv以下 )</p> <p>工法 ( ・ グリッパ ・ 全面接着 )</p> <p>・ タイルカーペット 種類 ( ※ 第1種 ) パイル形状( ※ ループパイル )</p> <p>寸法 ( ※ 500mm角 ) 総厚さ( ※ 6.5mm )</p> <p>平畳敷き方 ( ※ 市松敷き )</p> <p>階段敷き方 ( ※ 模様流し )</p> <p>下敷き材 ( ※ JIS L 3204 第2種2号 呼び厚さ8mm )</p> <p>取付け用付属品 見切り 材質( ) 種類( ) 形状( )</p> <p>押え金物 材質( ) 種類( ) 形状( )</p> <p>○ 3. 合成樹脂塗床 (19. 4. 2~3)(表19. 4. 4~8)</p> <table border="1"> <tr> <th>材料</th> <th>種類</th> <th>仕上げの種類</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">○ 厚膜型塗床材</td> <td>・ 弾性ウレタン樹脂系塗床材</td> <td>※ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ</td> </tr> <tr> <td>○ エポキシ樹脂系塗床材</td> <td>・ 薄膜流しのべ工法 ( ※ 平滑 ・ 防滑 )</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○ 薄膜型塗床材</td> <td>・ 樹脂モルタル工法 ( ※ 平滑 ・ 防滑 )</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ エポキシ樹脂系塗床材</td> <td>○ 平滑仕上げ</td> </tr> </table> <p>4. フローリング張り (19. 5. 2~7)(表19. 5. 1~5)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">工法</th> <th rowspan="2">フローリング種類</th> <th colspan="2">寸法等</th> <th rowspan="2">樹種</th> </tr> <tr> <th>単層</th> <th>複合</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">※ 釘留め工法(接着剤併用)</td> <td rowspan="2">※ 根太張り工法</td> <td>※ フローリングボード</td> <td>表19. 5. 1</td> <td>・ なら</td> </tr> <tr> <td>・ A種</td> <td></td> <td>・ さくら</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 直張り工法</td> <td rowspan="2">複合</td> <td>・ B種</td> <td>表19. 5. 2</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ C種</td> <td></td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">・ 接着工法</td> <td rowspan="2">単層</td> <td>※ フローリングボード</td> <td>表19. 5. 3</td> <td>・ なら</td> </tr> <tr> <td>・ A種</td> <td></td> <td>・ さくら</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">複合</td> <td>・ B種</td> <td>表19. 5. 4</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ C種</td> <td></td> <td>・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ フローリングブロック</td> <td>※ 図示による</td> <td>表19. 5. 5</td> <td>・ なら</td> </tr> <tr> <td>・ フローリングボード</td> <td>表19. 5. 6</td> <td>・ さくら</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ A種</td> <td rowspan="2">複合</td> <td>・ B種</td> <td>表19. 5. 6</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ C種</td> <td></td> <td>・</td> </tr> </table> <p>5. 畳敷き (19. 6. 2)(表19. 6. 1)</p> <p>畳の種類 (和室) ・ A種 (畳表 ・ JS ・ J1 ) ・ B種 (19. 6. 2)(表19. 6. 1)</p> <p>※ C種 (畳床 ※ PS-C20 ・ PS-C25 ・ PS-C30 )</p> <p>・ D種 (畳床 ・ KT-I ・ KT-II ・ KT-III ・ KT-K ・ KT-N )</p> <p>(柔道場) 製造所 ( 監督員の承諾を得るものとする。 )</p>	種類	色柄	厚さ	工法	備考	※ FS	・ 無地	※ 2.0	※ 熱溶接	・ 防滑性ビニル床シート	・ 模様			・ 突付け		種類	色柄	厚さ(mm)	備考	※ コンポジションビニル床タイル(KT)	・ 無地	※ 2	・ 防滑性床タイル	・ 単層ビニル床タイル(TT)	・ 模様	・ 3		・ 複層ビニル床タイル(FT)				材料	種類	仕上げの種類	○ 厚膜型塗床材	・ 弾性ウレタン樹脂系塗床材	※ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ	○ エポキシ樹脂系塗床材	・ 薄膜流しのべ工法 ( ※ 平滑 ・ 防滑 )	○ 薄膜型塗床材	・ 樹脂モルタル工法 ( ※ 平滑 ・ 防滑 )		○ エポキシ樹脂系塗床材	○ 平滑仕上げ	工法	フローリング種類	寸法等		樹種	単層	複合	※ 釘留め工法(接着剤併用)	※ 根太張り工法	※ フローリングボード	表19. 5. 1	・ なら	・ A種		・ さくら	・ 直張り工法	複合	・ B種	表19. 5. 2	・	・ C種		・	・ 接着工法	単層	※ フローリングボード	表19. 5. 3	・ なら	・ A種		・ さくら	複合	・ B種	表19. 5. 4	・	・ C種		・	・ フローリングブロック	※ 図示による	表19. 5. 5	・ なら	・ フローリングボード	表19. 5. 6	・ さくら	・ A種	複合	・ B種	表19. 5. 6	・	・ C種		・																																																																													
種別	外部に面する建具	内部建具	枠見込み(mm)																																																																																																																																																																																																
※ 普通ドア	※ コットレス	・ A種	○ B種	※ 70																																																																																																																																																																																															
セツ、サツ	鉄骨下地	・ C種		※ 100 ・ 図示																																																																																																																																																																																															
	・ 木下地	・ D種	・ E種	※ 70																																																																																																																																																																																															
種類	色柄	厚さ	工法	備考																																																																																																																																																																																															
※ FS	・ 無地	※ 2.0	※ 熱溶接	・ 防滑性ビニル床シート																																																																																																																																																																																															
・ 模様			・ 突付け																																																																																																																																																																																																
種類	色柄	厚さ(mm)	備考																																																																																																																																																																																																
※ コンポジションビニル床タイル(KT)	・ 無地	※ 2	・ 防滑性床タイル																																																																																																																																																																																																
・ 単層ビニル床タイル(TT)	・ 模様	・ 3																																																																																																																																																																																																	
・ 複層ビニル床タイル(FT)																																																																																																																																																																																																			
材料	種類	仕上げの種類																																																																																																																																																																																																	
○ 厚膜型塗床材	・ 弾性ウレタン樹脂系塗床材	※ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ																																																																																																																																																																																																	
	○ エポキシ樹脂系塗床材	・ 薄膜流しのべ工法 ( ※ 平滑 ・ 防滑 )																																																																																																																																																																																																	
○ 薄膜型塗床材	・ 樹脂モルタル工法 ( ※ 平滑 ・ 防滑 )																																																																																																																																																																																																		
	○ エポキシ樹脂系塗床材	○ 平滑仕上げ																																																																																																																																																																																																	
工法	フローリング種類	寸法等		樹種																																																																																																																																																																																															
		単層	複合																																																																																																																																																																																																
※ 釘留め工法(接着剤併用)	※ 根太張り工法	※ フローリングボード	表19. 5. 1	・ なら																																																																																																																																																																																															
		・ A種		・ さくら																																																																																																																																																																																															
・ 直張り工法	複合	・ B種	表19. 5. 2	・																																																																																																																																																																																															
		・ C種		・																																																																																																																																																																																															
・ 接着工法	単層	※ フローリングボード	表19. 5. 3	・ なら																																																																																																																																																																																															
		・ A種		・ さくら																																																																																																																																																																																															
	複合	・ B種	表19. 5. 4	・																																																																																																																																																																																															
		・ C種		・																																																																																																																																																																																															
・ フローリングブロック	※ 図示による	表19. 5. 5	・ なら																																																																																																																																																																																																
	・ フローリングボード	表19. 5. 6	・ さくら																																																																																																																																																																																																
・ A種	複合	・ B種	表19. 5. 6	・																																																																																																																																																																																															
		・ C種		・																																																																																																																																																																																															

章 項目	特 記 事 項	章 項目	特 記 事 項	章 項目	特 記 事 項																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
19 内装 工事	<p>6. せっこうボード、その他ボード及び合板張り</p> <p>せっこうボード、その他ボード類 (19.7.2~3)(表 19.7.1~5)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>種 別</th> <th>張 り 方</th> <th>厚 さ</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">○ せっこうボード</td> <td rowspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ GB-R</li> <li>○ GB-S</li> <li>○ GB-F</li> <li>○ GB-L</li> </ul> </td> <td>下地張り</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 突付け</li> <li>※ 縦目処理</li> <li>※ 目透し</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 9.5</li> <li>◎ 12.5</li> <li>・ 15.0</li> <li>・ 9.5 ※ 12.5</li> <li>・ 15.0</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>上張り</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 突付け</li> <li>※ 縦目処理</li> <li>※ 目透し</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 9.5</li> <li>◎ 12.5</li> <li>・ 15.0</li> <li>・ 9.5 ※ 12.5</li> <li>・ 15.0</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 化粧せっこうボード</td> <td rowspan="2"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ トーパーチン模様 (GB-D)</li> <li>・ 木目模様 (裏積付) (GB-D)</li> </ul> </td> <td>直張り</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 突付け</li> <li>※ 縦目処理</li> <li>※ 目透し</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 9.5</li> <li>・ 15.0</li> <li>・ 12.5</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 無石綿けい酸カルシウム板</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 突付け</li> <li>・ 縦目処理</li> <li>※ 目透し</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 6</li> <li>◎ 8</li> <li>◎ 10</li> <li>・ 12</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>○ 木毛セメント板</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 難燃木毛セメント板 (2級以上)</li> <li>・ 断熱木毛セメント板</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 30分耐火以上</li> <li>○ 準不燃</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 15</li> <li>・ 20</li> <li>◎ 25</li> <li>・ 30</li> <li>・ 40</li> <li>・ 50</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 不燃・準不燃</li> <li>※ 455×910</li> <li>・ 910×910</li> <li>防火認定は準不燃とし専用軽鉄下地材付き</li> <li>JIS A5430に準拠したノンアスベストのもの</li> <li>監督員の承諾による工場</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td colspan="5">合板類</td> </tr> <tr> <td colspan="5"> <table border="1"> <tr> <th>材 種</th> <th>規 格</th> <th>厚 さ</th> <th>防虫処理</th> <th>工 法</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 普通合板</td> <td>品名 ( )</td> <td>※ 5.5</td> <td>・ 行方</td> <td>・ A種</td> </tr> <tr> <td>表面の品質 広葉樹 (※ 2等以上) 針葉樹 (※ C-D以上)</td> <td>・ 9</td> <td>・ 行方ない</td> <td>・ B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 天然木化粧合板</td> <td>単板の樹種名 ( )</td> <td>・</td> <td>・ 行方</td> <td>・ A種</td> </tr> <tr> <td>化粧合板の単板の樹種名 ( )</td> <td>・</td> <td>・ 行方ない</td> <td>・ B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○ 特殊加工化粧合板</td> <td>品目 ( )</td> <td>・</td> <td>・ 行方</td> <td>・ A種</td> </tr> <tr> <td>接着の程度 ( ) 単板の樹種名 ( )</td> <td>・</td> <td>・ 行方ない</td> <td>・ B種</td> </tr> <tr> <td colspan="5">化粧加工の方法 ( ・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装 ○ OSBボード)</td> </tr> <tr> <td colspan="5">下地 ・ 軽量鉄骨下地 ・ 木下地 ○ GB-R12.5</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>○ 7. 壁紙張り</td> <td> <p>施工箇所 壁紙の種類 防火性能の級別 素地ごしらえ</p> <table border="1"> <tr> <th>紙</th> <th>織物</th> <th>ビニル</th> <th>化学繊維</th> <th>無機質</th> <th>※ 1級</th> <th>・ 級</th> <th>・ A種</th> <th>※ B種</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※ 1級</td> <td>・ 級</td> <td>・ A種</td> <td>※ B種</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※ 1級</td> <td>・ 級</td> <td>・ A種</td> <td>※ B種</td> </tr> </table> </td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 8. 断熱・防露</td> <td> <p>種類 施工箇所 厚さ(mm) 品質等 (19.9.2~3)</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">・ 押出法ポリスチレンフォーム保温材</td> <td>※ 2種b</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一般部</li> <li>・</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 20</li> <li>・ 45.50</li> </ul> </td> <td>特定フロンを使用しないもの</td> </tr> <tr> <td>※ 3種b</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 屋根</li> <li>・ ビット上部</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 20</li> <li>・ 45.50</li> </ul> </td> <td>特定フロンを使用しないもの</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○ 吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材 (現場発泡断熱材)</td> <td>※ 断熱材補修部分</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 一般部</li> <li>○ 熱橋部</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 45</li> <li>◎ 25.40</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>難燃性 (※ 3級)</li> <li>※ A種 1H ・ A種 1</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>製造所</td> <td colspan="3">監督員の承諾する製造所</td> </tr> </table> </td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 9. その他</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>○メラミン樹脂化粧板 厚さ(mm) ※ 1.2 ・ 1.6 ・ 2.5~3.0</li> <li>・ 内装プレハブ工法: 製造所の仕様による</li> </ul> </td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">20 ユニ ット 及 び そ の 他 の 工 事</td> <td> <p>1. フリーアクセスフロア</p> <p>床面から仕上げ材天端までの寸法 ※ 100 ・ 110 (20.2.2)</p> <p>表面仕上げ材 ※ カーベット ・ 帯電防止ビニル床タイル ( ・ 置敷タイプ ・ パネル一体タイプ )</p> <p>床パネルの材質 ※ アルミ合金ダイカスト製 ・ スチール製又は複合材等</p> <p>寸法 ※ 450角以上、600角以下</p> <p>適用地震時水平震度(Ks) (1階及び地階) ※ 0.6以上 (中間階) ※ 0.6以上、1.0以下 (最上階) ※ 1.0以上</p> <p>耐荷重性能 ※ 3,000N(製造所は評価名簿による) ・ 5,000N</p> <p>空調用孔あきパネル 枚数 ( ) 材質 ( )</p> <p>コンセント開口 適用室 ( )</p> <p>コンセント部分以外にフリーアクセスフロア内からフロア面上へ配線取り出し開口を全パネルに有すること。</p> <p>試験方法は、JIS A 1450(フリーアクセスフロア試験方法)による。</p> <p>特記以外の仕様は製造所の仕様とする。</p> </td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> <p>2. 可動間仕切 (既製間仕切)</p> <p>構造形式 表面板及び厚さ パネル仕上げ パネル見込み (20.2.3)</p> <table border="1"> <tr> <td>※ パネル式</td> <td>鋼板厚さ(mm) ※ 0.5以上</td> <td>※ 焼付塗装(常備色程度)</td> <td>※ 60以上</td> </tr> <tr> <td>・ スタッド式</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・ 50</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>鋼板厚さ(mm) ※ 0.5以上</td> <td>※ 焼付塗装(常備色程度)</td> <td>※ 30以上</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>スタッド アルミニウム製 40角</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>品質 JIS A 6512 又は 評価名簿による</p> </td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> <p>3. 移動間仕切 (スライディングウォール)</p> <p>パネル操作方法 ( ) (20.2.4)</p> <p>パネル表面材の材質 ( ※ 鋼板 )</p> <p>パネル表面材仕上げ ( ・ 焼付塗装 ・ 壁紙張り )</p> <p>パネル圧接装置操作方法 ( ) 遮音性能 ( ・ 一般タイプ(36dB未満) ・ 遮音タイプ(36dB以上) )</p> <p>ハンガーレール 取付下地補強方法 ( ※ 20.2.4(3)(ウ) )</p> <p>固定方法 ( ・ あと施工アンカー(材質: ) ・ 寸法: )</p> <p>製造所 評価名簿による</p> </td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> <p>4. トイレブース</p> <p>表面仕上げ材 ※ メラミン樹脂系化粧板同等品以上(標準色 アルミ製コーナーエッジ付き) (20.2.5)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ポリエステル樹脂系化粧板</li> </ul> <p>脚部 ※ 幅木タイプ ・ 足金物型</p> <p>製造所 評価名簿による</p> </td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5. 手すり及びタラップ</td> <td> <p>種類 材料の種別 表面処理(14.2.1~3,表14.2.1~2による)</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">・ 手すり</td> <td>※ ステンレスSUS304</td> <td>※ HL程度</td> <td>・ 鏡面程度</td> <td>・ #400</td> </tr> <tr> <td>・ 鉄(亜鉛めっき)</td> <td>(外部) ※ C種</td> <td>・</td> <td>(内部) ・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ タラップ</td> <td>※ ステンレスSUS304</td> <td>※ 研磨無し</td> <td>・</td> <td>(内部) ・</td> </tr> <tr> <td>・ 鉄(亜鉛めっき)</td> <td>(内外部) ※ C種</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>ステンレスSUS430を使用する箇所 ( )</p> </td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 6. 階段滑り止め</td> <td> <p>材種 ※ SUS ( ) (20.2.7)</p> <p>形状 ※ ビニルタイヤ又は合成ゴムタイヤ入り ・ ゴムタイヤなし</p> <p>※ 両端フラットエンド ・ 無 ※ 有</p> <p>幅(mm) ・ 35 ※ 40</p> <p>取付け工法 ※ 接着工法 ・ 埋込み工法(溶接)</p> </td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>7. 床目地棒</td> <td> <p>床仕上げの異なる箇所には目地棒を入れる。 (20.2.8)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 黄銅製 4×12</li> <li>・ ステンレス製 4×12</li> <li>※ ステンレス製 H型(幅40 内外厚さ2)</li> </ul> </td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>8. 黒板及びホワイトボード</td> <td> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>寸法(mm)</th> <th>色 彩</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>・ 黒板</td> <td>※ 研出し</td> <td>※ 緑 ・ 黒</td> <td>※ 曲面 ・ スクリーン付引分け</td> </tr> <tr> <td>・ 焼付け</td> <td>・</td> <td>※ 緑 ・ 黒</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ ホワイトボード</td> <td>※ ほうろう白板</td> <td>※ 白</td> <td>・ 曲面 ・ スクリーン付引分け</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>※ 白</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>黒板及びホワイトボードについて5年保証書を提出すること。なお、保証書は受注者と施工業者の連帯とする。(製品には、製造年月、製作所記名プレートを取り付ける。)</p> </td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 9. 鏡</td> <td> <p>厚さ ※ 5mm (20.2.10)</p> </td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 10. 表示</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対人衝突防止表示 ※ 図示(市販品 ※ ステンレス製 径約30mm) ・ 無し</li> <li>・ 誘導標識、非常用進入口等の表示は消防法に適合する市販品とし、その他は共通詳細図による。(20.2.11)</li> <li>・ 室名表示 ※ 図示による</li> </ul> </td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>11. ブラインド</td> <td> <table border="1"> <tr> <th>形 式</th> <th>スラットの材種</th> <th>開 閉 方 式</th> <th>スラットの幅 (mm)</th> <th>ヘッドボックス及びホームレール</th> </tr> <tr> <td>・ 横形</td> <td>※ アルミ合金</td> <td>※ キヤ式 ・ コード式 ・ 操作棒式</td> <td>※ 25</td> <td>※ 鋼製</td> </tr> <tr> <td>・ 縦形</td> <td>・ アルミスラット ・ クロススラット</td> <td>※ 2本操作コード式</td> <td>・ 80 ・ 100</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>(20.2.13)</p> </td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>12. カーテン及びカーテンレール</td> <td> <p>レール、ブラケットの強さによる区分 ※ 10-90 ( ) (20.2.16)(表 20.2.1)</p> <p>材料 カーテンレール ※ アルミニウム及びアルミニウム合金の押出成型材(アルマイト仕上げ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ステンレス製</li> </ul> <p>工法 暗幕用カーテン両端、上部及び召合せ重なり ※ 300mm以上</p> </td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>21 排 水 工 事</td> <td> <p>○ 1. 屋外雨水排水</p> <p>材料 ※ 図示による</p> </td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2. 縁石及び側溝</td> <td> <p>材料 ※ 図示による</p> </td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>22 舗 装 工 事</td> <td> <p>1. 路 盤</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 厚さ: ※ 図面による (22.3.2)</li> <li>・ 材料: ※ 再生クラッシュランRC-40 ・ クラッシュランC-40 ・ 図面による (22.3.3)</li> <li>再生クラッシュランは、原則としてかごしま認定リサイクル製品認定制度の認定を受けた製品を使用すること。</li> </ul> <p>2. アスファルト舗装</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 構成及び厚さ: ※ 図面による (22.4.2)</li> <li>・ 再生アスファルトの種類 ・ 60~80 ・ 80~100 ( )</li> <li>・ シールコートの適用: ・ 行方 ※ 行方ない (22.4.3)</li> <li>・ 表層の加熱アスファルトの混合物の種類: ( ) (22.4.4)</li> <li>・ 切り取り検査: ・ 行方 ※ 行方ない (22.4.6)</li> <li>・ アスファルト混合物等の抽出試験: ・ 行方 ※ 行方ない</li> </ul> <p>3. コンクリート舗装</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 構成及び厚さ: ※ 図面による (22.5.2)</li> <li>・ 寒冷期に施工する場合で早強セメントを用いる場合: ※ 用いない ・ 用いる (22.5.3)</li> <li>・ 注入目地材料のタイプ: ※ 低弾性タイプ ( )</li> <li>・ 溶接金網の網目の形状寸法、鉄線の径: ※ 鉄線径 6mm 網目 150mm</li> </ul> <p>4. 透水性アスファルト舗装</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 構成及び厚さ: ※ 図面による (22.7.2)</li> <li>・ 路盤材料: フィルター層は良質なシラスとする</li> </ul> <p>5. ブロック系舗装</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 種類: ・ コンクリート平板舗装 ・ インターロッキングブロック舗装 ・ 舗石舗装 (22.8.1)</li> <li>・ 構成及び厚さ: ※ 図面による (22.8.2)</li> <li>・ ブロックの敷設パターン: ※ 監督員の指示による ( )</li> </ul> <p>6. 砂利敷き</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 構成及び厚さ: ※ 図面による (22.9.2)</li> <li>・ 種別: ・ A種 ・ B種</li> <li>再生クラッシュランは、原則としてかごしま認定リサイクル製品認定制度の認定を受けた製品を使用すること。</li> </ul> </td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">トラス・アーキテクト株式会社</td> <td colspan="2">スケートボード等専用施設管理棟ほか1棟新築本体工事</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">一級建築士 第 344260 号</td> <td colspan="2">建築工事特記仕様書 5-5</td> <td>A-5</td> </tr> <tr> <td colspan="2">木元 達也</td> <td colspan="2">鹿児島市建設局建築部建築課</td> <td></td> </tr> </table>	種類	種 別	張 り 方	厚 さ	備 考	○ せっこうボード	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ GB-R</li> <li>○ GB-S</li> <li>○ GB-F</li> <li>○ GB-L</li> </ul>	下地張り	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 突付け</li> <li>※ 縦目処理</li> <li>※ 目透し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 9.5</li> <li>◎ 12.5</li> <li>・ 15.0</li> <li>・ 9.5 ※ 12.5</li> <li>・ 15.0</li> </ul>	上張り	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 突付け</li> <li>※ 縦目処理</li> <li>※ 目透し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 9.5</li> <li>◎ 12.5</li> <li>・ 15.0</li> <li>・ 9.5 ※ 12.5</li> <li>・ 15.0</li> </ul>	・ 化粧せっこうボード	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ トーパーチン模様 (GB-D)</li> <li>・ 木目模様 (裏積付) (GB-D)</li> </ul>	直張り	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 突付け</li> <li>※ 縦目処理</li> <li>※ 目透し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 9.5</li> <li>・ 15.0</li> <li>・ 12.5</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 無石綿けい酸カルシウム板</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 突付け</li> <li>・ 縦目処理</li> <li>※ 目透し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 6</li> <li>◎ 8</li> <li>◎ 10</li> <li>・ 12</li> </ul>	○ 木毛セメント板	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 難燃木毛セメント板 (2級以上)</li> <li>・ 断熱木毛セメント板</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 30分耐火以上</li> <li>○ 準不燃</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 15</li> <li>・ 20</li> <li>◎ 25</li> <li>・ 30</li> <li>・ 40</li> <li>・ 50</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 不燃・準不燃</li> <li>※ 455×910</li> <li>・ 910×910</li> <li>防火認定は準不燃とし専用軽鉄下地材付き</li> <li>JIS A5430に準拠したノンアスベストのもの</li> <li>監督員の承諾による工場</li> </ul>	合板類					<table border="1"> <tr> <th>材 種</th> <th>規 格</th> <th>厚 さ</th> <th>防虫処理</th> <th>工 法</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 普通合板</td> <td>品名 ( )</td> <td>※ 5.5</td> <td>・ 行方</td> <td>・ A種</td> </tr> <tr> <td>表面の品質 広葉樹 (※ 2等以上) 針葉樹 (※ C-D以上)</td> <td>・ 9</td> <td>・ 行方ない</td> <td>・ B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 天然木化粧合板</td> <td>単板の樹種名 ( )</td> <td>・</td> <td>・ 行方</td> <td>・ A種</td> </tr> <tr> <td>化粧合板の単板の樹種名 ( )</td> <td>・</td> <td>・ 行方ない</td> <td>・ B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○ 特殊加工化粧合板</td> <td>品目 ( )</td> <td>・</td> <td>・ 行方</td> <td>・ A種</td> </tr> <tr> <td>接着の程度 ( ) 単板の樹種名 ( )</td> <td>・</td> <td>・ 行方ない</td> <td>・ B種</td> </tr> <tr> <td colspan="5">化粧加工の方法 ( ・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装 ○ OSBボード)</td> </tr> <tr> <td colspan="5">下地 ・ 軽量鉄骨下地 ・ 木下地 ○ GB-R12.5</td> </tr> </table>					材 種	規 格	厚 さ	防虫処理	工 法	・ 普通合板	品名 ( )	※ 5.5	・ 行方	・ A種	表面の品質 広葉樹 (※ 2等以上) 針葉樹 (※ C-D以上)	・ 9	・ 行方ない	・ B種	・ 天然木化粧合板	単板の樹種名 ( )	・	・ 行方	・ A種	化粧合板の単板の樹種名 ( )	・	・ 行方ない	・ B種	○ 特殊加工化粧合板	品目 ( )	・	・ 行方	・ A種	接着の程度 ( ) 単板の樹種名 ( )	・	・ 行方ない	・ B種	化粧加工の方法 ( ・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装 ○ OSBボード)					下地 ・ 軽量鉄骨下地 ・ 木下地 ○ GB-R12.5					○ 7. 壁紙張り	<p>施工箇所 壁紙の種類 防火性能の級別 素地ごしらえ</p> <table border="1"> <tr> <th>紙</th> <th>織物</th> <th>ビニル</th> <th>化学繊維</th> <th>無機質</th> <th>※ 1級</th> <th>・ 級</th> <th>・ A種</th> <th>※ B種</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※ 1級</td> <td>・ 級</td> <td>・ A種</td> <td>※ B種</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※ 1級</td> <td>・ 級</td> <td>・ A種</td> <td>※ B種</td> </tr> </table>	紙	織物	ビニル	化学繊維	無機質	※ 1級	・ 級	・ A種	※ B種	・	・	○	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	※ 1級	・ 級	・ A種	※ B種	・	・	・	・	・	※ 1級	・ 級	・ A種	※ B種				○ 8. 断熱・防露	<p>種類 施工箇所 厚さ(mm) 品質等 (19.9.2~3)</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">・ 押出法ポリスチレンフォーム保温材</td> <td>※ 2種b</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一般部</li> <li>・</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 20</li> <li>・ 45.50</li> </ul> </td> <td>特定フロンを使用しないもの</td> </tr> <tr> <td>※ 3種b</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 屋根</li> <li>・ ビット上部</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 20</li> <li>・ 45.50</li> </ul> </td> <td>特定フロンを使用しないもの</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○ 吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材 (現場発泡断熱材)</td> <td>※ 断熱材補修部分</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 一般部</li> <li>○ 熱橋部</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 45</li> <li>◎ 25.40</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>難燃性 (※ 3級)</li> <li>※ A種 1H ・ A種 1</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>製造所</td> <td colspan="3">監督員の承諾する製造所</td> </tr> </table>	・ 押出法ポリスチレンフォーム保温材	※ 2種b	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一般部</li> <li>・</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 20</li> <li>・ 45.50</li> </ul>	特定フロンを使用しないもの	※ 3種b	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 屋根</li> <li>・ ビット上部</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 20</li> <li>・ 45.50</li> </ul>	特定フロンを使用しないもの	○ 吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材 (現場発泡断熱材)	※ 断熱材補修部分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 一般部</li> <li>○ 熱橋部</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 45</li> <li>◎ 25.40</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>難燃性 (※ 3級)</li> <li>※ A種 1H ・ A種 1</li> </ul>	製造所	監督員の承諾する製造所						○ 9. その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○メラミン樹脂化粧板 厚さ(mm) ※ 1.2 ・ 1.6 ・ 2.5~3.0</li> <li>・ 内装プレハブ工法: 製造所の仕様による</li> </ul>				20 ユニ ット 及 び そ の 他 の 工 事	<p>1. フリーアクセスフロア</p> <p>床面から仕上げ材天端までの寸法 ※ 100 ・ 110 (20.2.2)</p> <p>表面仕上げ材 ※ カーベット ・ 帯電防止ビニル床タイル ( ・ 置敷タイプ ・ パネル一体タイプ )</p> <p>床パネルの材質 ※ アルミ合金ダイカスト製 ・ スチール製又は複合材等</p> <p>寸法 ※ 450角以上、600角以下</p> <p>適用地震時水平震度(Ks) (1階及び地階) ※ 0.6以上 (中間階) ※ 0.6以上、1.0以下 (最上階) ※ 1.0以上</p> <p>耐荷重性能 ※ 3,000N(製造所は評価名簿による) ・ 5,000N</p> <p>空調用孔あきパネル 枚数 ( ) 材質 ( )</p> <p>コンセント開口 適用室 ( )</p> <p>コンセント部分以外にフリーアクセスフロア内からフロア面上へ配線取り出し開口を全パネルに有すること。</p> <p>試験方法は、JIS A 1450(フリーアクセスフロア試験方法)による。</p> <p>特記以外の仕様は製造所の仕様とする。</p>				<p>2. 可動間仕切 (既製間仕切)</p> <p>構造形式 表面板及び厚さ パネル仕上げ パネル見込み (20.2.3)</p> <table border="1"> <tr> <td>※ パネル式</td> <td>鋼板厚さ(mm) ※ 0.5以上</td> <td>※ 焼付塗装(常備色程度)</td> <td>※ 60以上</td> </tr> <tr> <td>・ スタッド式</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・ 50</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>鋼板厚さ(mm) ※ 0.5以上</td> <td>※ 焼付塗装(常備色程度)</td> <td>※ 30以上</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>スタッド アルミニウム製 40角</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>品質 JIS A 6512 又は 評価名簿による</p>	※ パネル式	鋼板厚さ(mm) ※ 0.5以上	※ 焼付塗装(常備色程度)	※ 60以上	・ スタッド式	・	・	・ 50	・	鋼板厚さ(mm) ※ 0.5以上	※ 焼付塗装(常備色程度)	※ 30以上	・	スタッド アルミニウム製 40角	・	・				<p>3. 移動間仕切 (スライディングウォール)</p> <p>パネル操作方法 ( ) (20.2.4)</p> <p>パネル表面材の材質 ( ※ 鋼板 )</p> <p>パネル表面材仕上げ ( ・ 焼付塗装 ・ 壁紙張り )</p> <p>パネル圧接装置操作方法 ( ) 遮音性能 ( ・ 一般タイプ(36dB未満) ・ 遮音タイプ(36dB以上) )</p> <p>ハンガーレール 取付下地補強方法 ( ※ 20.2.4(3)(ウ) )</p> <p>固定方法 ( ・ あと施工アンカー(材質: ) ・ 寸法: )</p> <p>製造所 評価名簿による</p>				<p>4. トイレブース</p> <p>表面仕上げ材 ※ メラミン樹脂系化粧板同等品以上(標準色 アルミ製コーナーエッジ付き) (20.2.5)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ポリエステル樹脂系化粧板</li> </ul> <p>脚部 ※ 幅木タイプ ・ 足金物型</p> <p>製造所 評価名簿による</p>				5. 手すり及びタラップ	<p>種類 材料の種別 表面処理(14.2.1~3,表14.2.1~2による)</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">・ 手すり</td> <td>※ ステンレスSUS304</td> <td>※ HL程度</td> <td>・ 鏡面程度</td> <td>・ #400</td> </tr> <tr> <td>・ 鉄(亜鉛めっき)</td> <td>(外部) ※ C種</td> <td>・</td> <td>(内部) ・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ タラップ</td> <td>※ ステンレスSUS304</td> <td>※ 研磨無し</td> <td>・</td> <td>(内部) ・</td> </tr> <tr> <td>・ 鉄(亜鉛めっき)</td> <td>(内外部) ※ C種</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>ステンレスSUS430を使用する箇所 ( )</p>	・ 手すり	※ ステンレスSUS304	※ HL程度	・ 鏡面程度	・ #400	・ 鉄(亜鉛めっき)	(外部) ※ C種	・	(内部) ・	・ タラップ	※ ステンレスSUS304	※ 研磨無し	・	(内部) ・	・ 鉄(亜鉛めっき)	(内外部) ※ C種	・	・				○ 6. 階段滑り止め	<p>材種 ※ SUS ( ) (20.2.7)</p> <p>形状 ※ ビニルタイヤ又は合成ゴムタイヤ入り ・ ゴムタイヤなし</p> <p>※ 両端フラットエンド ・ 無 ※ 有</p> <p>幅(mm) ・ 35 ※ 40</p> <p>取付け工法 ※ 接着工法 ・ 埋込み工法(溶接)</p>				7. 床目地棒	<p>床仕上げの異なる箇所には目地棒を入れる。 (20.2.8)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 黄銅製 4×12</li> <li>・ ステンレス製 4×12</li> <li>※ ステンレス製 H型(幅40 内外厚さ2)</li> </ul>				8. 黒板及びホワイトボード	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>寸法(mm)</th> <th>色 彩</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>・ 黒板</td> <td>※ 研出し</td> <td>※ 緑 ・ 黒</td> <td>※ 曲面 ・ スクリーン付引分け</td> </tr> <tr> <td>・ 焼付け</td> <td>・</td> <td>※ 緑 ・ 黒</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ ホワイトボード</td> <td>※ ほうろう白板</td> <td>※ 白</td> <td>・ 曲面 ・ スクリーン付引分け</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>※ 白</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>黒板及びホワイトボードについて5年保証書を提出すること。なお、保証書は受注者と施工業者の連帯とする。(製品には、製造年月、製作所記名プレートを取り付ける。)</p>	種類	寸法(mm)	色 彩	備 考	・ 黒板	※ 研出し	※ 緑 ・ 黒	※ 曲面 ・ スクリーン付引分け	・ 焼付け	・	※ 緑 ・ 黒	・	・ ホワイトボード	※ ほうろう白板	※ 白	・ 曲面 ・ スクリーン付引分け	・	・	※ 白	・				○ 9. 鏡	<p>厚さ ※ 5mm (20.2.10)</p>				○ 10. 表示	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対人衝突防止表示 ※ 図示(市販品 ※ ステンレス製 径約30mm) ・ 無し</li> <li>・ 誘導標識、非常用進入口等の表示は消防法に適合する市販品とし、その他は共通詳細図による。(20.2.11)</li> <li>・ 室名表示 ※ 図示による</li> </ul>				11. ブラインド	<table border="1"> <tr> <th>形 式</th> <th>スラットの材種</th> <th>開 閉 方 式</th> <th>スラットの幅 (mm)</th> <th>ヘッドボックス及びホームレール</th> </tr> <tr> <td>・ 横形</td> <td>※ アルミ合金</td> <td>※ キヤ式 ・ コード式 ・ 操作棒式</td> <td>※ 25</td> <td>※ 鋼製</td> </tr> <tr> <td>・ 縦形</td> <td>・ アルミスラット ・ クロススラット</td> <td>※ 2本操作コード式</td> <td>・ 80 ・ 100</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>(20.2.13)</p>	形 式	スラットの材種	開 閉 方 式	スラットの幅 (mm)	ヘッドボックス及びホームレール	・ 横形	※ アルミ合金	※ キヤ式 ・ コード式 ・ 操作棒式	※ 25	※ 鋼製	・ 縦形	・ アルミスラット ・ クロススラット	※ 2本操作コード式	・ 80 ・ 100	・				12. カーテン及びカーテンレール	<p>レール、ブラケットの強さによる区分 ※ 10-90 ( ) (20.2.16)(表 20.2.1)</p> <p>材料 カーテンレール ※ アルミニウム及びアルミニウム合金の押出成型材(アルマイト仕上げ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ステンレス製</li> </ul> <p>工法 暗幕用カーテン両端、上部及び召合せ重なり ※ 300mm以上</p>				21 排 水 工 事	<p>○ 1. 屋外雨水排水</p> <p>材料 ※ 図示による</p>				2. 縁石及び側溝	<p>材料 ※ 図示による</p>				22 舗 装 工 事	<p>1. 路 盤</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 厚さ: ※ 図面による (22.3.2)</li> <li>・ 材料: ※ 再生クラッシュランRC-40 ・ クラッシュランC-40 ・ 図面による (22.3.3)</li> <li>再生クラッシュランは、原則としてかごしま認定リサイクル製品認定制度の認定を受けた製品を使用すること。</li> </ul> <p>2. アスファルト舗装</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 構成及び厚さ: ※ 図面による (22.4.2)</li> <li>・ 再生アスファルトの種類 ・ 60~80 ・ 80~100 ( )</li> <li>・ シールコートの適用: ・ 行方 ※ 行方ない (22.4.3)</li> <li>・ 表層の加熱アスファルトの混合物の種類: ( ) (22.4.4)</li> <li>・ 切り取り検査: ・ 行方 ※ 行方ない (22.4.6)</li> <li>・ アスファルト混合物等の抽出試験: ・ 行方 ※ 行方ない</li> </ul> <p>3. コンクリート舗装</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 構成及び厚さ: ※ 図面による (22.5.2)</li> <li>・ 寒冷期に施工する場合で早強セメントを用いる場合: ※ 用いない ・ 用いる (22.5.3)</li> <li>・ 注入目地材料のタイプ: ※ 低弾性タイプ ( )</li> <li>・ 溶接金網の網目の形状寸法、鉄線の径: ※ 鉄線径 6mm 網目 150mm</li> </ul> <p>4. 透水性アスファルト舗装</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 構成及び厚さ: ※ 図面による (22.7.2)</li> <li>・ 路盤材料: フィルター層は良質なシラスとする</li> </ul> <p>5. ブロック系舗装</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 種類: ・ コンクリート平板舗装 ・ インターロッキングブロック舗装 ・ 舗石舗装 (22.8.1)</li> <li>・ 構成及び厚さ: ※ 図面による (22.8.2)</li> <li>・ ブロックの敷設パターン: ※ 監督員の指示による ( )</li> </ul> <p>6. 砂利敷き</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 構成及び厚さ: ※ 図面による (22.9.2)</li> <li>・ 種別: ・ A種 ・ B種</li> <li>再生クラッシュランは、原則としてかごしま認定リサイクル製品認定制度の認定を受けた製品を使用すること。</li> </ul>				トラス・アーキテクト株式会社		スケートボード等専用施設管理棟ほか1棟新築本体工事			一級建築士 第 344260 号		建築工事特記仕様書 5-5		A-5	木元 達也		鹿児島市建設局建築部建築課		
	種類	種 別	張 り 方	厚 さ	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	○ せっこうボード	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ GB-R</li> <li>○ GB-S</li> <li>○ GB-F</li> <li>○ GB-L</li> </ul>	下地張り	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 突付け</li> <li>※ 縦目処理</li> <li>※ 目透し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 9.5</li> <li>◎ 12.5</li> <li>・ 15.0</li> <li>・ 9.5 ※ 12.5</li> <li>・ 15.0</li> </ul>																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
			上張り	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 突付け</li> <li>※ 縦目処理</li> <li>※ 目透し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 9.5</li> <li>◎ 12.5</li> <li>・ 15.0</li> <li>・ 9.5 ※ 12.5</li> <li>・ 15.0</li> </ul>																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	・ 化粧せっこうボード	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ トーパーチン模様 (GB-D)</li> <li>・ 木目模様 (裏積付) (GB-D)</li> </ul>	直張り	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 突付け</li> <li>※ 縦目処理</li> <li>※ 目透し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 9.5</li> <li>・ 15.0</li> <li>・ 12.5</li> </ul>																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 無石綿けい酸カルシウム板</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 突付け</li> <li>・ 縦目処理</li> <li>※ 目透し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 6</li> <li>◎ 8</li> <li>◎ 10</li> <li>・ 12</li> </ul>																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	○ 木毛セメント板	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 難燃木毛セメント板 (2級以上)</li> <li>・ 断熱木毛セメント板</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 30分耐火以上</li> <li>○ 準不燃</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 15</li> <li>・ 20</li> <li>◎ 25</li> <li>・ 30</li> <li>・ 40</li> <li>・ 50</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 不燃・準不燃</li> <li>※ 455×910</li> <li>・ 910×910</li> <li>防火認定は準不燃とし専用軽鉄下地材付き</li> <li>JIS A5430に準拠したノンアスベストのもの</li> <li>監督員の承諾による工場</li> </ul>																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	合板類																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	<table border="1"> <tr> <th>材 種</th> <th>規 格</th> <th>厚 さ</th> <th>防虫処理</th> <th>工 法</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 普通合板</td> <td>品名 ( )</td> <td>※ 5.5</td> <td>・ 行方</td> <td>・ A種</td> </tr> <tr> <td>表面の品質 広葉樹 (※ 2等以上) 針葉樹 (※ C-D以上)</td> <td>・ 9</td> <td>・ 行方ない</td> <td>・ B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 天然木化粧合板</td> <td>単板の樹種名 ( )</td> <td>・</td> <td>・ 行方</td> <td>・ A種</td> </tr> <tr> <td>化粧合板の単板の樹種名 ( )</td> <td>・</td> <td>・ 行方ない</td> <td>・ B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○ 特殊加工化粧合板</td> <td>品目 ( )</td> <td>・</td> <td>・ 行方</td> <td>・ A種</td> </tr> <tr> <td>接着の程度 ( ) 単板の樹種名 ( )</td> <td>・</td> <td>・ 行方ない</td> <td>・ B種</td> </tr> <tr> <td colspan="5">化粧加工の方法 ( ・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装 ○ OSBボード)</td> </tr> <tr> <td colspan="5">下地 ・ 軽量鉄骨下地 ・ 木下地 ○ GB-R12.5</td> </tr> </table>					材 種	規 格	厚 さ	防虫処理	工 法	・ 普通合板	品名 ( )	※ 5.5	・ 行方	・ A種	表面の品質 広葉樹 (※ 2等以上) 針葉樹 (※ C-D以上)	・ 9	・ 行方ない	・ B種	・ 天然木化粧合板	単板の樹種名 ( )	・	・ 行方	・ A種	化粧合板の単板の樹種名 ( )	・	・ 行方ない	・ B種	○ 特殊加工化粧合板	品目 ( )	・	・ 行方	・ A種	接着の程度 ( ) 単板の樹種名 ( )	・	・ 行方ない	・ B種	化粧加工の方法 ( ・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装 ○ OSBボード)					下地 ・ 軽量鉄骨下地 ・ 木下地 ○ GB-R12.5																																																																																																																																																																																																																																																																					
	材 種	規 格	厚 さ	防虫処理	工 法																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・ 普通合板	品名 ( )	※ 5.5	・ 行方	・ A種																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	表面の品質 広葉樹 (※ 2等以上) 針葉樹 (※ C-D以上)	・ 9	・ 行方ない	・ B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・ 天然木化粧合板	単板の樹種名 ( )	・	・ 行方	・ A種																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	化粧合板の単板の樹種名 ( )	・	・ 行方ない	・ B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
○ 特殊加工化粧合板	品目 ( )	・	・ 行方	・ A種																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	接着の程度 ( ) 単板の樹種名 ( )	・	・ 行方ない	・ B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
化粧加工の方法 ( ・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装 ○ OSBボード)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
下地 ・ 軽量鉄骨下地 ・ 木下地 ○ GB-R12.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
○ 7. 壁紙張り	<p>施工箇所 壁紙の種類 防火性能の級別 素地ごしらえ</p> <table border="1"> <tr> <th>紙</th> <th>織物</th> <th>ビニル</th> <th>化学繊維</th> <th>無機質</th> <th>※ 1級</th> <th>・ 級</th> <th>・ A種</th> <th>※ B種</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※ 1級</td> <td>・ 級</td> <td>・ A種</td> <td>※ B種</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※ 1級</td> <td>・ 級</td> <td>・ A種</td> <td>※ B種</td> </tr> </table>	紙	織物	ビニル	化学繊維	無機質	※ 1級	・ 級	・ A種	※ B種	・	・	○	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	※ 1級	・ 級	・ A種	※ B種	・	・	・	・	・	※ 1級	・ 級	・ A種	※ B種																																																																																																																																																																																																																																																																											
紙	織物	ビニル	化学繊維	無機質	※ 1級	・ 級	・ A種	※ B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・	・	○	・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・	・	・	・	・	※ 1級	・ 級	・ A種	※ B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・	・	・	・	・	※ 1級	・ 級	・ A種	※ B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
○ 8. 断熱・防露	<p>種類 施工箇所 厚さ(mm) 品質等 (19.9.2~3)</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">・ 押出法ポリスチレンフォーム保温材</td> <td>※ 2種b</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一般部</li> <li>・</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 20</li> <li>・ 45.50</li> </ul> </td> <td>特定フロンを使用しないもの</td> </tr> <tr> <td>※ 3種b</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 屋根</li> <li>・ ビット上部</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 20</li> <li>・ 45.50</li> </ul> </td> <td>特定フロンを使用しないもの</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○ 吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材 (現場発泡断熱材)</td> <td>※ 断熱材補修部分</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 一般部</li> <li>○ 熱橋部</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 45</li> <li>◎ 25.40</li> </ul> </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>難燃性 (※ 3級)</li> <li>※ A種 1H ・ A種 1</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>製造所</td> <td colspan="3">監督員の承諾する製造所</td> </tr> </table>	・ 押出法ポリスチレンフォーム保温材	※ 2種b	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一般部</li> <li>・</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 20</li> <li>・ 45.50</li> </ul>	特定フロンを使用しないもの	※ 3種b	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 屋根</li> <li>・ ビット上部</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 20</li> <li>・ 45.50</li> </ul>	特定フロンを使用しないもの	○ 吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材 (現場発泡断熱材)	※ 断熱材補修部分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 一般部</li> <li>○ 熱橋部</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 45</li> <li>◎ 25.40</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>難燃性 (※ 3級)</li> <li>※ A種 1H ・ A種 1</li> </ul>	製造所	監督員の承諾する製造所																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・ 押出法ポリスチレンフォーム保温材	※ 2種b		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一般部</li> <li>・</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 20</li> <li>・ 45.50</li> </ul>	特定フロンを使用しないもの																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	※ 3種b	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 屋根</li> <li>・ ビット上部</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 20</li> <li>・ 45.50</li> </ul>	特定フロンを使用しないもの																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
○ 吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材 (現場発泡断熱材)	※ 断熱材補修部分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 一般部</li> <li>○ 熱橋部</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 45</li> <li>◎ 25.40</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>難燃性 (※ 3級)</li> <li>※ A種 1H ・ A種 1</li> </ul>																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	製造所	監督員の承諾する製造所																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
○ 9. その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○メラミン樹脂化粧板 厚さ(mm) ※ 1.2 ・ 1.6 ・ 2.5~3.0</li> <li>・ 内装プレハブ工法: 製造所の仕様による</li> </ul>																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
20 ユニ ット 及 び そ の 他 の 工 事	<p>1. フリーアクセスフロア</p> <p>床面から仕上げ材天端までの寸法 ※ 100 ・ 110 (20.2.2)</p> <p>表面仕上げ材 ※ カーベット ・ 帯電防止ビニル床タイル ( ・ 置敷タイプ ・ パネル一体タイプ )</p> <p>床パネルの材質 ※ アルミ合金ダイカスト製 ・ スチール製又は複合材等</p> <p>寸法 ※ 450角以上、600角以下</p> <p>適用地震時水平震度(Ks) (1階及び地階) ※ 0.6以上 (中間階) ※ 0.6以上、1.0以下 (最上階) ※ 1.0以上</p> <p>耐荷重性能 ※ 3,000N(製造所は評価名簿による) ・ 5,000N</p> <p>空調用孔あきパネル 枚数 ( ) 材質 ( )</p> <p>コンセント開口 適用室 ( )</p> <p>コンセント部分以外にフリーアクセスフロア内からフロア面上へ配線取り出し開口を全パネルに有すること。</p> <p>試験方法は、JIS A 1450(フリーアクセスフロア試験方法)による。</p> <p>特記以外の仕様は製造所の仕様とする。</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	<p>2. 可動間仕切 (既製間仕切)</p> <p>構造形式 表面板及び厚さ パネル仕上げ パネル見込み (20.2.3)</p> <table border="1"> <tr> <td>※ パネル式</td> <td>鋼板厚さ(mm) ※ 0.5以上</td> <td>※ 焼付塗装(常備色程度)</td> <td>※ 60以上</td> </tr> <tr> <td>・ スタッド式</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・ 50</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>鋼板厚さ(mm) ※ 0.5以上</td> <td>※ 焼付塗装(常備色程度)</td> <td>※ 30以上</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>スタッド アルミニウム製 40角</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>品質 JIS A 6512 又は 評価名簿による</p>	※ パネル式	鋼板厚さ(mm) ※ 0.5以上	※ 焼付塗装(常備色程度)	※ 60以上	・ スタッド式	・	・	・ 50	・	鋼板厚さ(mm) ※ 0.5以上	※ 焼付塗装(常備色程度)	※ 30以上	・	スタッド アルミニウム製 40角	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	※ パネル式	鋼板厚さ(mm) ※ 0.5以上	※ 焼付塗装(常備色程度)	※ 60以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	・ スタッド式	・	・	・ 50																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・	鋼板厚さ(mm) ※ 0.5以上	※ 焼付塗装(常備色程度)	※ 30以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・	スタッド アルミニウム製 40角	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
<p>3. 移動間仕切 (スライディングウォール)</p> <p>パネル操作方法 ( ) (20.2.4)</p> <p>パネル表面材の材質 ( ※ 鋼板 )</p> <p>パネル表面材仕上げ ( ・ 焼付塗装 ・ 壁紙張り )</p> <p>パネル圧接装置操作方法 ( ) 遮音性能 ( ・ 一般タイプ(36dB未満) ・ 遮音タイプ(36dB以上) )</p> <p>ハンガーレール 取付下地補強方法 ( ※ 20.2.4(3)(ウ) )</p> <p>固定方法 ( ・ あと施工アンカー(材質: ) ・ 寸法: )</p> <p>製造所 評価名簿による</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
<p>4. トイレブース</p> <p>表面仕上げ材 ※ メラミン樹脂系化粧板同等品以上(標準色 アルミ製コーナーエッジ付き) (20.2.5)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ポリエステル樹脂系化粧板</li> </ul> <p>脚部 ※ 幅木タイプ ・ 足金物型</p> <p>製造所 評価名簿による</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
5. 手すり及びタラップ	<p>種類 材料の種別 表面処理(14.2.1~3,表14.2.1~2による)</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">・ 手すり</td> <td>※ ステンレスSUS304</td> <td>※ HL程度</td> <td>・ 鏡面程度</td> <td>・ #400</td> </tr> <tr> <td>・ 鉄(亜鉛めっき)</td> <td>(外部) ※ C種</td> <td>・</td> <td>(内部) ・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ タラップ</td> <td>※ ステンレスSUS304</td> <td>※ 研磨無し</td> <td>・</td> <td>(内部) ・</td> </tr> <tr> <td>・ 鉄(亜鉛めっき)</td> <td>(内外部) ※ C種</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>ステンレスSUS430を使用する箇所 ( )</p>	・ 手すり	※ ステンレスSUS304	※ HL程度	・ 鏡面程度	・ #400	・ 鉄(亜鉛めっき)	(外部) ※ C種	・	(内部) ・	・ タラップ	※ ステンレスSUS304	※ 研磨無し	・	(内部) ・	・ 鉄(亜鉛めっき)	(内外部) ※ C種	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・ 手すり	※ ステンレスSUS304		※ HL程度	・ 鏡面程度	・ #400																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	・ 鉄(亜鉛めっき)	(外部) ※ C種	・	(内部) ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・ タラップ	※ ステンレスSUS304	※ 研磨無し	・	(内部) ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	・ 鉄(亜鉛めっき)	(内外部) ※ C種	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
○ 6. 階段滑り止め	<p>材種 ※ SUS ( ) (20.2.7)</p> <p>形状 ※ ビニルタイヤ又は合成ゴムタイヤ入り ・ ゴムタイヤなし</p> <p>※ 両端フラットエンド ・ 無 ※ 有</p> <p>幅(mm) ・ 35 ※ 40</p> <p>取付け工法 ※ 接着工法 ・ 埋込み工法(溶接)</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
7. 床目地棒	<p>床仕上げの異なる箇所には目地棒を入れる。 (20.2.8)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 黄銅製 4×12</li> <li>・ ステンレス製 4×12</li> <li>※ ステンレス製 H型(幅40 内外厚さ2)</li> </ul>																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
8. 黒板及びホワイトボード	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>寸法(mm)</th> <th>色 彩</th> <th>備 考</th> </tr> <tr> <td>・ 黒板</td> <td>※ 研出し</td> <td>※ 緑 ・ 黒</td> <td>※ 曲面 ・ スクリーン付引分け</td> </tr> <tr> <td>・ 焼付け</td> <td>・</td> <td>※ 緑 ・ 黒</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ ホワイトボード</td> <td>※ ほうろう白板</td> <td>※ 白</td> <td>・ 曲面 ・ スクリーン付引分け</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>※ 白</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>黒板及びホワイトボードについて5年保証書を提出すること。なお、保証書は受注者と施工業者の連帯とする。(製品には、製造年月、製作所記名プレートを取り付ける。)</p>	種類	寸法(mm)	色 彩	備 考	・ 黒板	※ 研出し	※ 緑 ・ 黒	※ 曲面 ・ スクリーン付引分け	・ 焼付け	・	※ 緑 ・ 黒	・	・ ホワイトボード	※ ほうろう白板	※ 白	・ 曲面 ・ スクリーン付引分け	・	・	※ 白	・																																																																																																																																																																																																																																																																																											
種類	寸法(mm)	色 彩	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・ 黒板	※ 研出し	※ 緑 ・ 黒	※ 曲面 ・ スクリーン付引分け																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・ 焼付け	・	※ 緑 ・ 黒	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・ ホワイトボード	※ ほうろう白板	※ 白	・ 曲面 ・ スクリーン付引分け																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・	・	※ 白	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
○ 9. 鏡	<p>厚さ ※ 5mm (20.2.10)</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
○ 10. 表示	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対人衝突防止表示 ※ 図示(市販品 ※ ステンレス製 径約30mm) ・ 無し</li> <li>・ 誘導標識、非常用進入口等の表示は消防法に適合する市販品とし、その他は共通詳細図による。(20.2.11)</li> <li>・ 室名表示 ※ 図示による</li> </ul>																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
11. ブラインド	<table border="1"> <tr> <th>形 式</th> <th>スラットの材種</th> <th>開 閉 方 式</th> <th>スラットの幅 (mm)</th> <th>ヘッドボックス及びホームレール</th> </tr> <tr> <td>・ 横形</td> <td>※ アルミ合金</td> <td>※ キヤ式 ・ コード式 ・ 操作棒式</td> <td>※ 25</td> <td>※ 鋼製</td> </tr> <tr> <td>・ 縦形</td> <td>・ アルミスラット ・ クロススラット</td> <td>※ 2本操作コード式</td> <td>・ 80 ・ 100</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>(20.2.13)</p>	形 式	スラットの材種	開 閉 方 式	スラットの幅 (mm)	ヘッドボックス及びホームレール	・ 横形	※ アルミ合金	※ キヤ式 ・ コード式 ・ 操作棒式	※ 25	※ 鋼製	・ 縦形	・ アルミスラット ・ クロススラット	※ 2本操作コード式	・ 80 ・ 100	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																
形 式	スラットの材種	開 閉 方 式	スラットの幅 (mm)	ヘッドボックス及びホームレール																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・ 横形	※ アルミ合金	※ キヤ式 ・ コード式 ・ 操作棒式	※ 25	※ 鋼製																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・ 縦形	・ アルミスラット ・ クロススラット	※ 2本操作コード式	・ 80 ・ 100	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
12. カーテン及びカーテンレール	<p>レール、ブラケットの強さによる区分 ※ 10-90 ( ) (20.2.16)(表 20.2.1)</p> <p>材料 カーテンレール ※ アルミニウム及びアルミニウム合金の押出成型材(アルマイト仕上げ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ステンレス製</li> </ul> <p>工法 暗幕用カーテン両端、上部及び召合せ重なり ※ 300mm以上</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
21 排 水 工 事	<p>○ 1. 屋外雨水排水</p> <p>材料 ※ 図示による</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
2. 縁石及び側溝	<p>材料 ※ 図示による</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
22 舗 装 工 事	<p>1. 路 盤</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 厚さ: ※ 図面による (22.3.2)</li> <li>・ 材料: ※ 再生クラッシュランRC-40 ・ クラッシュランC-40 ・ 図面による (22.3.3)</li> <li>再生クラッシュランは、原則としてかごしま認定リサイクル製品認定制度の認定を受けた製品を使用すること。</li> </ul> <p>2. アスファルト舗装</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 構成及び厚さ: ※ 図面による (22.4.2)</li> <li>・ 再生アスファルトの種類 ・ 60~80 ・ 80~100 ( )</li> <li>・ シールコートの適用: ・ 行方 ※ 行方ない (22.4.3)</li> <li>・ 表層の加熱アスファルトの混合物の種類: ( ) (22.4.4)</li> <li>・ 切り取り検査: ・ 行方 ※ 行方ない (22.4.6)</li> <li>・ アスファルト混合物等の抽出試験: ・ 行方 ※ 行方ない</li> </ul> <p>3. コンクリート舗装</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 構成及び厚さ: ※ 図面による (22.5.2)</li> <li>・ 寒冷期に施工する場合で早強セメントを用いる場合: ※ 用いない ・ 用いる (22.5.3)</li> <li>・ 注入目地材料のタイプ: ※ 低弾性タイプ ( )</li> <li>・ 溶接金網の網目の形状寸法、鉄線の径: ※ 鉄線径 6mm 網目 150mm</li> </ul> <p>4. 透水性アスファルト舗装</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 構成及び厚さ: ※ 図面による (22.7.2)</li> <li>・ 路盤材料: フィルター層は良質なシラスとする</li> </ul> <p>5. ブロック系舗装</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 種類: ・ コンクリート平板舗装 ・ インターロッキングブロック舗装 ・ 舗石舗装 (22.8.1)</li> <li>・ 構成及び厚さ: ※ 図面による (22.8.2)</li> <li>・ ブロックの敷設パターン: ※ 監督員の指示による ( )</li> </ul> <p>6. 砂利敷き</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 構成及び厚さ: ※ 図面による (22.9.2)</li> <li>・ 種別: ・ A種 ・ B種</li> <li>再生クラッシュランは、原則としてかごしま認定リサイクル製品認定制度の認定を受けた製品を使用すること。</li> </ul>																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
トラス・アーキテクト株式会社		スケートボード等専用施設管理棟ほか1棟新築本体工事																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
一級建築士 第 344260 号		建築工事特記仕様書 5-5		A-5																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
木元 達也		鹿児島市建設局建築部建築課																																																																																																																																																																																																																																																																																																														

1. 一般事項		2. 建築事項	
工事名称	スケートボード等専用施設管理棟ほか1棟新築本体工事	主要用途	【A棟】スポーツ施設(管理事務所) 【B棟】スポーツ施設(ダンス競技場)
敷地位置	鹿児島市与次郎二丁目2295番165	工事種別	新築
都市計画区域	都市計画区域内 市街化区域	構造種別	【A棟】鉄骨造 【B棟】鉄骨造
用途地域	商業地域 防火地域 準防火地域	階数	【A棟】地上1階 【B棟】地上1階
道路幅員	西面前面道路 幅員(27.0)m 接道距離( )m <input checked="" type="checkbox"/> 国道 <input type="checkbox"/> 県道 <input type="checkbox"/> 市道 <input type="checkbox"/> 私道	高さ	最高高さ(【A棟】4.62m 【B棟】4.78m) 最高軒高(【A棟】3.324m 【B棟】4.40m)
	北面前面道路 幅員(27.8)m 接道距離( )m <input type="checkbox"/> 国道 <input type="checkbox"/> 県道 <input checked="" type="checkbox"/> 市道 <input type="checkbox"/> 私道		確認申請 <input type="checkbox"/> 法6条1項一号建築物 <input type="checkbox"/> 法6条1項二号建築物 <input checked="" type="checkbox"/> 法6条1項三号建築物 <input type="checkbox"/> 不要
	北面前面道路 幅員(12.0)m 接道距離(86.00)m <input type="checkbox"/> 国道 <input type="checkbox"/> 県道 <input checked="" type="checkbox"/> 市道 <input type="checkbox"/> 私道		耐火要件 <input type="checkbox"/> 耐火建築物 <input type="checkbox"/> 延焼防止建築物 <input type="checkbox"/> 準耐火建築物 <input type="checkbox"/> 準延焼防止建築物 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 適用外
敷地面積	(2834.92)㎡	床面積	階 各階床面積 合計
斜線制限	<input checked="" type="checkbox"/> 道路斜線制限 <input checked="" type="checkbox"/> 隣地斜線制限 <input type="checkbox"/> 北側斜線制限	【A棟】管理棟 1 (103.18)㎡	171.73㎡
日影規制	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 地盤調査 <input checked="" type="checkbox"/> ボーリング試験	【B棟】ダンス競技棟 1 (68.55)㎡	
ブロック塀	<input type="checkbox"/> 県対策要綱対象有( )m <input checked="" type="checkbox"/> 無	延床面積	(171.73)㎡ 容積率 (6.06)%
境界杭	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 崖・擁壁 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	建築面積	(164.56)㎡ 建蔽率 (5.81)%
開発行為	開発許可不要(都市公園法2条2項の公園施設に該当)	防火認定	PB12.5mm: NM-8619、PB9.5mm: QM-9828
盛土規制法	公共施設は適用除外のため許可不要	備考	

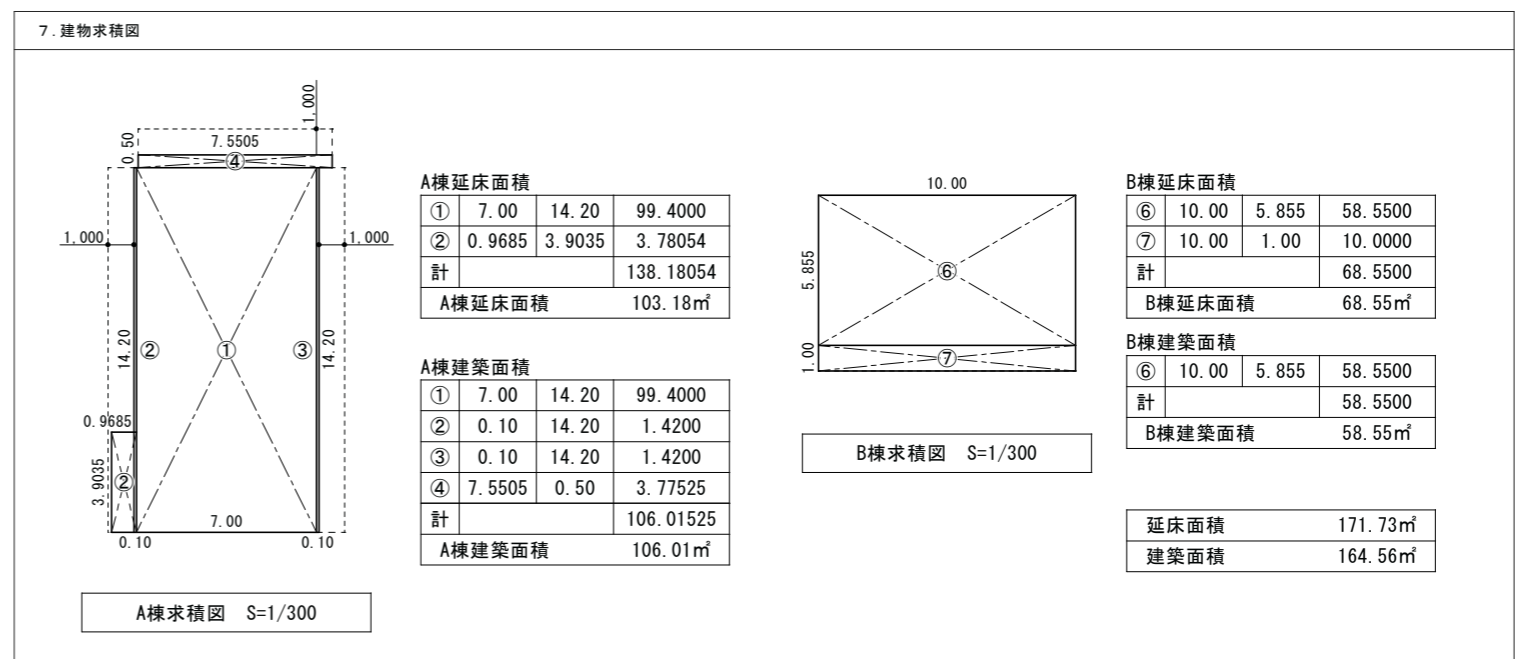
建築基準法関係規定

- 電気設備は建築基準法32条を遵守する
- 給排水その他配管設備は、建築基準法第36条、令129条の2の4、令129条の2の5に基づき施工する。
- 建築材料の品質は建築基準法第37条を遵守する。
- 内装仕上げに用いる建築材料については、(第28条の2)全てF☆☆☆☆を使用する。石綿使用なし。
- 水道法第16条を遵守する。
- 下水道法第10条第1項を遵守する。

- 都市計画課 協議済み  
→(宅地造成等工事規制区域、居住誘導地区区域、立地適正化区域)  
→(都市計画法53条許可不要)
- 都市景観課 協議済み ●障害福祉課 協議済み  
→(景観計画区域) →(福祉のまちづくり条例)
- 環境保全課 公害防止事前協議済み
- 土地利用調整課 協議済み
- 公園緑化課 協議済み →(鴨池公園内建築について)



3. 外部仕上表			
【A棟】管理棟		【B棟】ダンス競技場	
屋上	仕上	水性無機系遮熱塗装仕上(防滑)	屋根
	下地	鋼製デッキプレート+防水コンクリート	
外壁	仕上	フッ素樹脂塗装鋼板(完全嵌合式立平葺き・押出法) リーフノットt10裏打 塗装溶融55%アルミニウム・亜鉛合金メッキ鋼板 厚0.4	外壁
	下地	耐水PBボード9.5mmの上透湿防水シート	
軒裏	硬質木毛セメント板15mm DP塗装	外壁	外壁
	手摺・支柱:FB75×9 溶融亜鉛メッキリン酸処理 横棧:FB75×9 溶融亜鉛メッキリン酸処理		
屋上手摺 屋外階段	手摺子:スチール13Φ@100 溶融亜鉛メッキリン酸処理	軒裏	硬質木毛セメント板15mm DP塗装
土間	コンクリート金鍍押え	ステージ	(床)二液水性ウレタン樹脂系塗床材(立上)二液水性ウレタン樹脂系塗床材 (踏面・蹴込共)二液水性ウレタン樹脂系塗床材
		階段	(踏面・蹴込共)二液水性ウレタン樹脂系塗床材
		鏡	防湿ミラー(表面飛散防止フィルム貼り) t=5.0mm W6,370×H2,000
4. 断熱仕様			
天井	硬質ウレタンフォームA種1H吹付 30mm	天井	—
外壁	硬質ウレタンフォームA種1H吹付 45mm	外壁	—



5. 内部仕上表												
階	室名	床			腰壁		壁		天井		天井高	備考
		下地	巾木	高さ	下地	巾木	高さ	下地	天井			
1階 (管理棟)	事務室・バックヤード	コンクリート	薄塗型エポキシ樹脂系防塵塗装	巾木	60	GB-R12.5mm	—	ビニールクロス張り (Y5通り)OSB合板張り t=8mm	GB-R9.5mm 捨貼	杉板15mm張り 木材保護塗料 一部GB-R9.5mmの上EP-G塗装	2,700	
	共用スペース	コンクリート	カラーサンド+エポキシ樹脂系舗装材(7)6mm 樹脂モルタル工法 薄塗型エポキシ樹脂系防塵塗装	巾木	60	GB-R12.5mm	—	ビニールクロス張り	GB-R9.5mm 捨貼	杉板15mm張り 木材保護塗料 一部GB-R9.5mmの上EP-G塗装	2,700	※一部マグネット対応掲示板紙
	バリアフリートイレ	コンクリート	薄塗型エポキシ樹脂系防塵塗装	巾木	60	GB-S12.5mm	一般:化粧ケイ酸カルシウム板 t=6.0mm 面台:メラミン不燃化粧板貼り t=3.0mm	化粧ケイ酸カルシウム板 t=6.0mm	GB-R9.5mm 捨貼	GB-R9.5mmの上EP-G塗装	2,500	
	女子用WC	コンクリート	薄塗型エポキシ樹脂系防塵塗装	巾木	60	GB-S12.5mm	一般:化粧ケイ酸カルシウム板 t=6.0mm 面台:メラミン不燃化粧板貼り t=3.0mm	化粧ケイ酸カルシウム板 t=6.0mm	GB-R9.5mm 捨貼	GB-R9.5mmの上EP-G塗装	2,500	
	男子用WC	コンクリート	薄塗型エポキシ樹脂系防塵塗装	巾木	60	GB-S12.5mm	一般:化粧ケイ酸カルシウム板 t=6.0mm 面台:メラミン不燃化粧板貼り t=3.0mm	化粧ケイ酸カルシウム板 t=6.0mm	GB-R9.5mm 捨貼	GB-R9.5mmの上EP-G塗装	2,500	
	用具入	コンクリート	薄塗型エポキシ樹脂系防塵塗装	巾木	60	GB-S12.5mm	一般:EP-G塗装 面台:メラミン不燃化粧板貼り t=3.0mm	EP-G塗装	GB-R9.5mm 捨貼	GB-R9.5mmの上EP-G塗装	2,500	
	廊下	コンクリート	薄塗型エポキシ樹脂系防塵塗装	巾木	60	GB-R12.5mm	—	EP-G塗装	GB-R9.5mm 捨貼	GB-R9.5mmの上EP-G塗装	2,500	



■採光・換気・排煙 無窓居室の検討

<p>□採光計算 採光補正係数：<math>\alpha = D/H \times 10 - 1.0</math></p> <p>・用具貸出室 面積：45.50㎡ 必要：45.50 × 1/20 = 2.275㎡ 採光補正係数：3 有効：(AD04) 3.20 × 2.50 × 3 = 24.00㎡ 24.00㎡ &gt; 2.275㎡ …OK</p> <p>・事務室 面積：12.25㎡ 必要：12.25 × 1/20 = 0.61㎡ 採光補正係数：3 有効：(AD03) 1.60 × 2.20 × 3 = 10.56㎡ 10.56㎡ &gt; 0.61㎡ …OK</p>	<p>□換気計算</p> <p>・用具貸出室 面積：45.50㎡ 必要：45.50 × 1/20 = 2.275㎡ 有効：(AW01・AW02) 0.75 × 0.80 = 0.60㎡ 0.60 × 6ヶ所 = 3.60㎡ 3.60㎡ &gt; 2.275㎡ …OK</p> <p>・事務室 面積：12.25㎡ 必要：12.25 × 1/20 = 0.61㎡ 有効：(AD03) 1.60 × 2.20 = 3.52㎡ 3.52㎡ &gt; 0.61㎡ …OK</p>	<p>□排煙計算</p> <p>・用具貸出室 面積：45.50㎡ 必要：45.50 × 1/50 = 0.91㎡ 有効：(AW01・AW02) 0.78 × 0.762 = 0.59㎡ 0.59 × 6ヶ所 = 3.54㎡ 3.54㎡ &gt; 0.91㎡ …OK</p> <p>・事務室 面積：12.25㎡ 必要：12.25 × 1/50 = 0.24㎡ 有効：(AD03) 1.60 × 0.30 = 0.48㎡ 0.48㎡ &gt; 0.24㎡ …OK</p>
---	--	---

■消防有窓階判定の検討

<p>(管理棟) 強化ガラス5mm厚を越えるため無窓階扱いとする</p>
--

空調機器表

記号	名称	機器仕様	電源			台数	設置場所	備考
			相	V	KW			
PAC-1	空冷ヒートポンプ	インバーター方式、天井埋込カセット形(4方向吹出し)	3	200	冷：0.731	1	・事務室、バックヤード	冷媒種類：R32 参考配管口径：φ6.4-φ12.7
	パッケージエアコン (シングルタイプ)	冷房能力：4.0kw(1.0~4.5) 暖房能力：4.5kw(0.9~5.0)			暖：0.837			
	(重耐塩害仕様)	圧縮機：0.8kw APF：7.3以上						
	付属品	オートルーバー、ドレンアップメカ、ワイヤードリモコンスイッチ、 室内機用防振金具						
PAC-2	空冷ヒートポンプ	インバーター方式、天井埋込カセット形(4方向吹出し)	3	200	冷：3.66	1	・貸出用具室	冷媒種類：R32 参考配管口径：φ9.5-φ15.9 (φ9.5-φ15.9) × 2
	パッケージエアコン (同時ツインタイプ)	冷房能力：14.0kw(3.1~16.0) 暖房能力：16.0kw(2.6~20.0)			暖：3.47			
	(重耐塩害仕様)	圧縮機：3.4kw APF：6.1以上						
	付属品	オートルーバー、ドレンアップメカ、ワイヤードリモコンスイッチ、 分岐管、室内機用防振金具						

※ 空調機器は、高効率型、省エネ法・グリーン購入法・トップランナー判断基準を満たす機種とする。  
 ※ 冷暖房能力はJIS B8616に準拠した値を示す。  
 ※ 電気容量は参考値とする。(原則として記載容量以下とする)  
 ※ リモコンスイッチ取付位置は現場にて再度打合わせの上取付の事。

換気機器表

記号	名称	機器仕様	電源			台数	設置場所	備考
			相	V	W			
HEX-1	空調換気扇	天井カセット形 マイコンタイプ	1	100	80	1	・事務室、バックヤード	※24時間換気
		風量：120 m3/h × 60Pa						
		付属品：インテリアパネル、防振金具、コントロールスイッチ、 丸形防風板付ベンドキャップ100φ(ステンレス製・ギャラリ付) × 2 (指定色塗装)						
HEX-2	空調換気扇	天井カセット形 マイコンタイプ	1	100	80	1	・貸出用具室	
		風量：300 m3/h × 80Pa						
		付属品：インテリアパネル、防振金具、コントロールスイッチ、 丸形防風板付ベンドキャップ150φ(ステンレス製・ギャラリ付) × 2 (指定色塗装)						
FE-1	天井埋込換気扇	プラスチック製 低騒音タイプ	1	100	25	1	・男子WC	
		風量：180 m3/h × 20Pa						
		付属品：丸形防風板付ベンドキャップ150φ(ステンレス製・ギャラリ付) × 2 (指定色塗装)						
FE-2	天井埋込換気扇	プラスチック製 低騒音タイプ	1	100	25	1	・バリアフリートイレ	
		風量：180 m3/h × 40Pa						
		付属品：丸形防風板付ベンドキャップ150φ(ステンレス製・ギャラリ付) × 2 (指定色塗装)						
FE-3	天井埋込換気扇	プラスチック製 低騒音タイプ	1	100	30	1	・女子WC	
		風量：230 m3/h × 40Pa						
		付属品：丸形防風板付ベンドキャップ150φ(ステンレス製・ギャラリ付) × 2 (指定色塗装)						

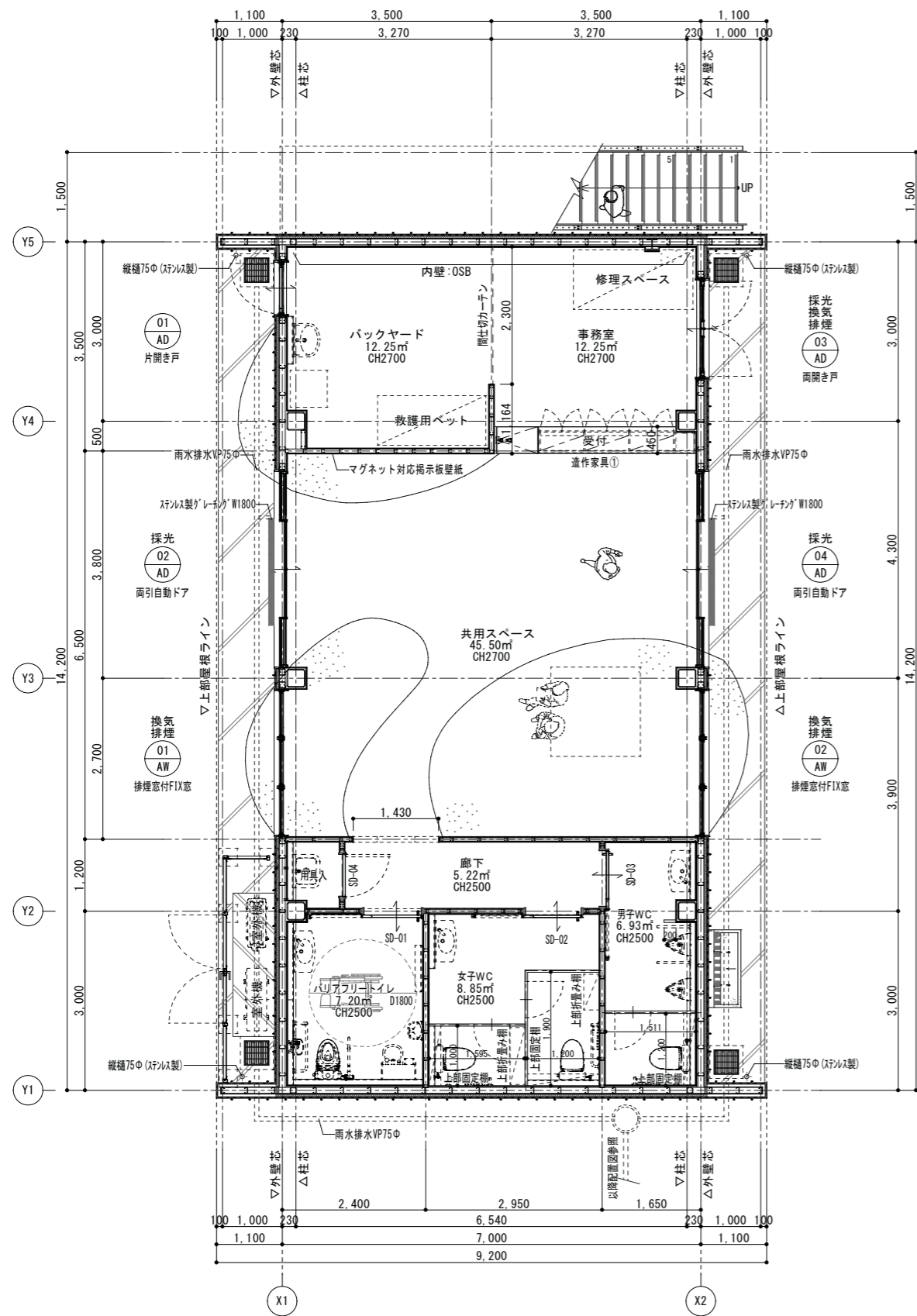
シックハウス対策換気計算表 ※ 24時間換気機器のスイッチは、常時換気すべきことを指示する表示を取付けること。

階数	室名	床面積 (m2)	天井高 (m)	気積 (m3)	シックハウス対策換気計算					結果		
					換気回数 (回/h)	必要換気量 (A) (m3/h)	換気種別	機器記号	設計換気量 (B) (m3/h)		静圧 (Pa)	突機器換気量 (C) (m3/h)
1	事務室・バックヤード	24.5	2.7	66.2	0.3	19.9	第1種	HEX-1	120	60	155	A < C . . . OK
1	貸出用具室	45.5	2.7	122.9	0.3	36.9						
	合計					56.8			120	60	155	

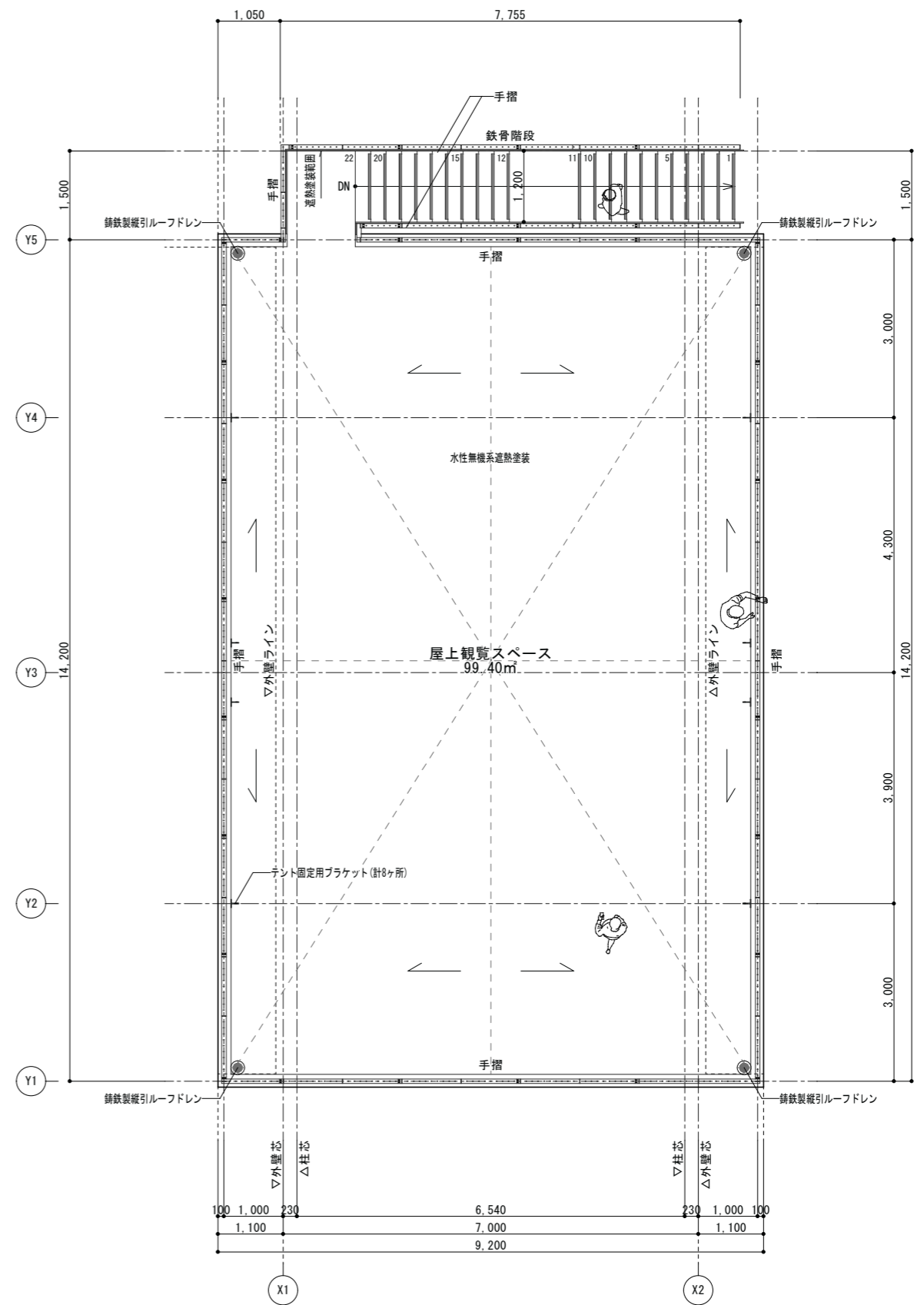
<p>一級建築士事務所 知事登録 第1-4-16号 トラス・アーキテクト株式会社 一級建築士 第344260号 木元 達也</p>	<p>スケートボード等専用施設管理棟 ほか1棟新築本体工事</p> <p>LVS・24時間換気計算</p> <p>鹿児島市建設局建築部建築課</p>	<p>A-08</p>
---	--	-------------

凡例

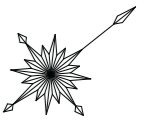
遮音壁(LGS65の上PB12.5mm張り+遮音シート片面張り ※共用スペース側) 別紙(A-31)B-10参照



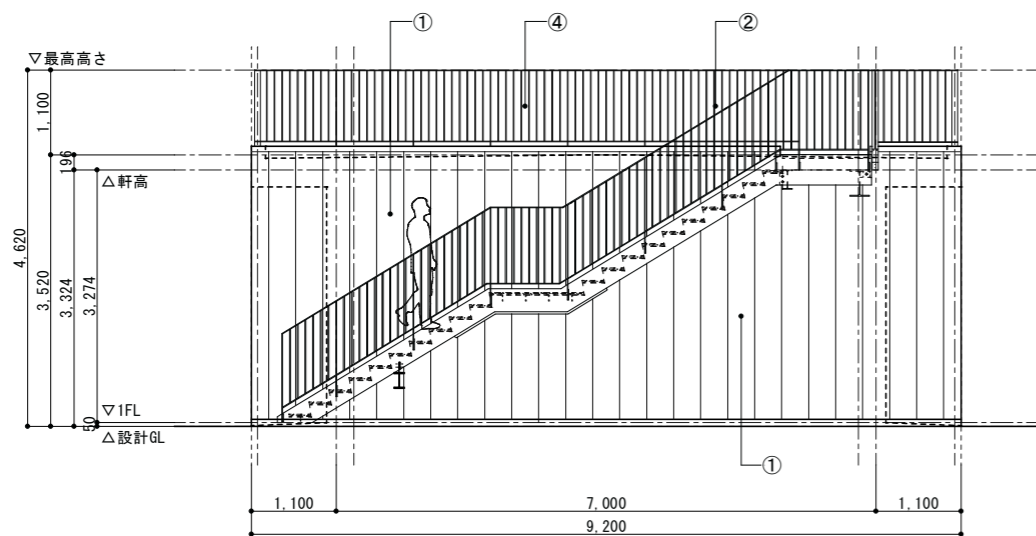
管理棟 1階平面図 S=1/100



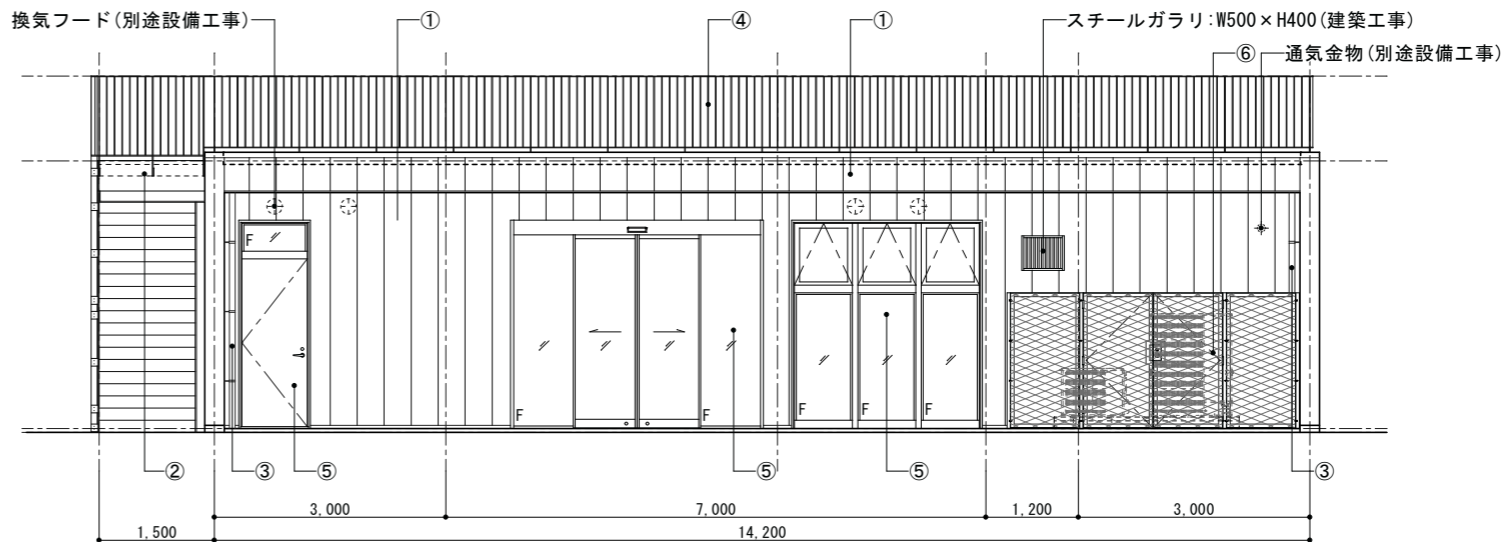
管理棟屋上平面図 S=1/100



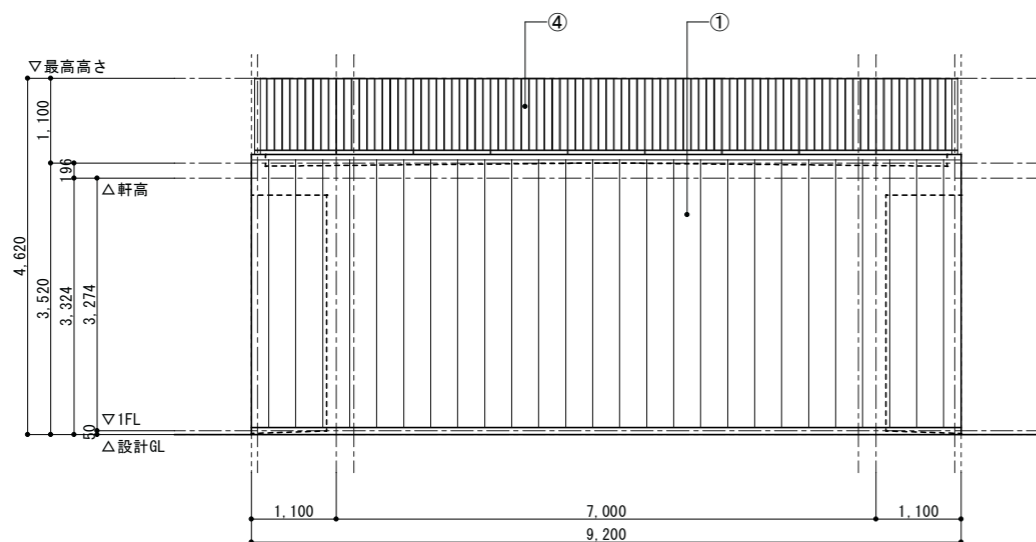
一級建築士事務所 知事登録 第1-4-16号 トラス・アーキテクト株式会社 一級建築士 第344260号 木元 達也	スケートボード等専用施設管理棟 ほか1棟新築本体工事	
	管理棟 平面図	A-09
鹿児島市建設局建築部建築課		



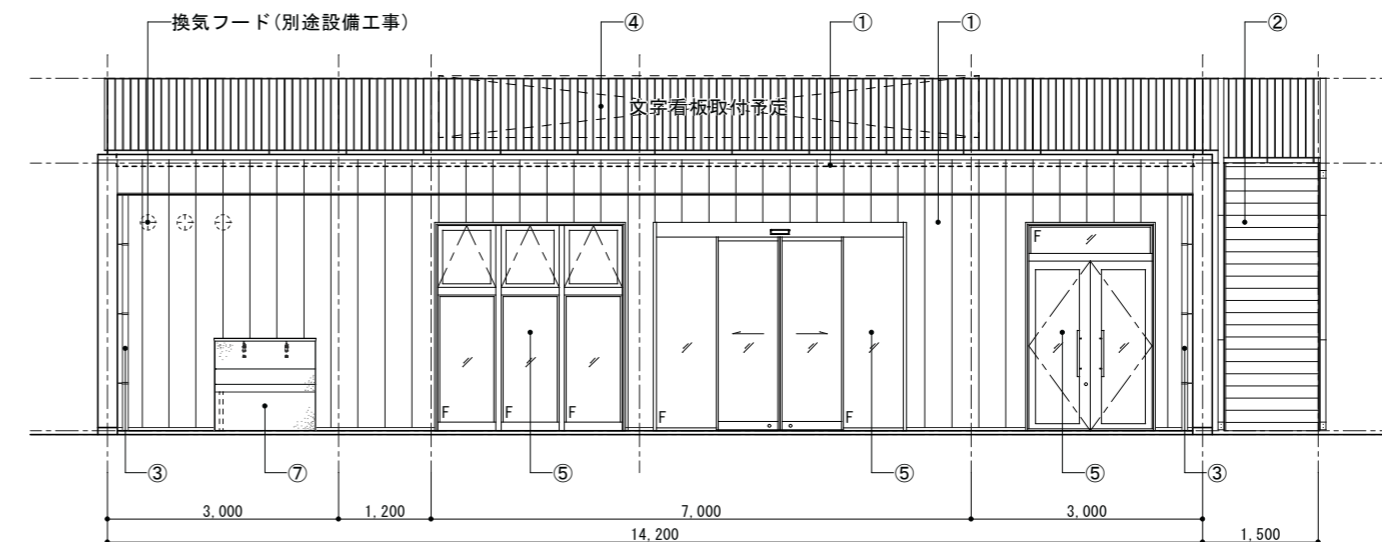
(管理棟)北西面立面図 S=1/100



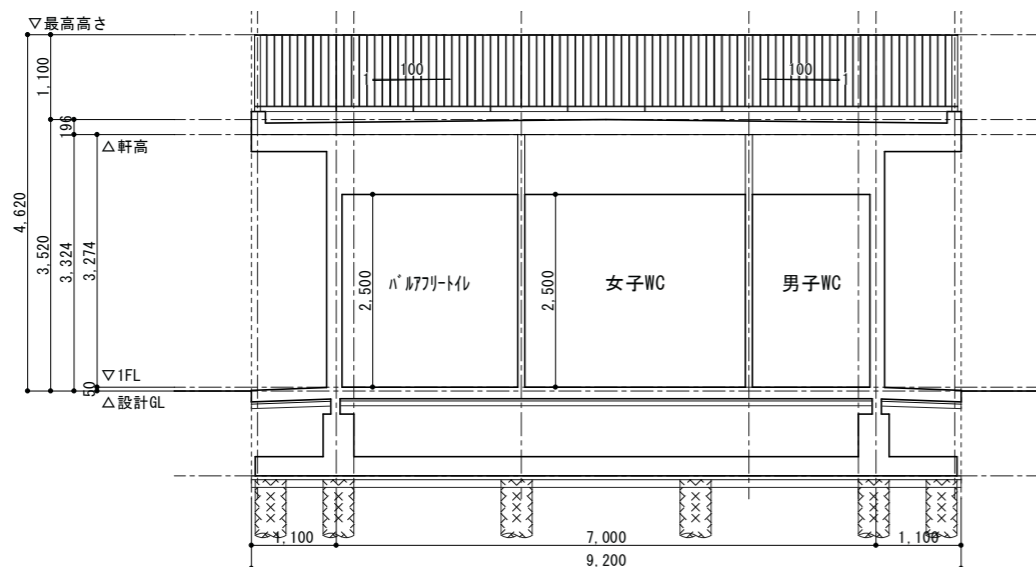
(管理棟)南西面立面図 S=1/100



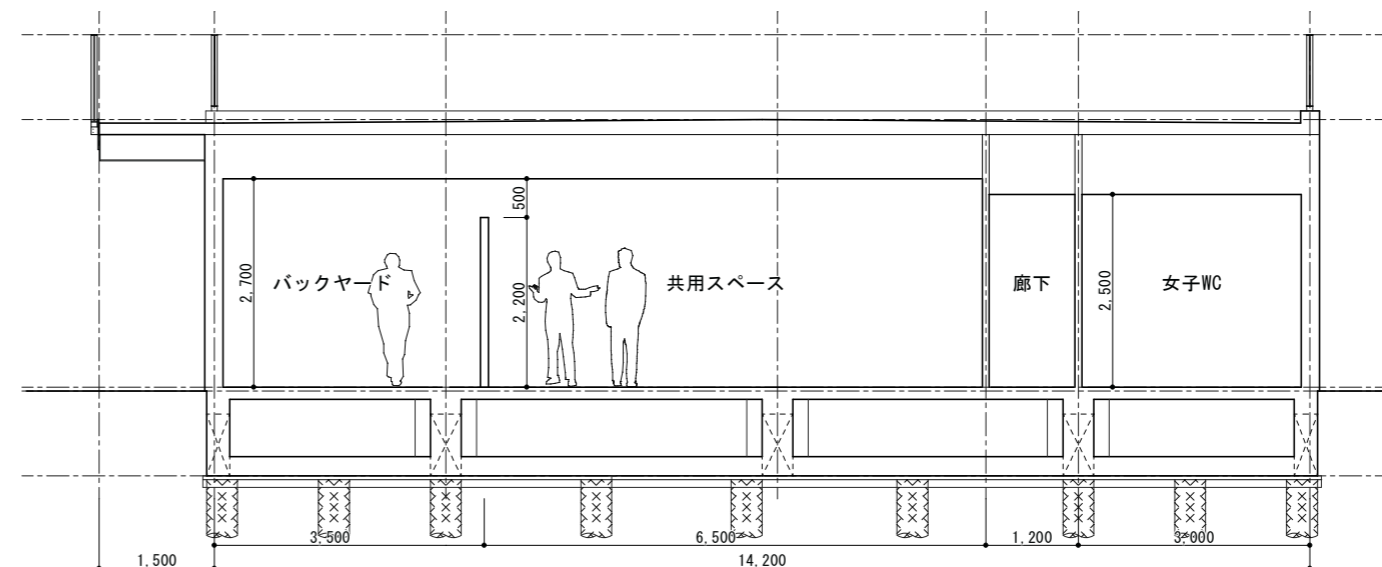
(管理棟)南東面立面図 S=1/100



(管理棟)北東面立面図 S=1/100



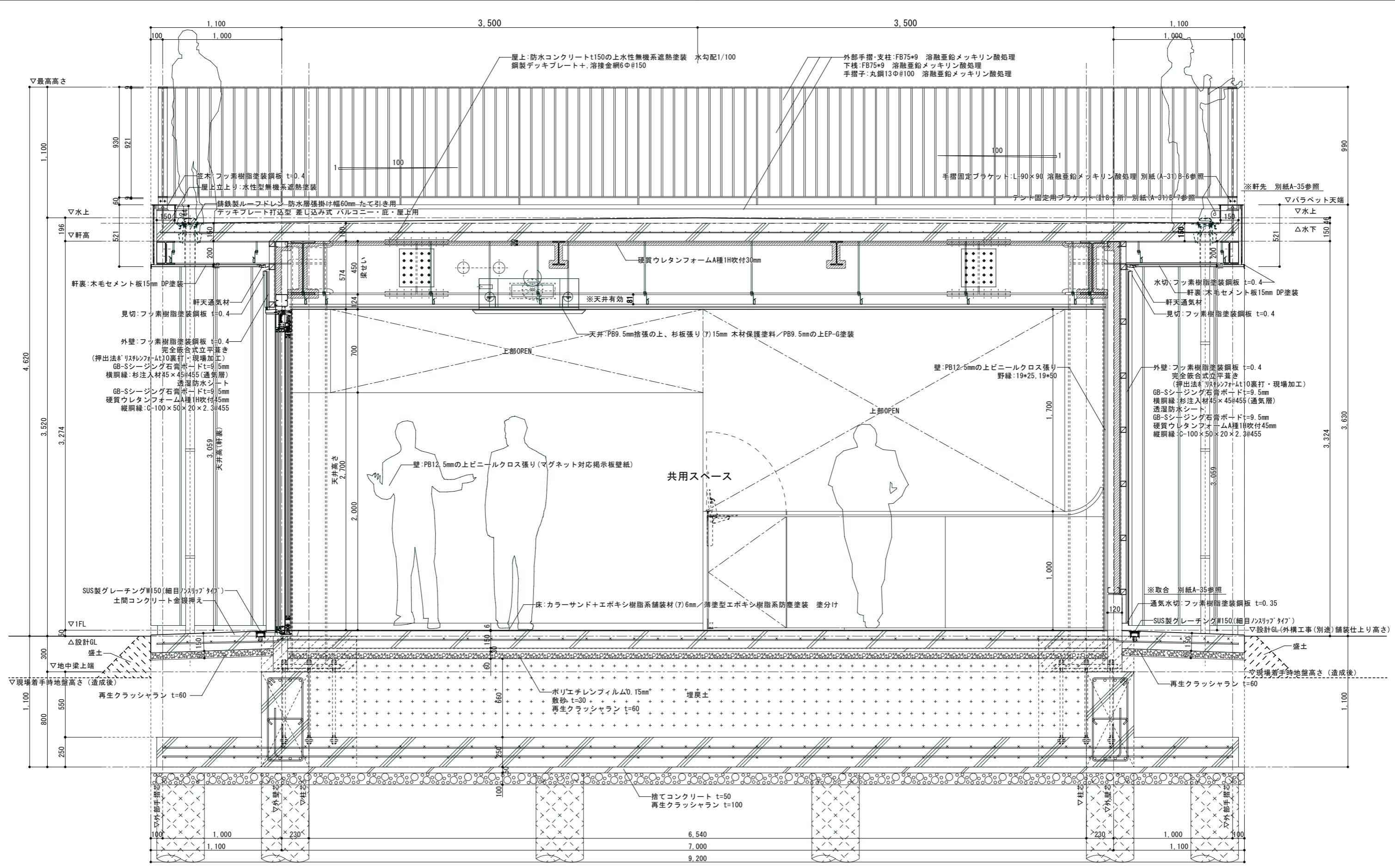
(管理棟)X-X'断面図 S=1/100



(管理棟)Y-Y'断面図 S=1/100

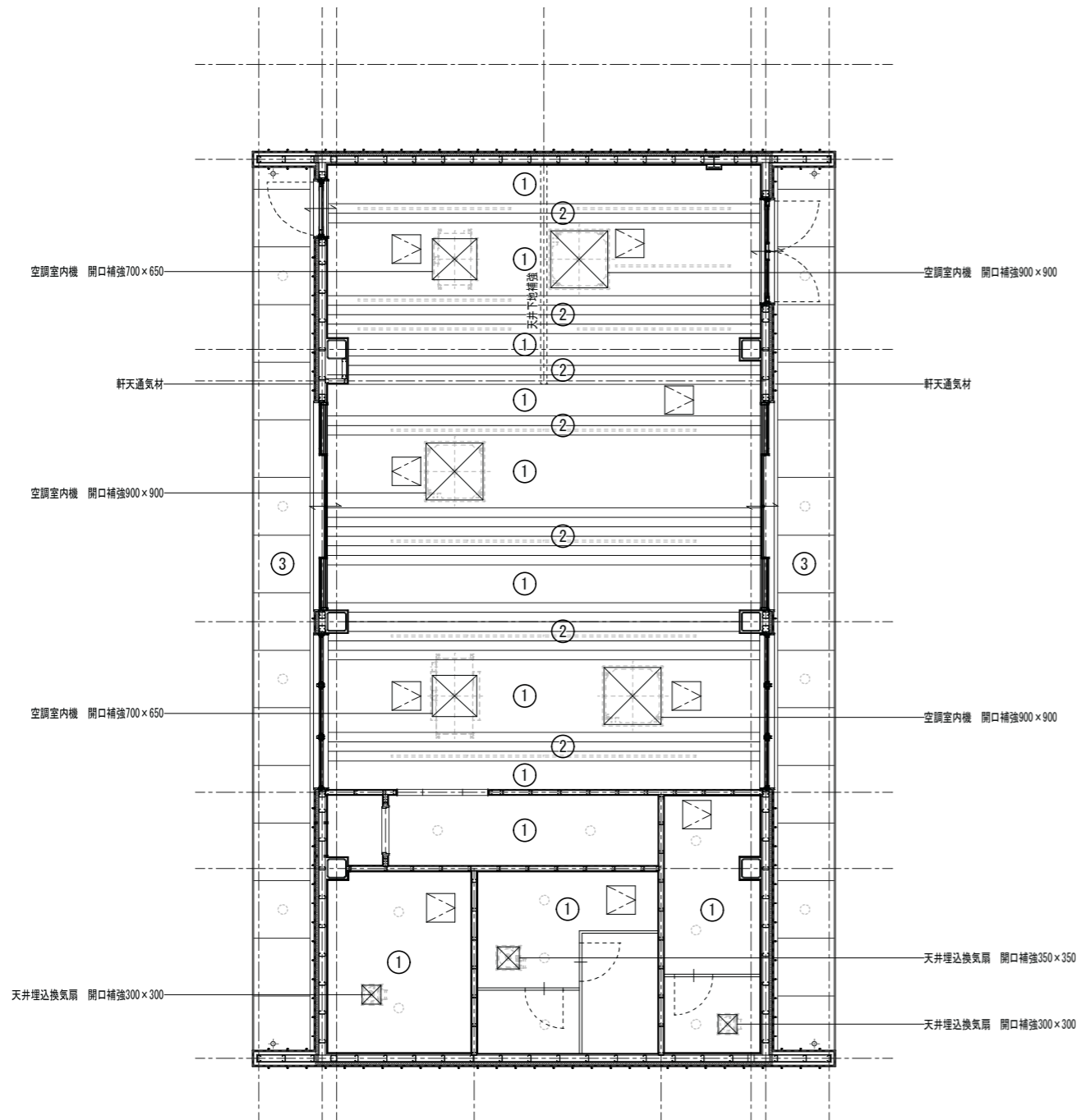
■外部仕上表

符号	項目	符号	項目	符号	項目
①	外壁:フッ素樹脂塗装鋼板 厚0.4	④	外部手摺・支柱・下棧:FB75*9 溶融亜鉛メッキリン酸処理	⑤	外部建具:アルミ製建具 カラーサッシ(標準色)
②	鉄骨階段(手摺・側桁共):溶融亜鉛メッキ仕上リン酸処理	④	手摺子:丸鋼13Φ@100 溶融亜鉛メッキリン酸処理	⑥	室外機外部フェンス 別紙(A-28)参照
③	縦樋:ステンレス製 75Φ	④	別紙(A-22~A-23)参照	⑦	外部流し 別紙(A-25)参照



矩計図 (Y3-Y4通) S=1/30

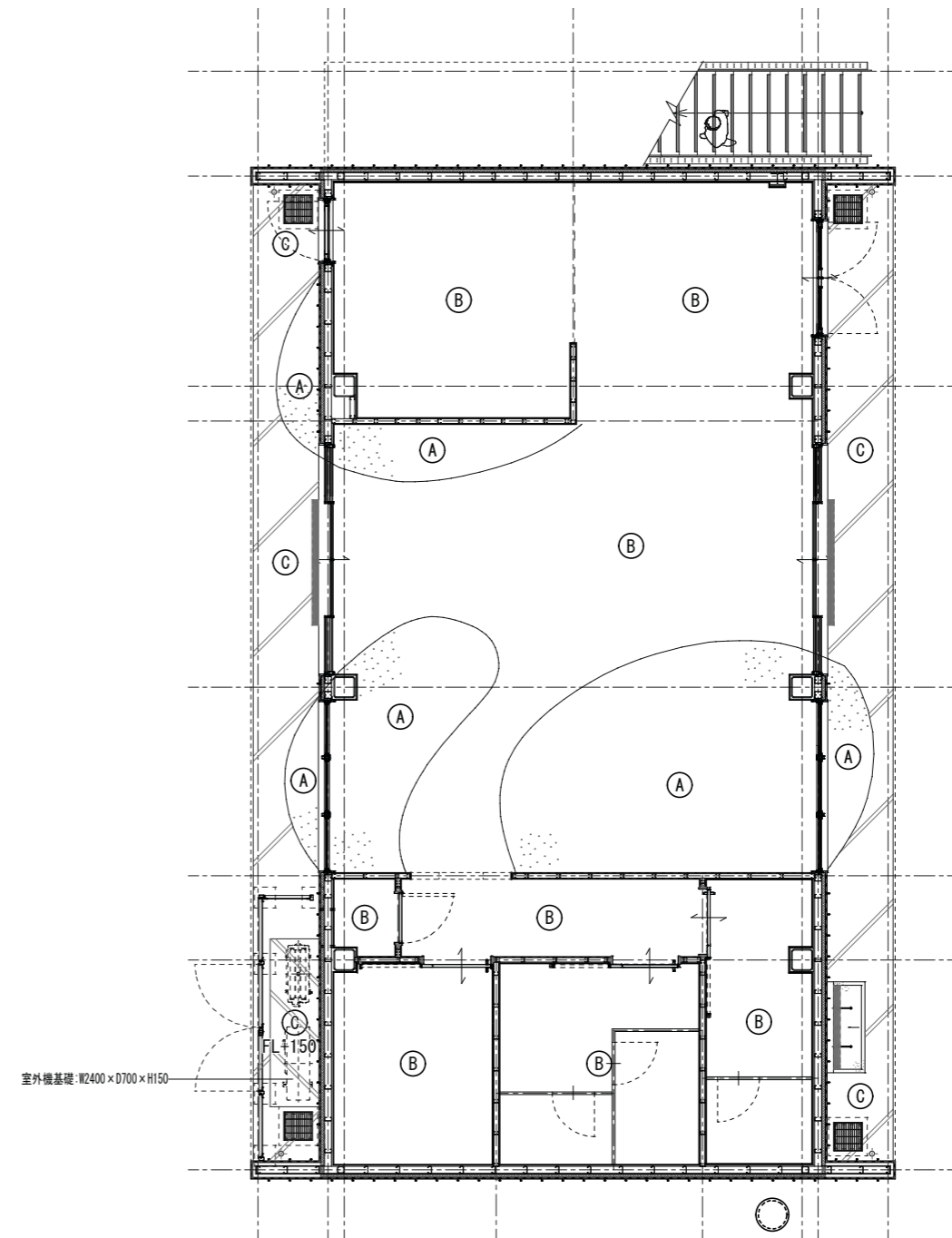
一級建築士事務所 知事登録 第1-4-16号 トラス・アーキテクト株式会社 一級建築士 第344260号 木元 達也	スケートボード等専用施設管理棟 ほか1棟新築本体工事	
	管理棟 矩計図 (Y3-Y4通)	A-11
一級建築士 第344260号 木元 達也		鹿児島市建設局建築部建築課



管理棟天井伏図 S=1/100

凡例	仕上
①	PB9.5mmの上EP-G塗装
②	杉板 t=15mm 木材保護塗料 ※ボンド、ビス兼用し固定する事。
③	木毛セメント板張り15mm DP塗装
	天井点検口450角 9ヶ所
	天井開口補強(建築工事)

※天井の取合いについては、別紙(A-31)B-1参照

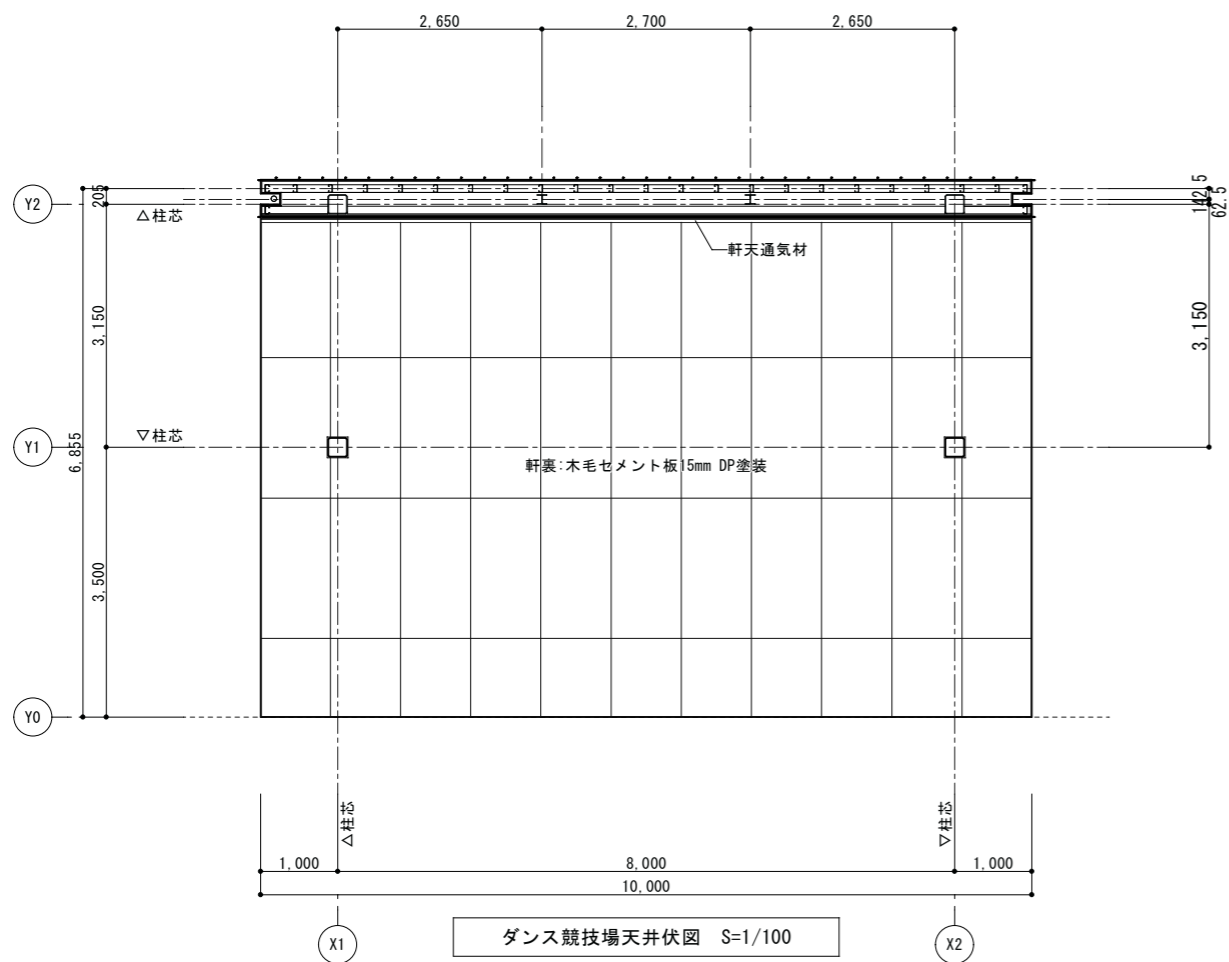
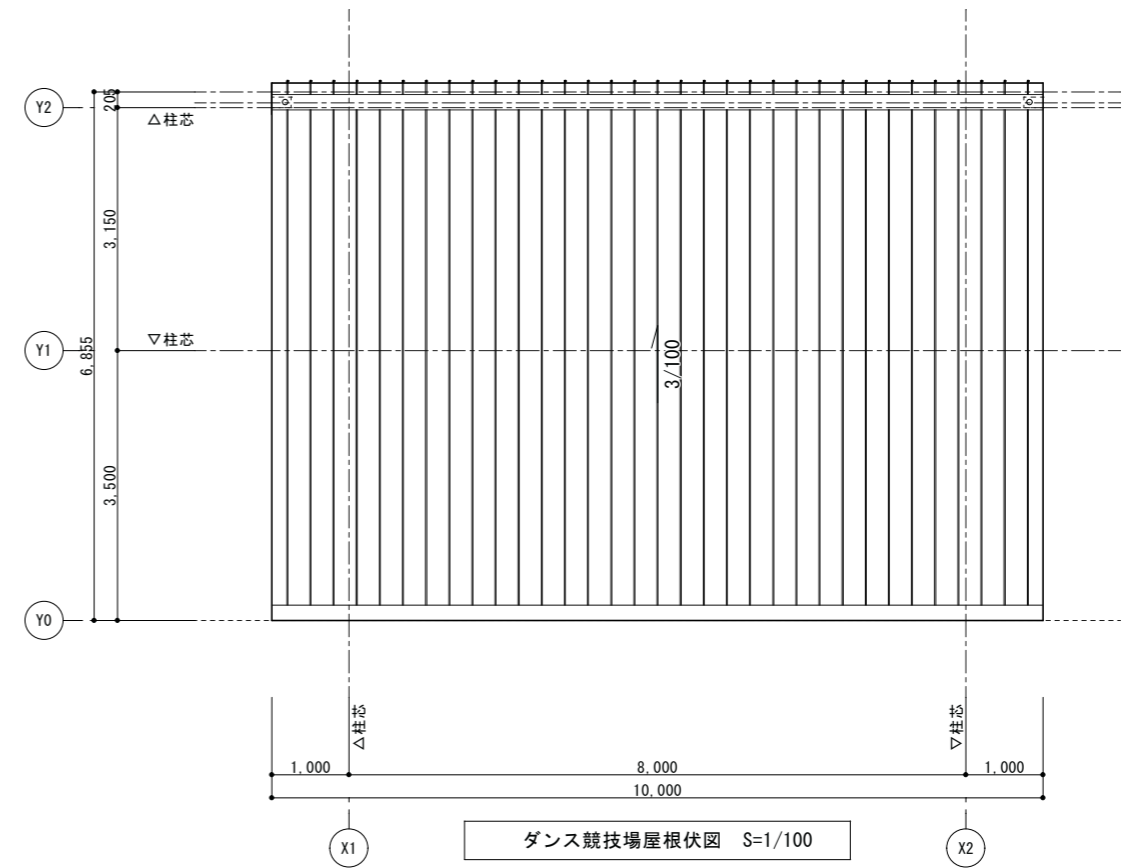
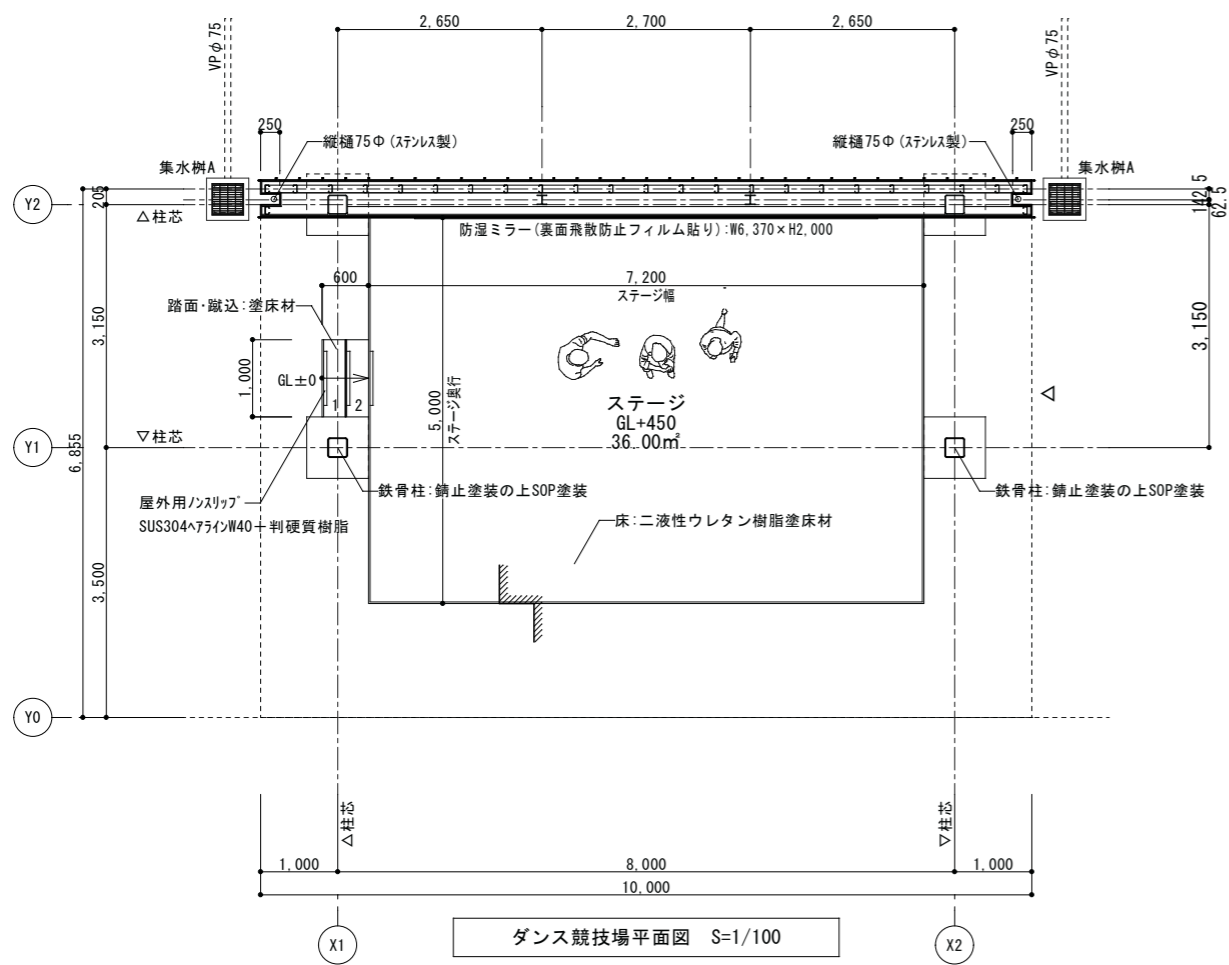


管理棟床伏図 S=1/100

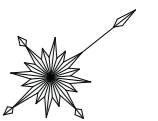
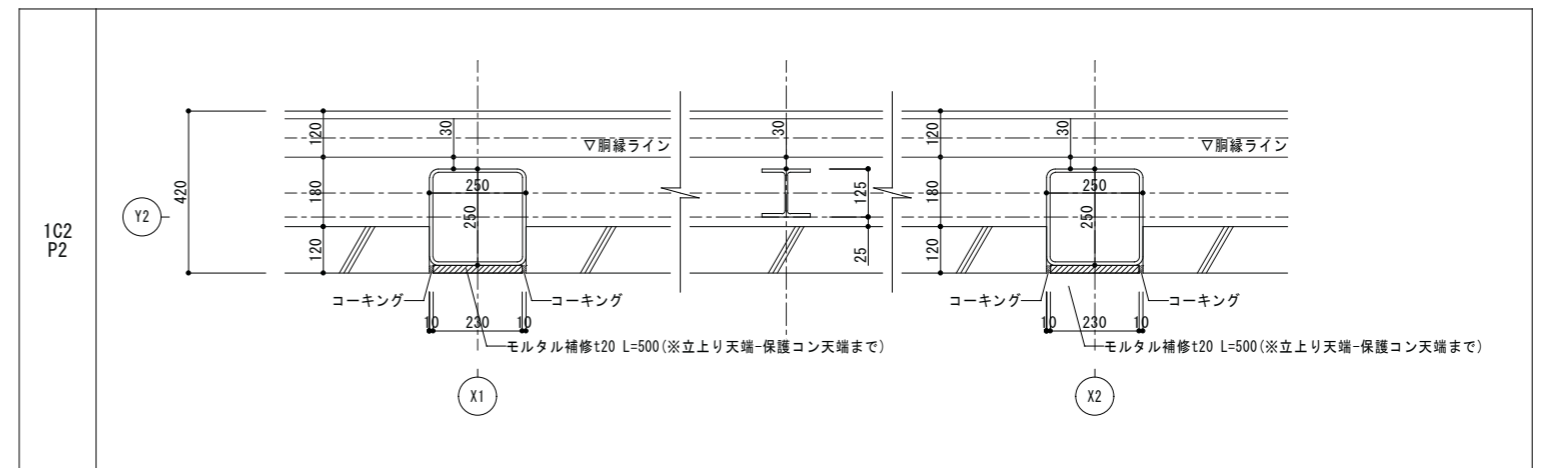
凡例	仕上
Ⓐ	カラーサンド+エポキシ樹脂系舗装材(7)6mm
Ⓑ	薄塗型エポキシ樹脂系防塵塗装
Ⓒ	土間コンクリート金鍍押え

※床材の取合いについては、別紙(A-31)B-9参照

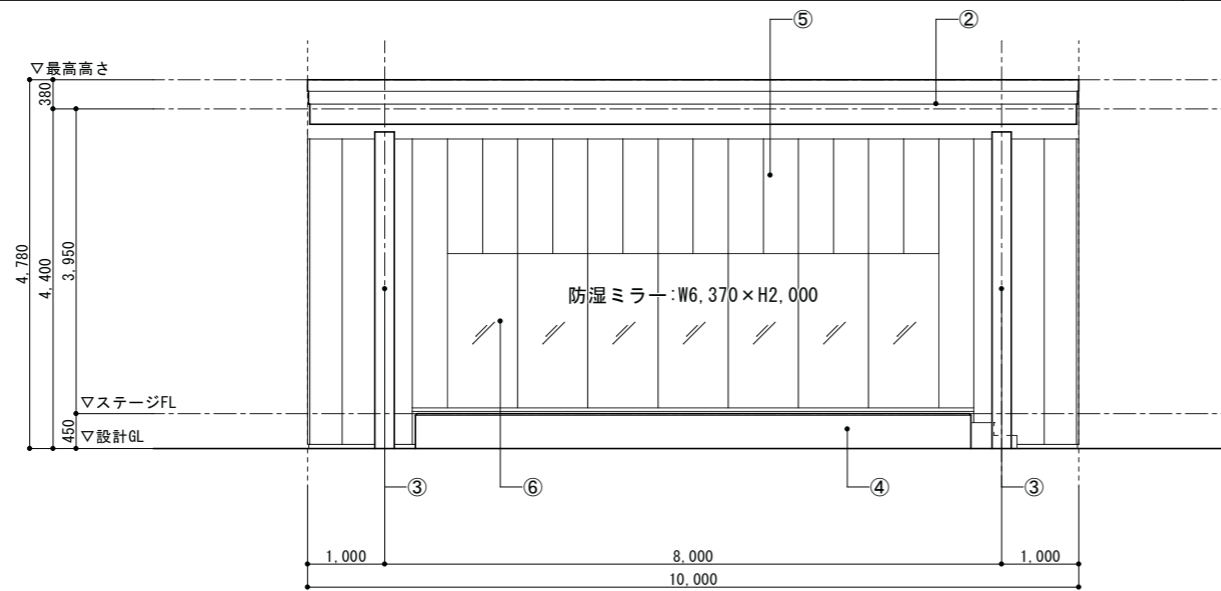
一級建築士事務所 知事登録 第1-4-16号 トラス・アーキテクト株式会社 一級建築士 第344260号 木元 達也	スケートボード等専用施設管理棟 ほか1棟新築本体工事	
	管理棟 天井伏図・床伏図	A-12
	鹿児島市建設局建築部建築課	



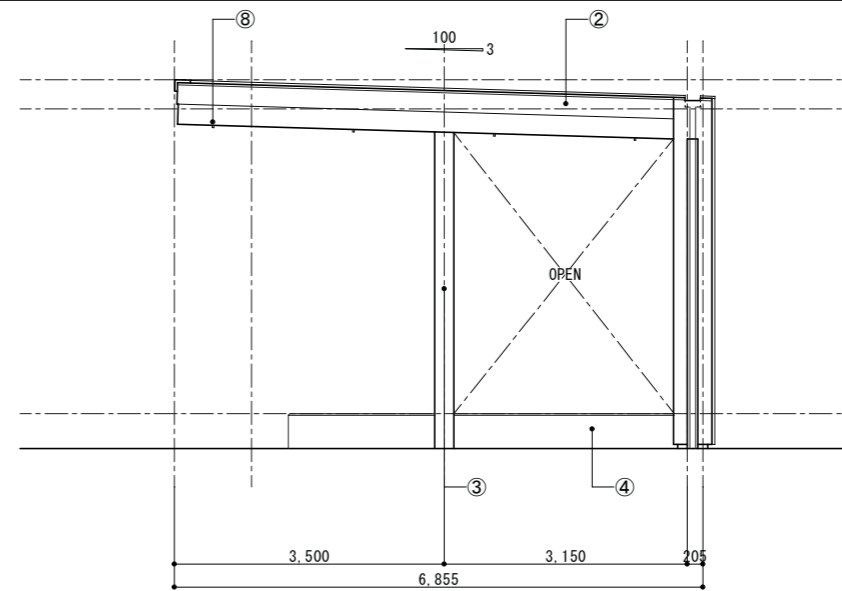
□基礎取合 補修範囲平面詳細図 S=1/20



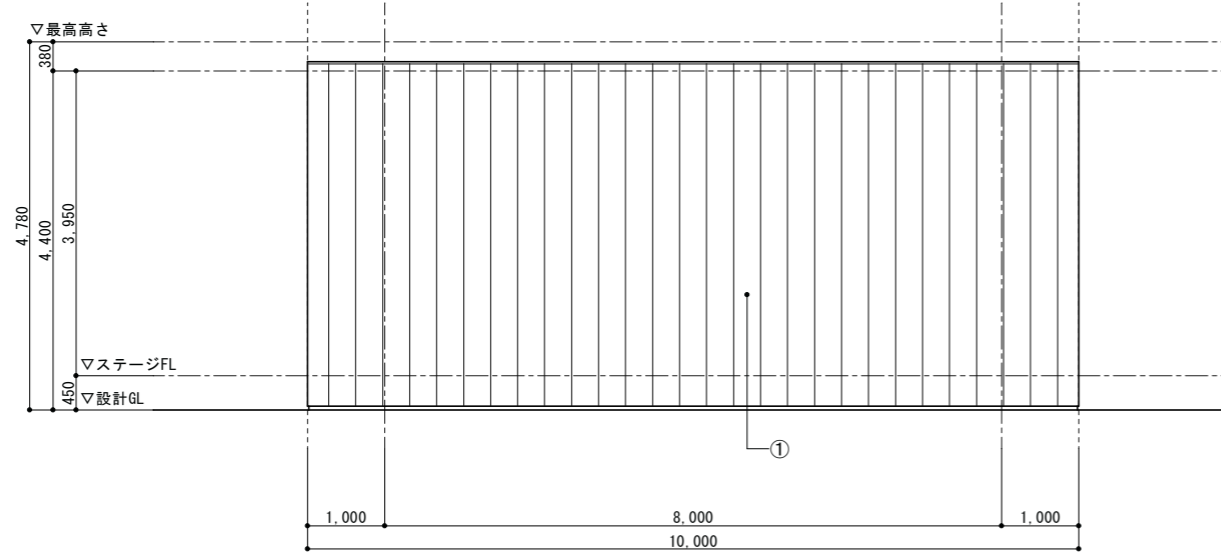
一級建築士事務所 知事登録 第1-4-16号 トラス・アーキテクト株式会社 一級建築士 第344260号 木元 達也	スケートボード等専用施設管理棟 ほか1棟新築本体工事	A-13
	ダンス競技場 平面図・屋根伏図 鹿児島市建設局建築部建築課	



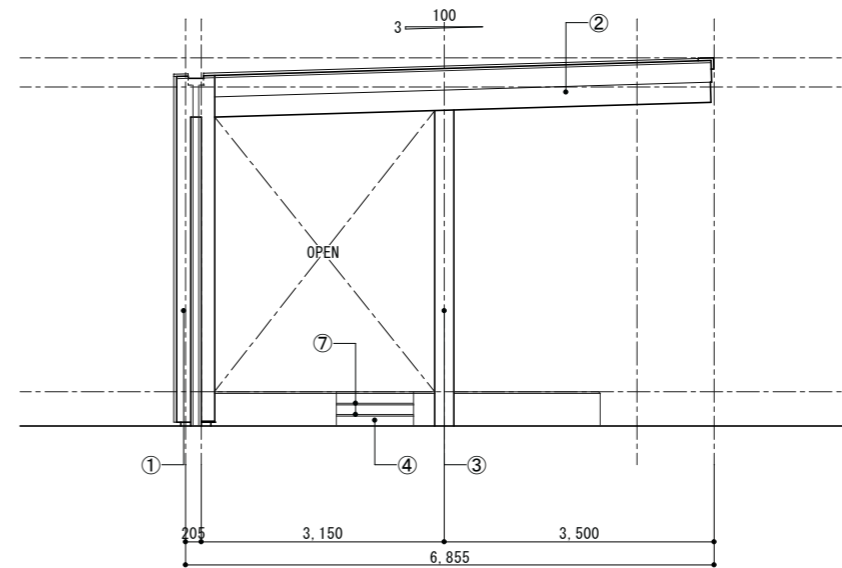
(ダンス競技棟)北西面立面図 S=1/100



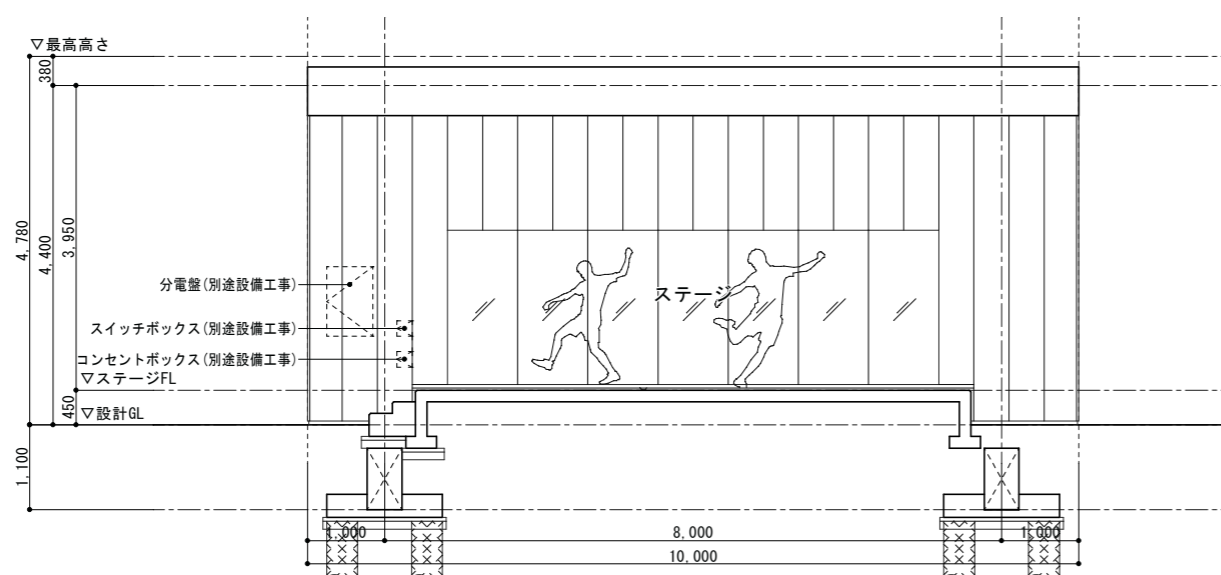
(ダンス競技棟)南西面立面図 S=1/100



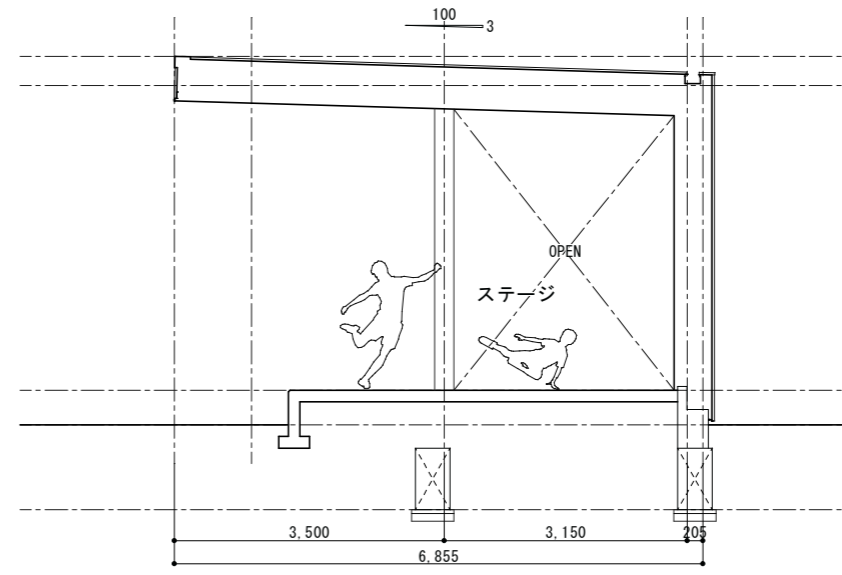
(ダンス競技棟)南東面立面図 S=1/100



(ダンス競技棟)北東面立面図 S=1/100



(ダンス競技棟)X-X'断面図 S=1/100

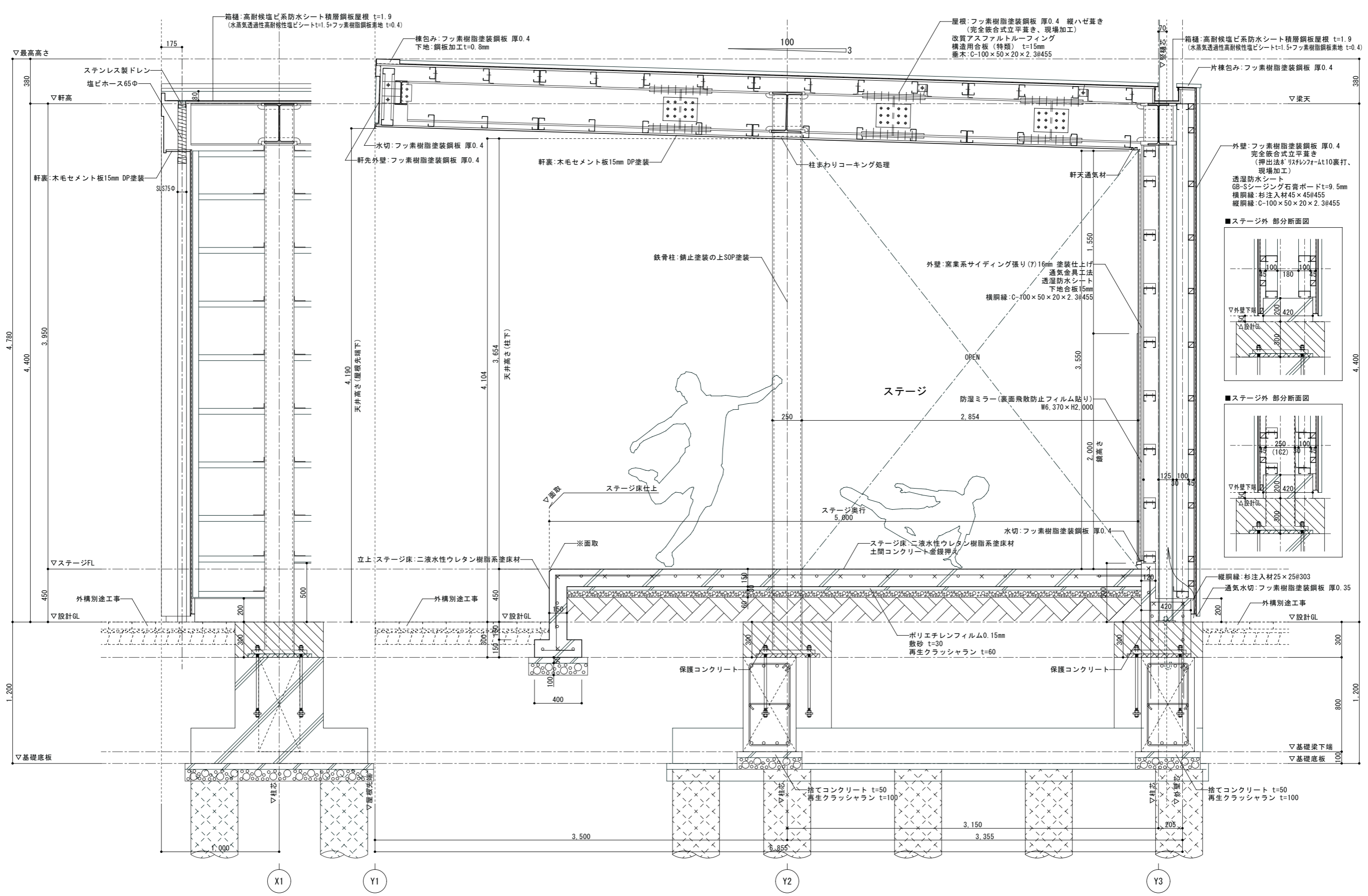


(ダンス競技棟)Y-Y'断面図 S=1/100

■外部仕上表

符号	項目	符号	項目	符号	項目
①	外壁:フッ素樹脂塗装鋼板 厚0.4	③	鉄骨柱:250角 防錆塗装の上SOP塗装	⑤	外壁:窯業系サイディング16mm張り 無塗装品フラット柄 塗装仕上
②	ケラバ:フッ素樹脂塗装鋼板 厚0.4	④	ステージ立上り:二液水性ウレタン樹脂系塗床材	⑥	防湿ミラー(裏面飛散防止フィルム貼り) W6,370×H2,000
				⑦	(ｽﾃｰｼﾞ・踏面・蹴込共)二液水性ウレタン樹脂系塗床材
				⑧	日除け用ステンレス製フック ×4ヶ所

一級建築士事務所 知事登録 第1-4-16号 トラス・アーキテクト株式会社 一級建築士 第344260号 木元 達也	スケートボード等専用施設管理棟 ほか1棟新築本体工事 ダンス競技場 立面図・断面図 鹿児島市建設局建築部建築課	A-14
--	--	------



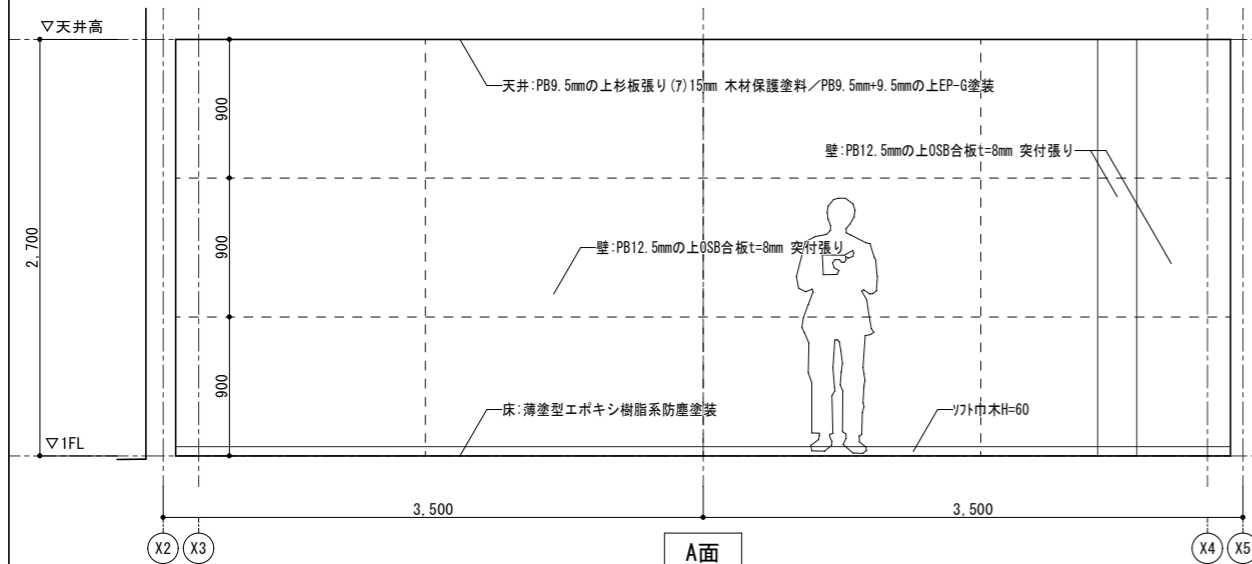
矩計図(Y3通) S=1/30

矩計図(X2-X3通) S=1/30

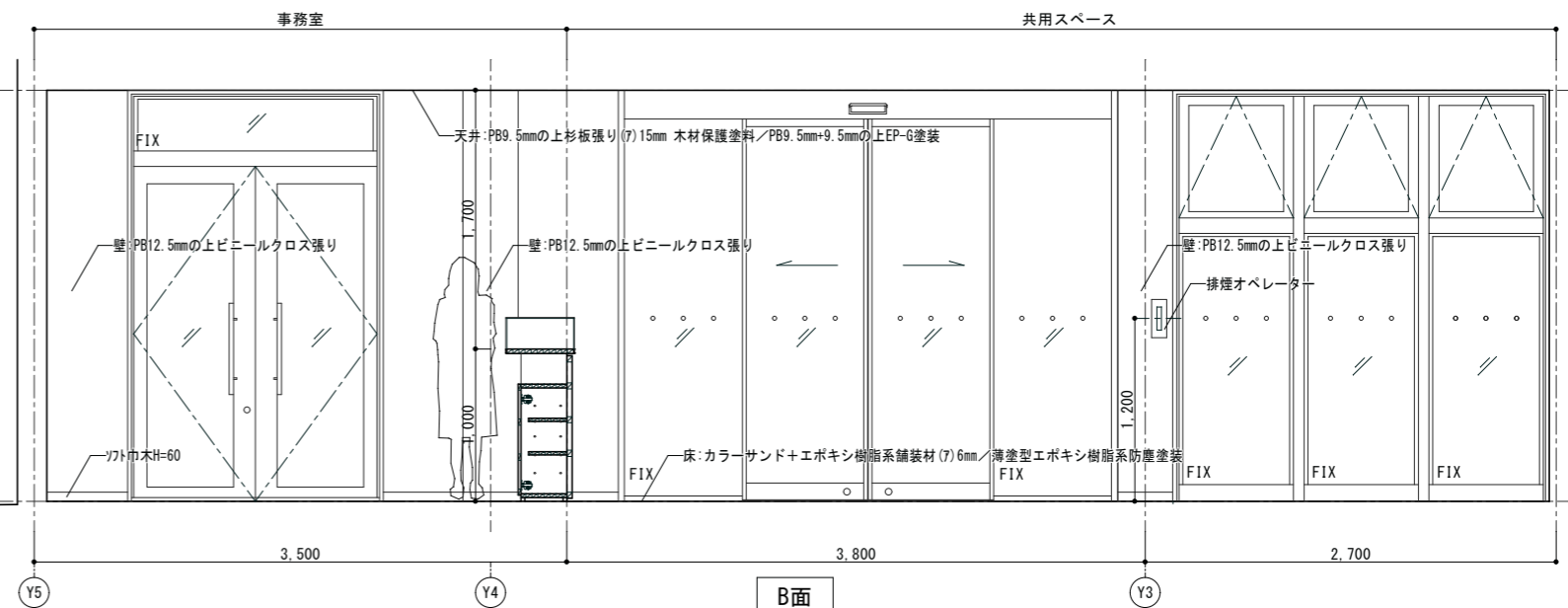
一級建築士事務所 知事登録 第1-4-16号 トラス・アーキテクト株式会社 一級建築士 第344260号 木元 達也	スケートボード等専用施設管理棟 ほか1棟新築本体工事 ダンス競技場 矩計図 鹿児島市建設局建築部建築課	A-15
--	--	------

符号・設置箇所	01 AG	バックヤード	02 AG	04 AG	共用スペース	03 AG	事務室	01 AG	02 AG	共用スペース
形状寸法										
名称	FIX付片開戸		引分自動ドア		両開戸		排煙窓付FIX			
個所数	1		2		1		2			
仕上	アルミ 見込70		アルミ 見込135		アルミ 見込70		アルミ 見込70			
硝子	Low-E複層ガラス FL6mm+A6+TP6mm		TP(7)12.0mm		Low-E複層ガラス FL6mm+A6+TP6mm		Low-E複層ガラス FL6mm+A6+TP6mm			
金物	本締錠シリンダー、サムターン、ピボットヒンジ、ドアクローザー、付属金物一式		シリンダー錠、付属金物一式		本締錠、ピボットヒンジ、ドアクローザー(SUS)、戸当、ドアハンドル、付属金物一式		排煙オペレーター、付属金物一式			
備考	枠:アルミ形材額縁		枠:アルミ形材額縁、衝突防止シール30Φ×12		枠:アルミ形材額縁		枠:アルミ形材額縁、衝突防止シール30Φ×9			
符号・設置箇所	01 AG	用具入	01 SD	03 SD	02 SD	03 SD	男子WC・女子WC	04 SD	用具入	
形状寸法										
名称	防水ガラス(固定) 0.20㎡		片引戸		片引上吊戸		片開戸			
個所数	1		1		2		1			
仕上	アルミ 見込70		亜鉛メッキ鋼板 t=0.6mm 焼付塗装		亜鉛メッキ鋼板 t=0.6mm 焼付塗装		亜鉛メッキ鋼板 t=0.6mm 焼付塗装			
硝子	-		-		型板ガラス(7)6.0mm		-			
金物	-		ドアハンドル、シリンダー錠、駆動装置、ソフトクローズ、付属金物一式		取手、空錠、上吊金物、戸当、ガラス押え、付属金物一式		レバーハンドル、空錠、丁番、ドアクローザー、付属金物一式			
備考	-		枠:亜鉛メッキ鋼板 t=1.6mm 焼付塗装、ガラス:アルミ押出形材		枠:亜鉛メッキ鋼板 t=1.6mm 焼付塗装、ガラス:アルミ押出形材		枠:亜鉛メッキ鋼板 t=1.6mm 焼付塗装			
							一級建築士事務所 知事登録 第1-4-16号 トラス・アーキテクト株式会社 一級建築士 第344260号 木元 達也		スケートボード等専用施設管理棟 ほか1棟新築本体工事 管理棟 建具図 鹿児島市建設局建築部建築課	
									A-16	

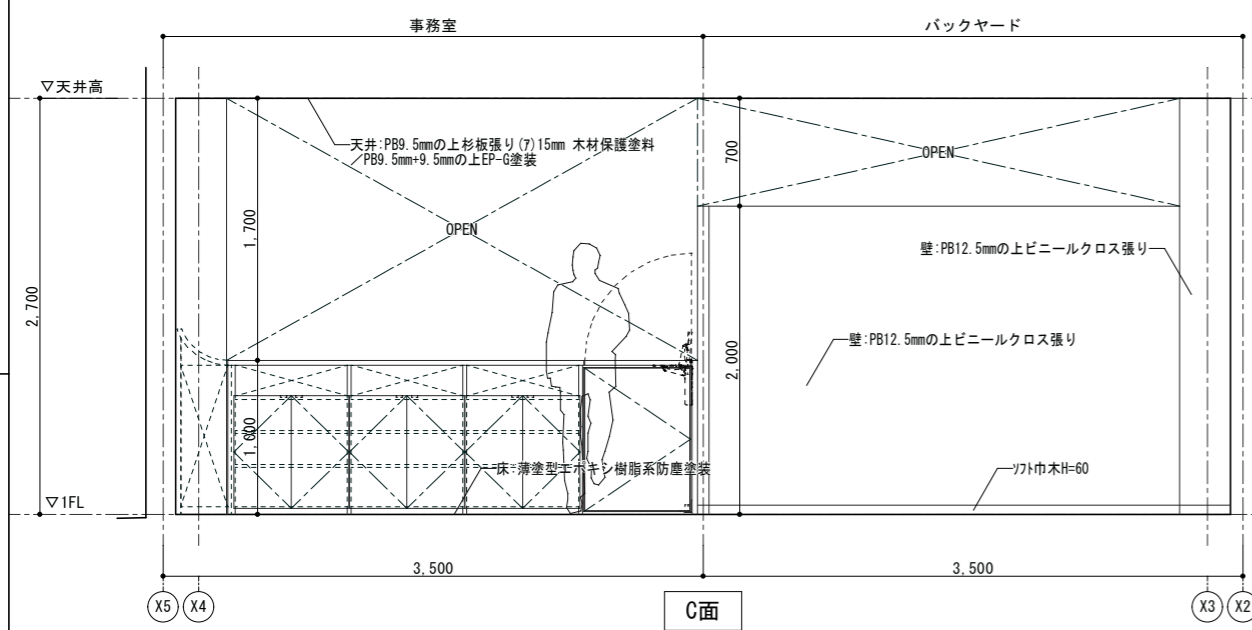
共用スペース・事務室・バックヤード



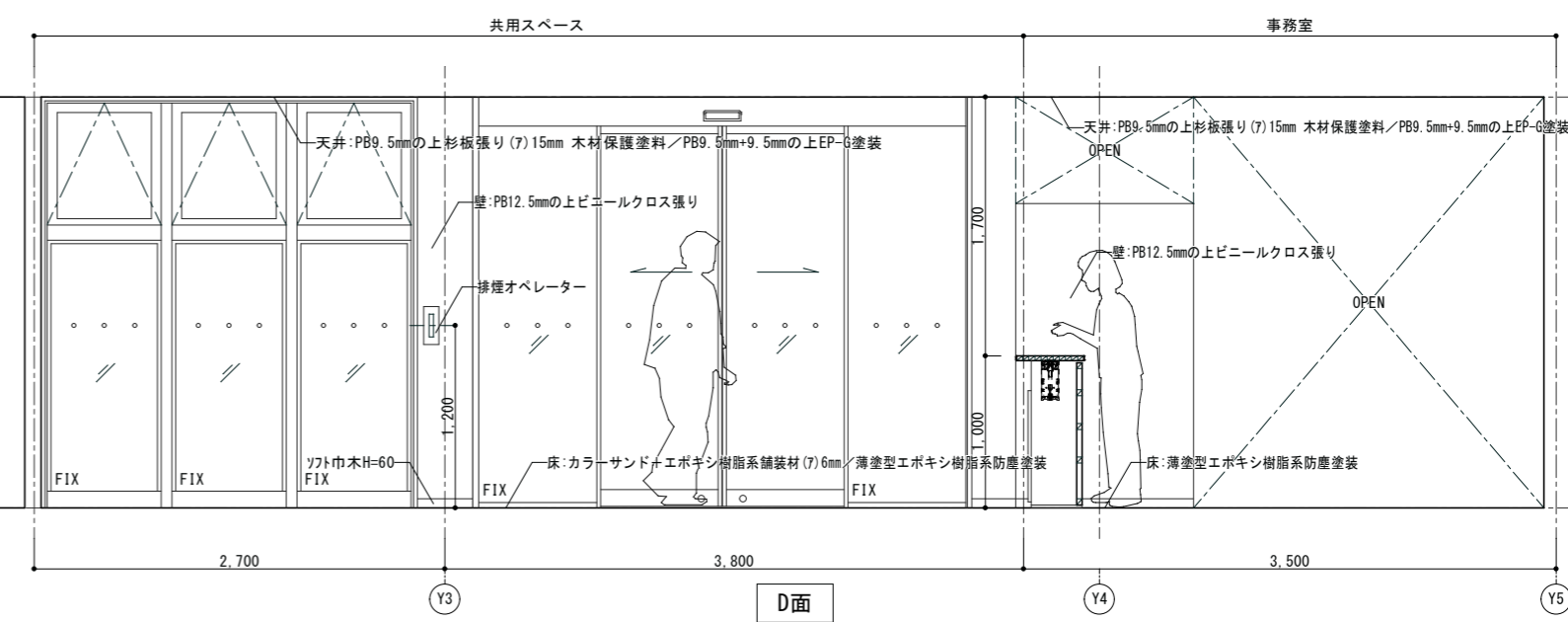
A面



B面

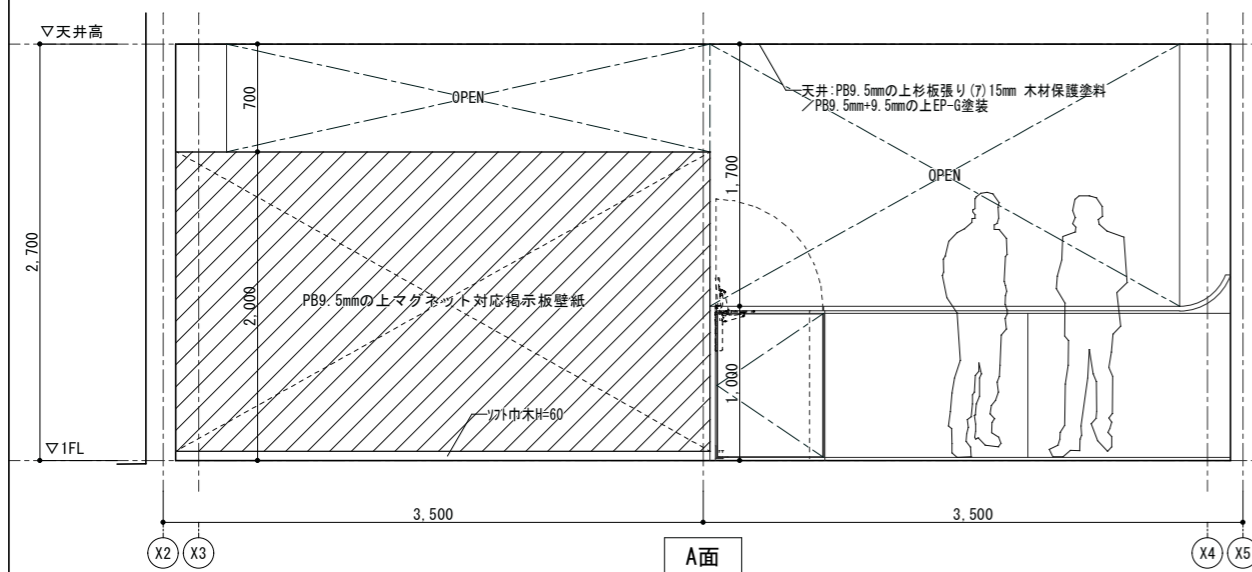


C面

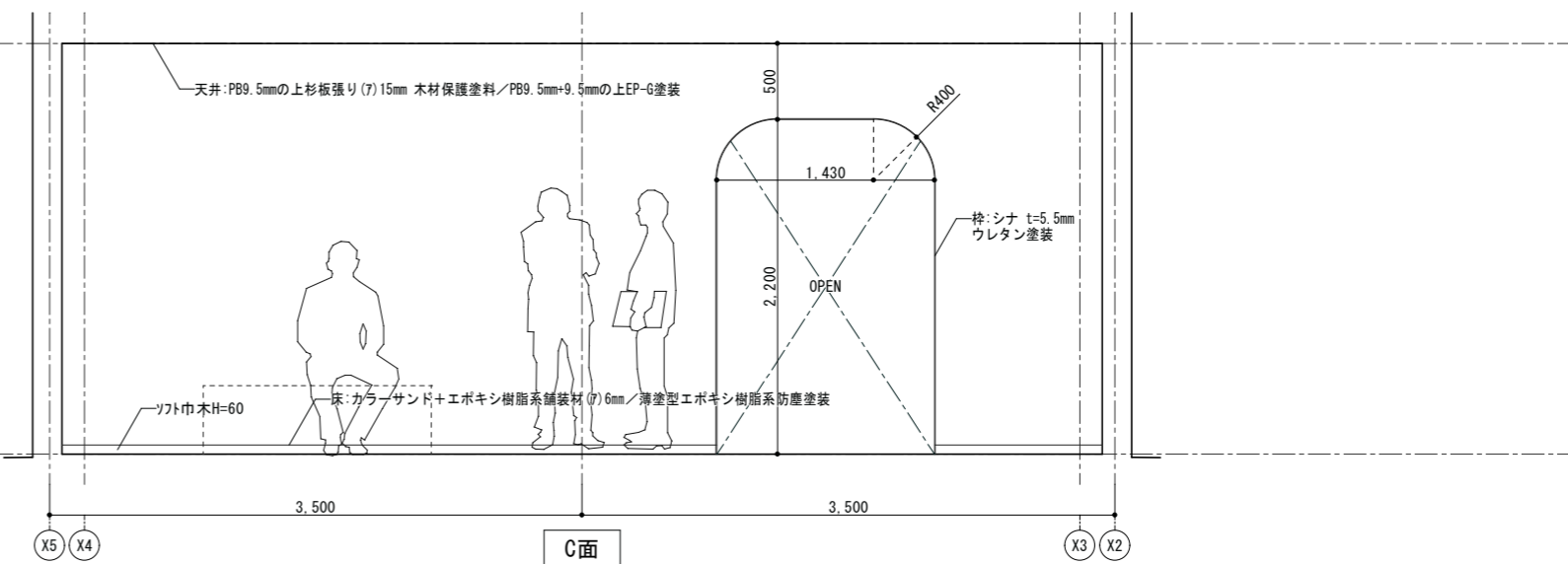


D面

共用スペース



A面

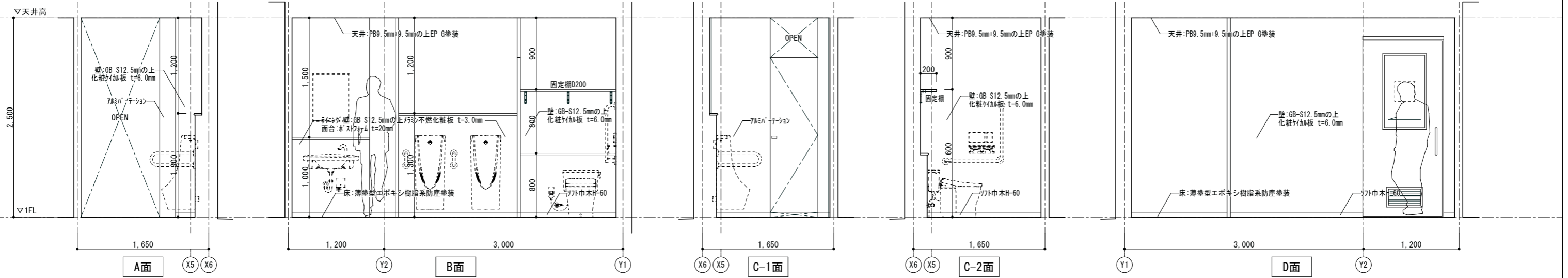


C面

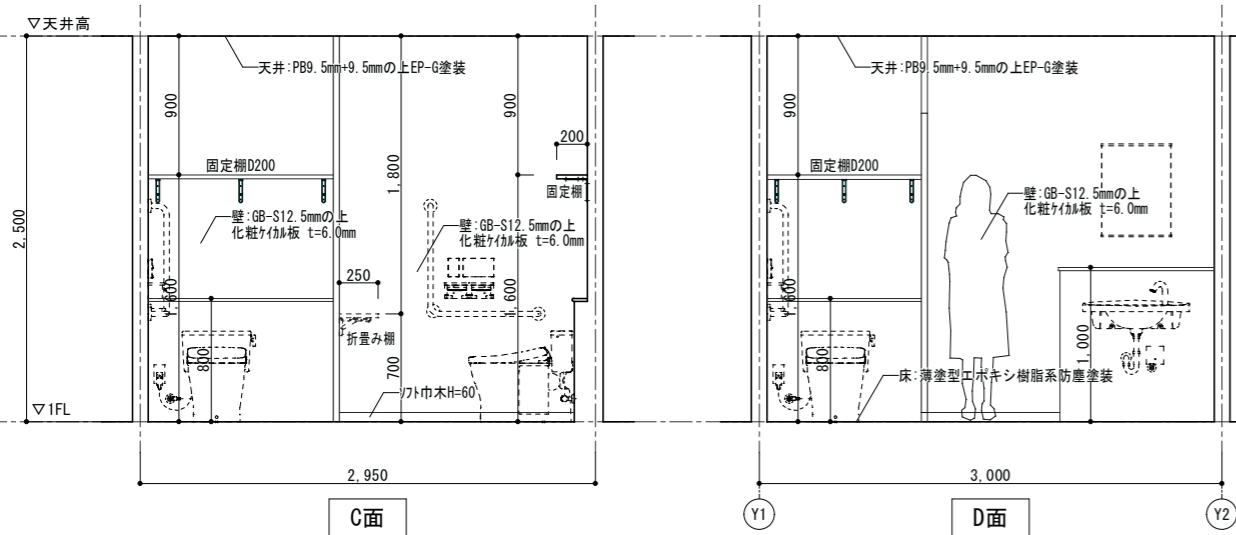
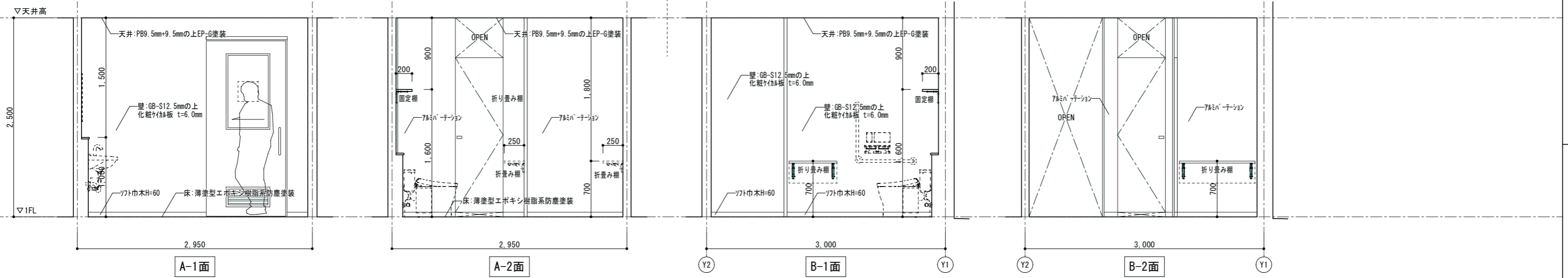
一級建築士事務所 知事登録 第1-4-16号 トラス・アーキテクト株式会社 一級建築士 第344260号 木元 達也	スケートボード等専用施設管理棟 ほか1棟新築本体工事	A-17
	管理棟 展開図 1	
	鹿児島市建設局建築部建築課	

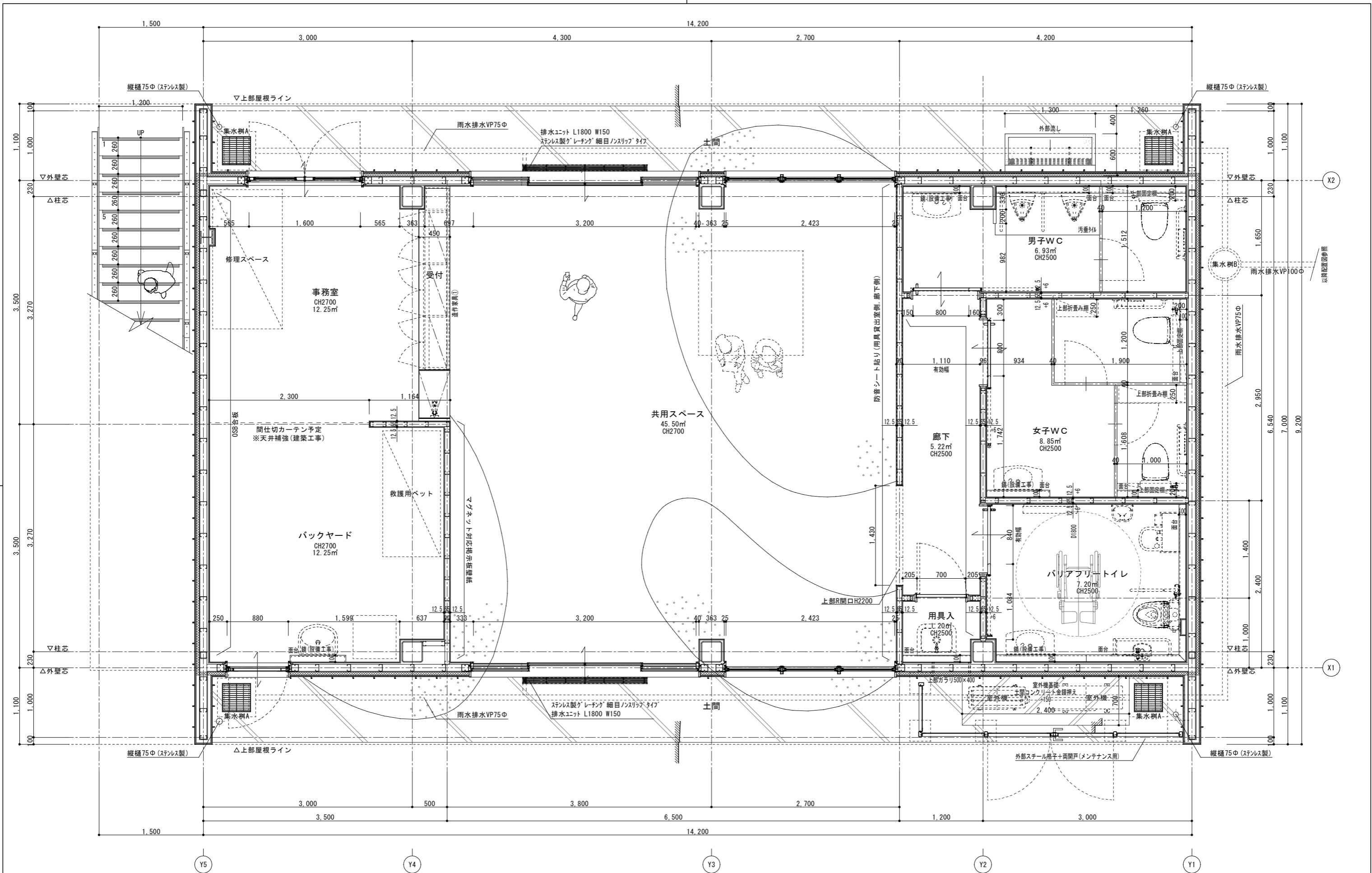


男子WC



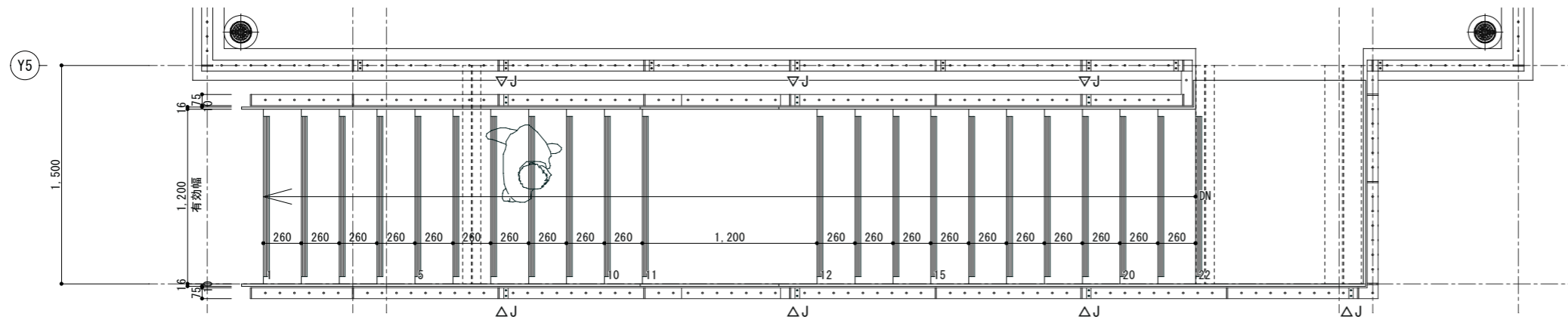
女子WC



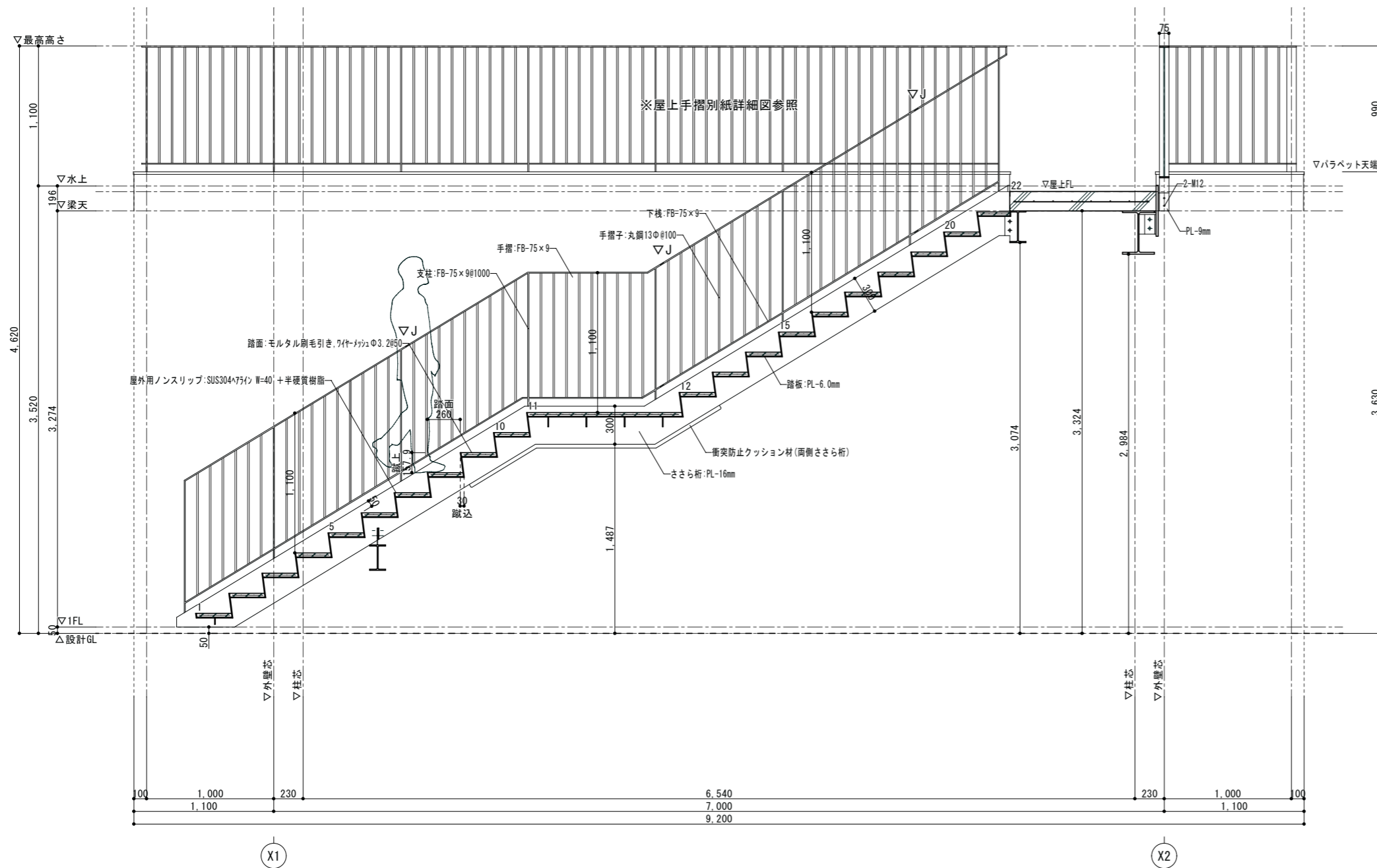


平面詳細図 S=1/50

一級建築士事務所 知事登録 第1-4-16号 トラス・アーキテクト株式会社 一級建築士 第344260号 木元 達也	スケートボード等専用施設管理棟 ほか1棟新築本体工事 管理棟 平面詳細図 鹿児島市建設局建築部建築課	A-20
--	---	------

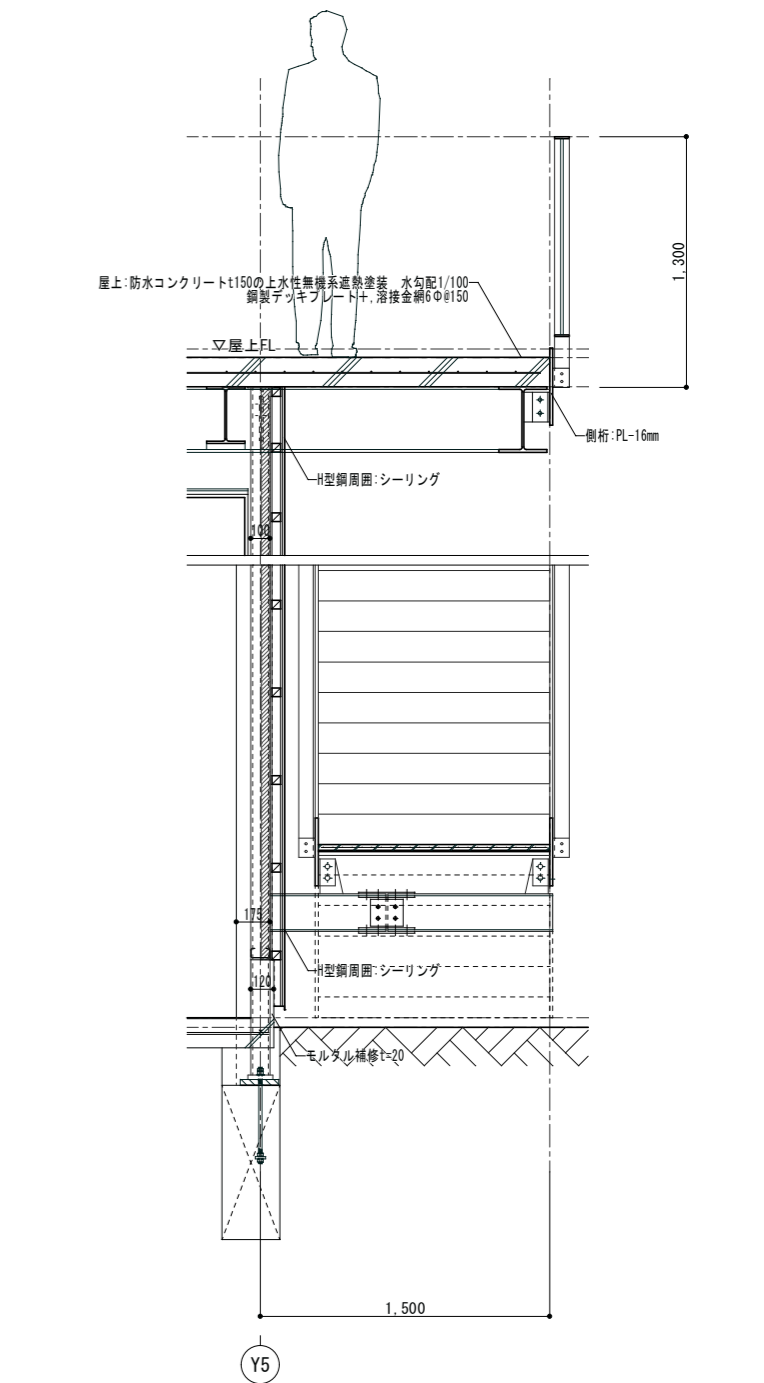
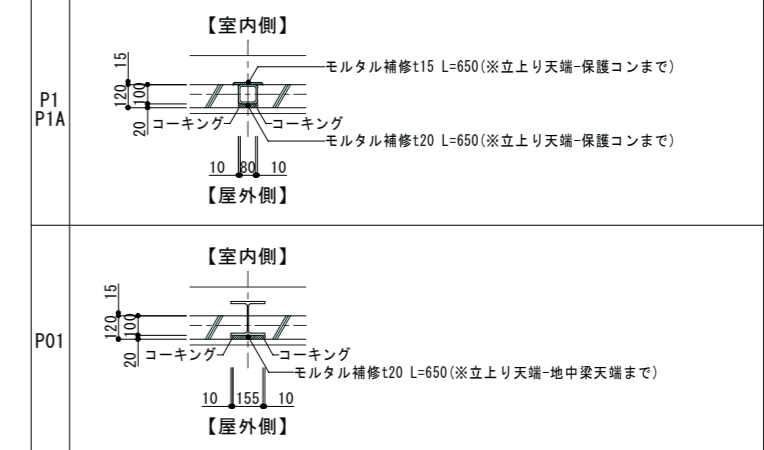


鉄骨階段平面詳細図 S=1/40  
▽J: 手摺ジョイントを示す



鉄骨階段X-X' 断面詳細図 S=1/40

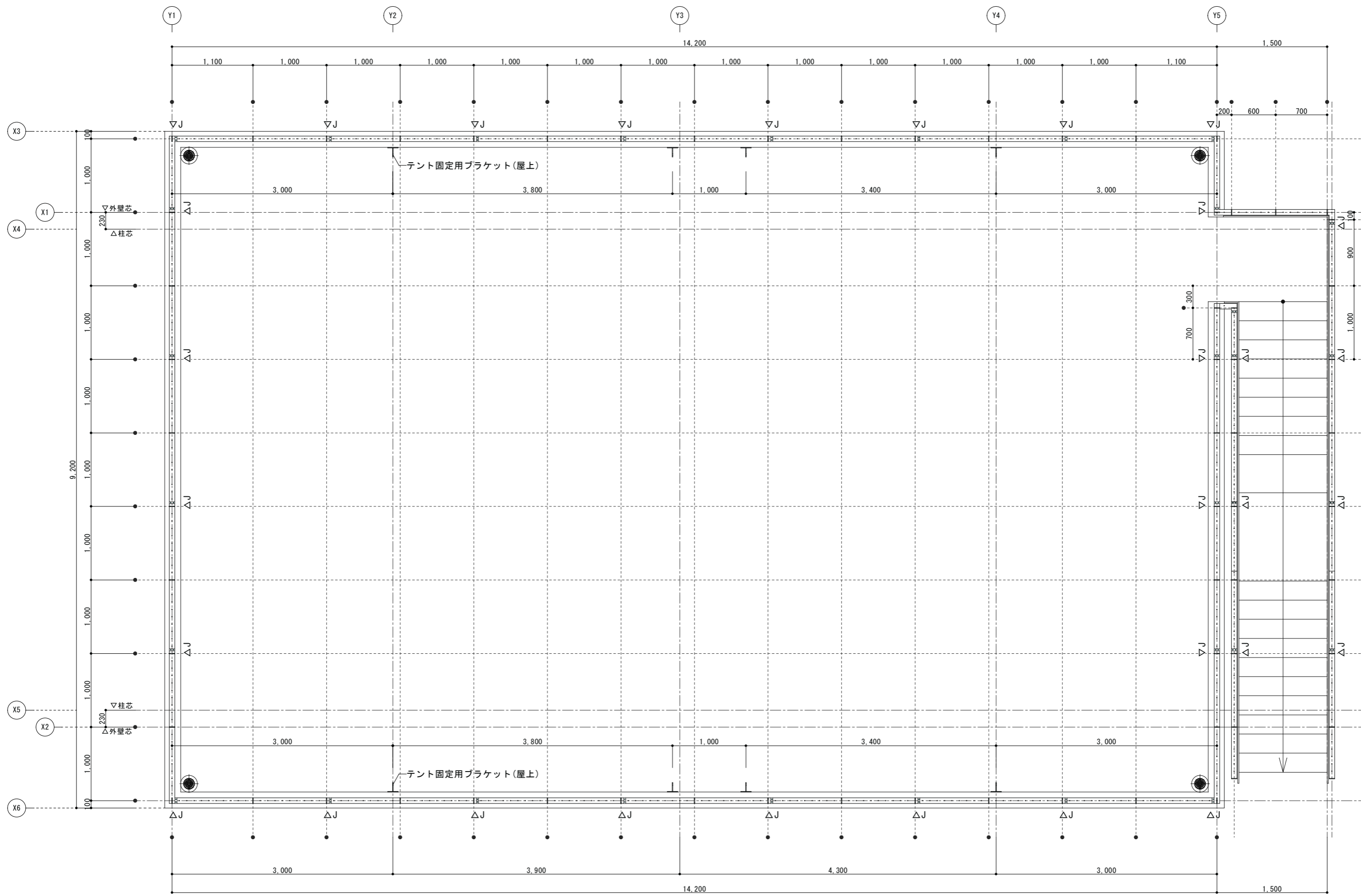
基礎取合 補修範囲平面詳細図 S=1/40



鉄骨階段Y-Y' 断面詳細図 S=1/40

※鋼材は全て溶融亜鉛メッキリン酸処理とする。

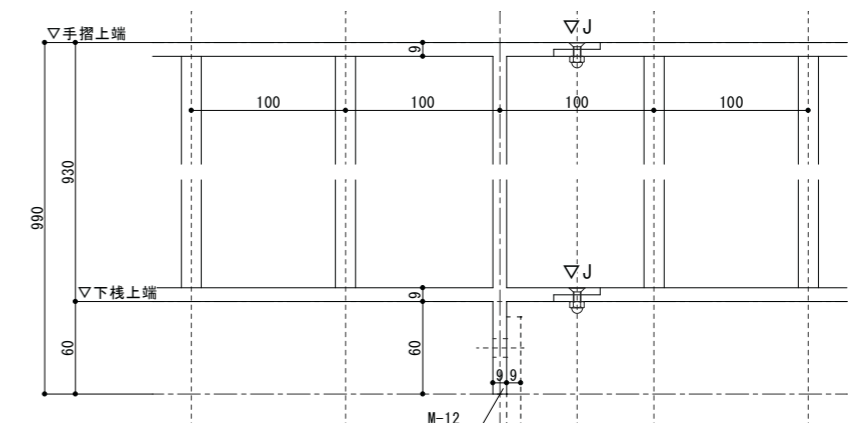
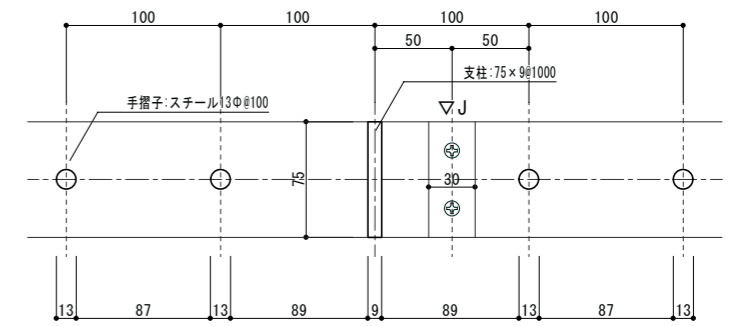
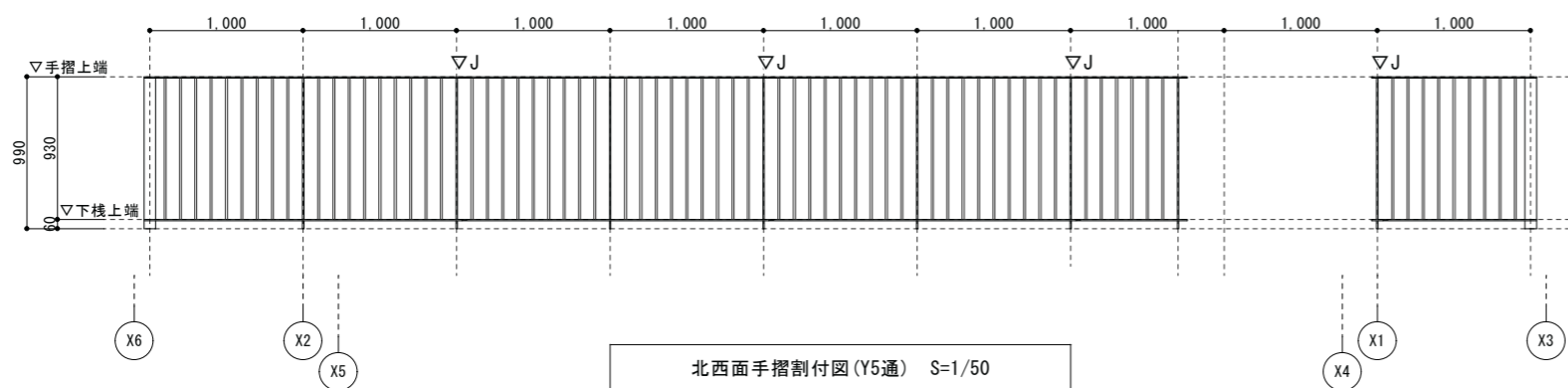
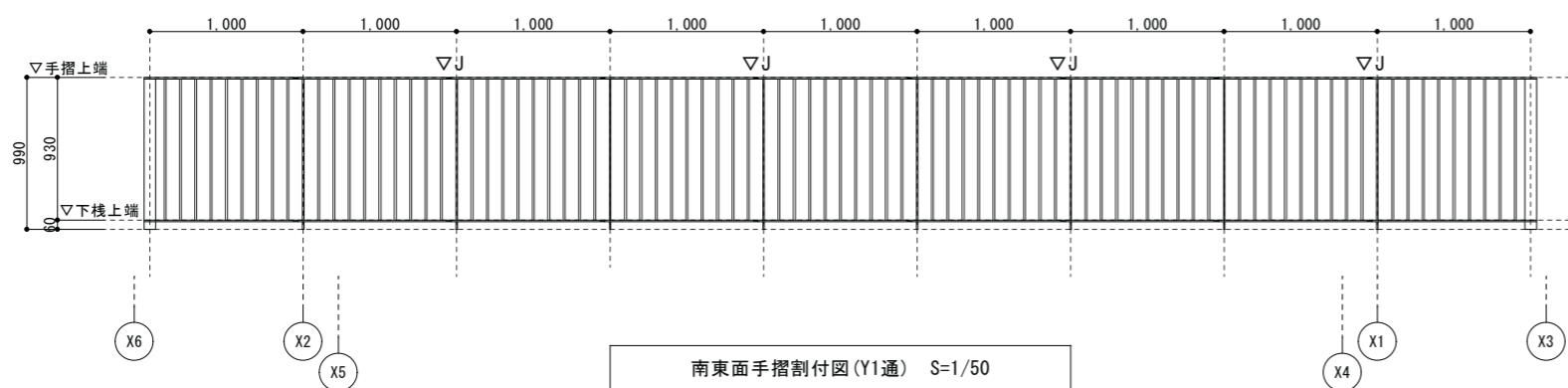
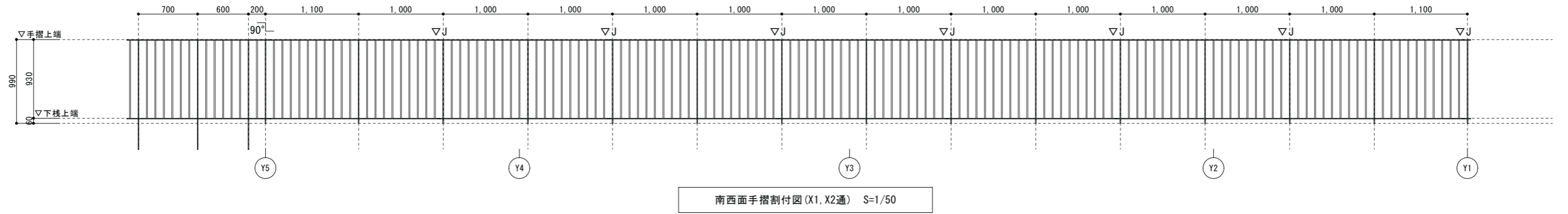
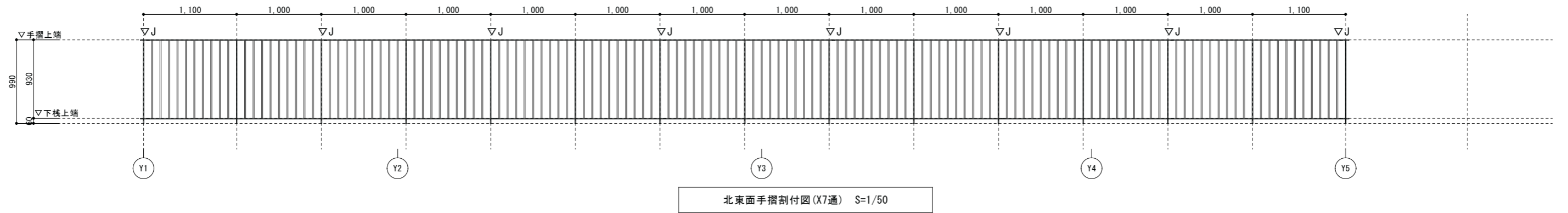
一級建築士事務所 知事登録 第1-4-16号 トラス・アーキテクト株式会社 一級建築士 第344260号 木元 達也	スケートボード等専用施設管理棟 ほか1棟新築本体工事 管理棟 階段詳細図 鹿児島市建設局建築部建築課	A-21
--	---	------



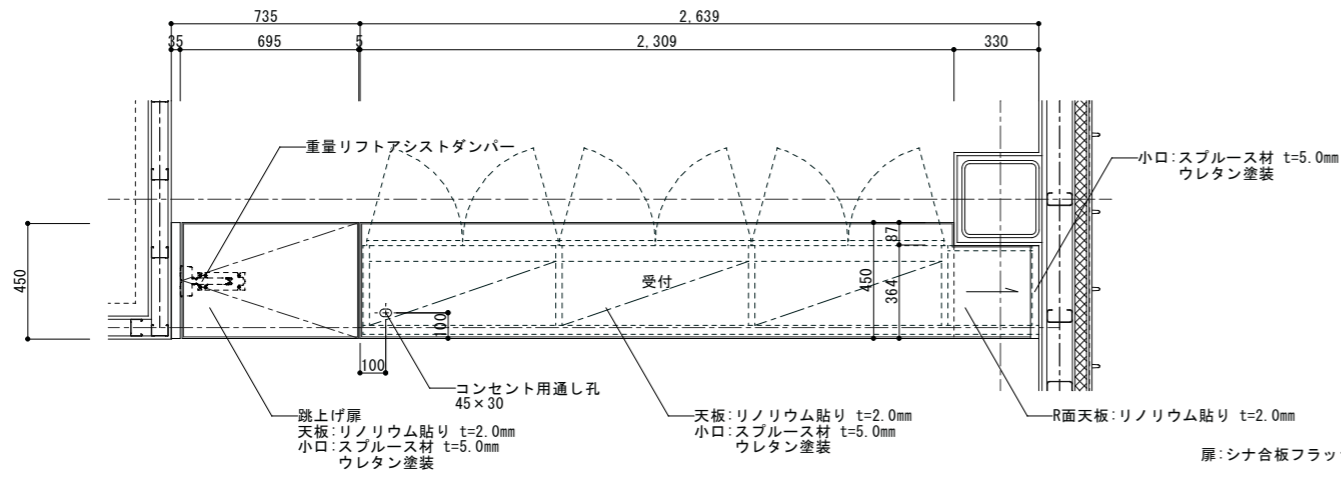
全体手摺割付図 S=1/50

▽J: 手摺ジョイントを示す

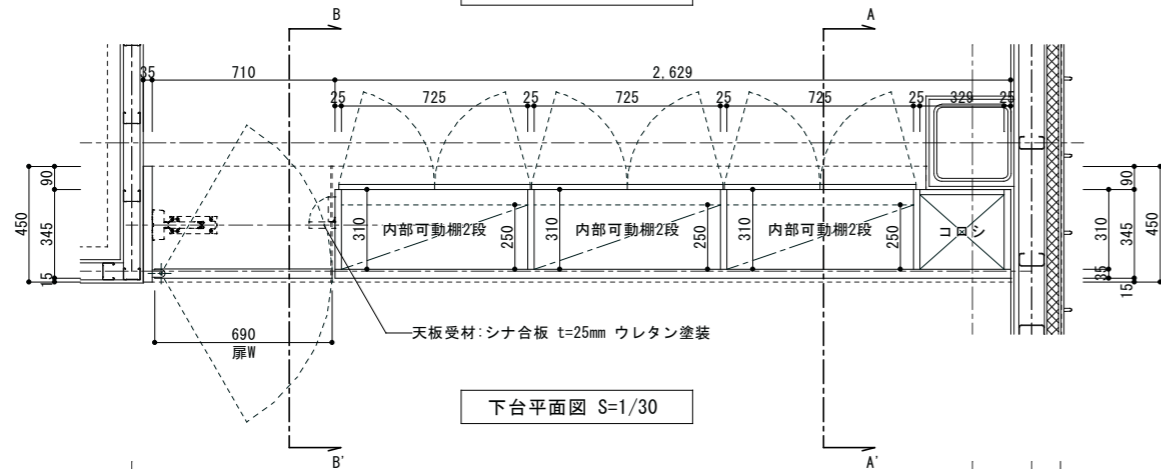
一級建築士事務所 知事登録 第1-4-16号 トラス・アーキテクト株式会社 一級建築士 第344260号 木元 達也	スケートボード等専用施設管理棟 ほか1棟新築本体工事	
	管理棟 屋上手摺詳細図 1	A-22
鹿児島市建設局建築部建築課		



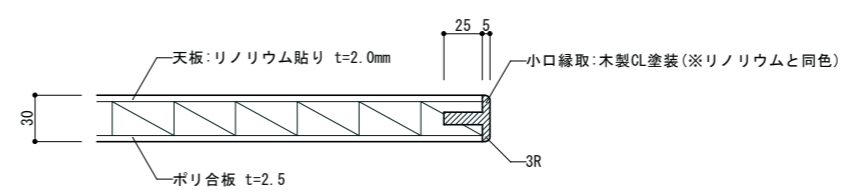
パラペットとの取合いについては、別紙(A-31)B-6参照



平面図 S=1/30



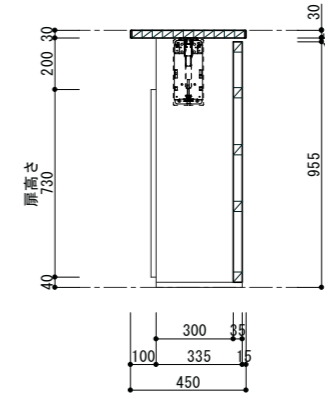
下台平面図 S=1/30



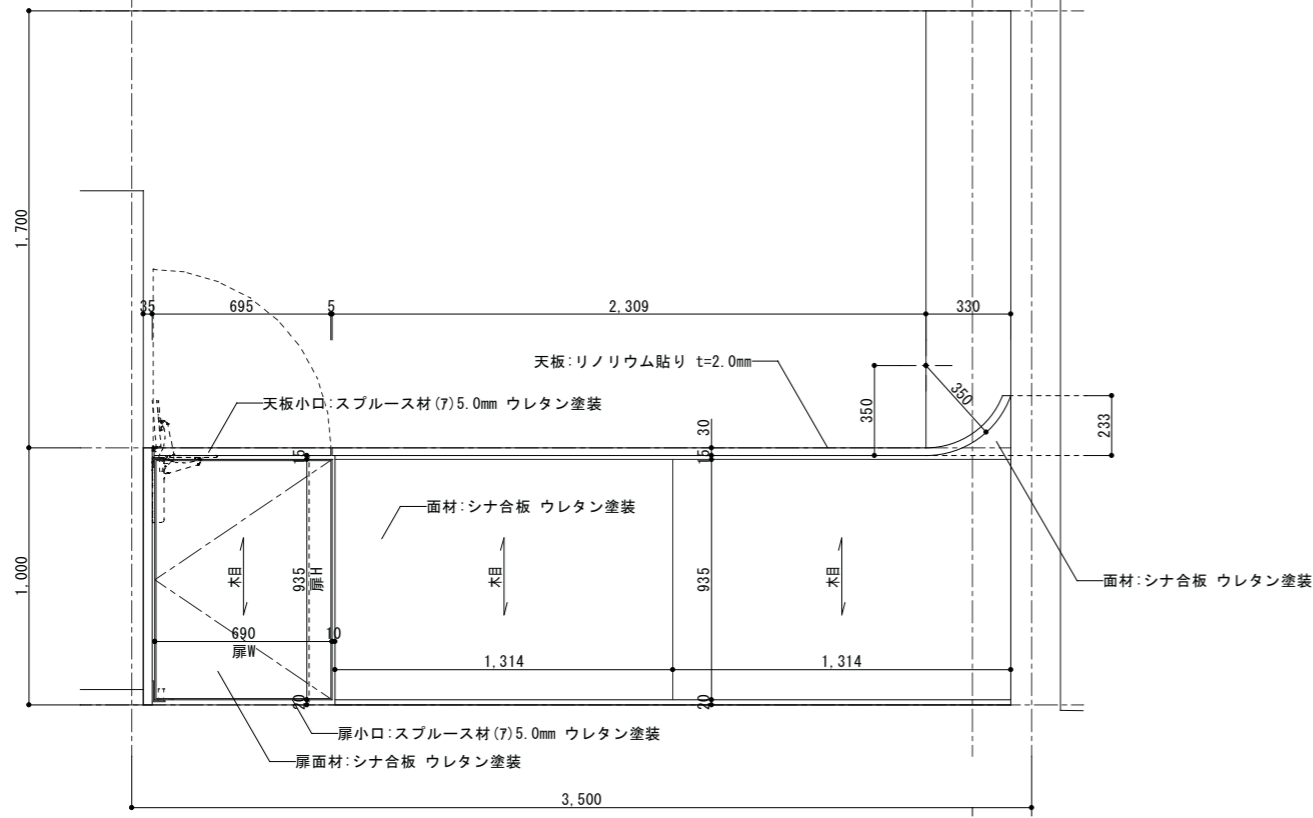
小口詳細図 S=1/5



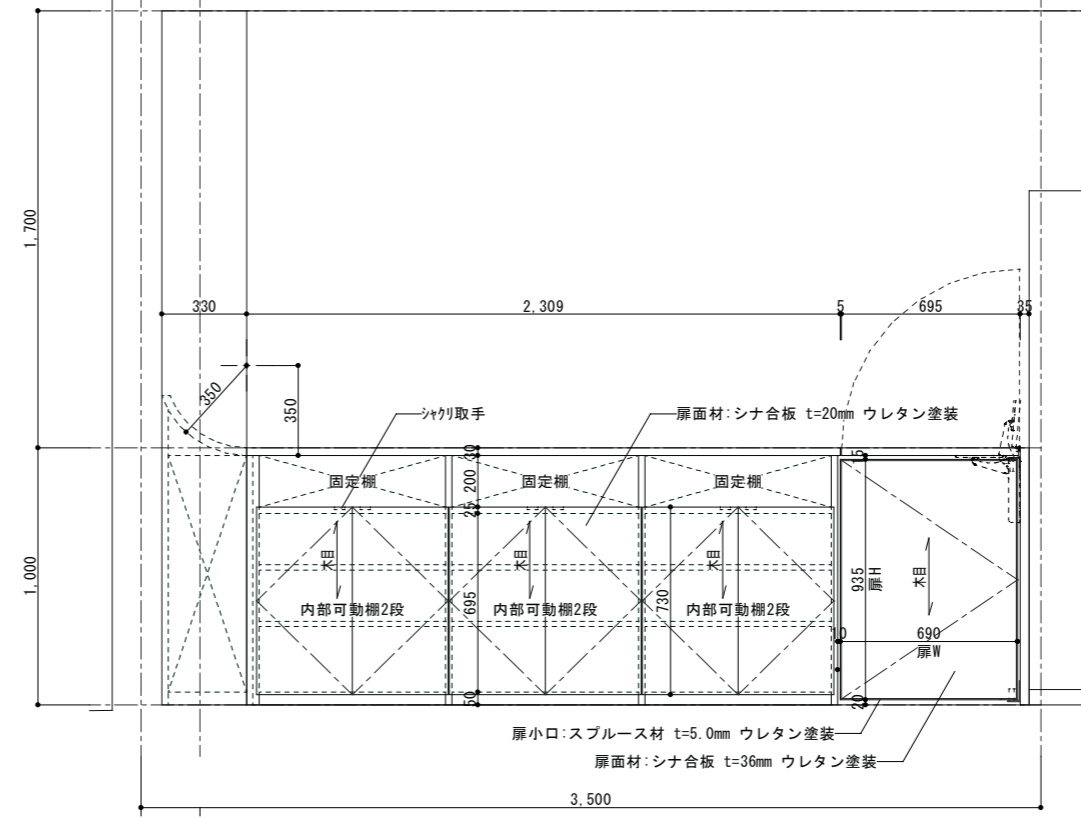
A-A' 断面図 S=1/30



B-B' 断面図 S=1/30



正面図 S=1/30



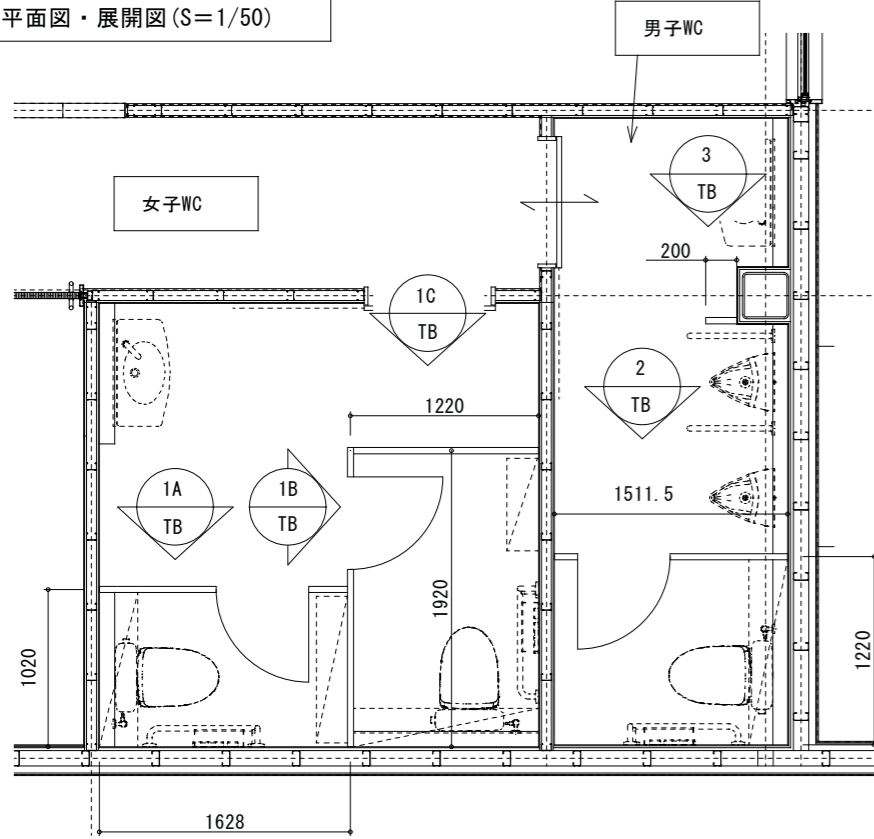
後面図 S=1/30

造作家具① 受付カウンター

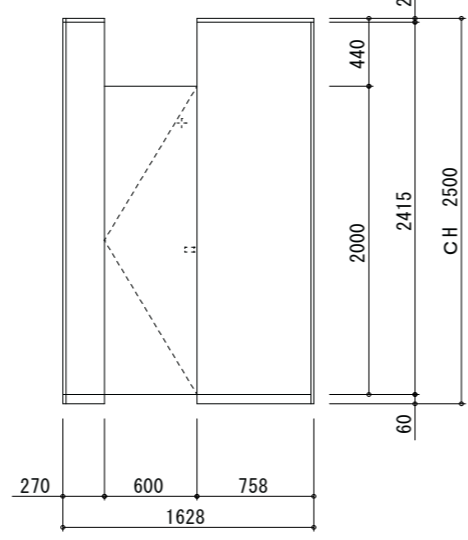
天板	天板:リノリウム貼り t=2.0mm 小口:スプルー材 t=5.0mm ウレタン塗装(クリア五分艶・一部着色)
下台	シナ合板フラッシュ t=25mm ウレタン塗装(クリア五分艶)
背板	シナ合板フラッシュ t=35mm ウレタン塗装(クリア五分艶)
扉	シナ合板フラッシュ t=20mm ウレタン塗装(クリア五分艶) 小口:スプルー材 t=5.0mm
固定棚	ポリ合板25mm(グレー) 下地ランバーコア合板
扉内部	ポリ合板20mm(グレー) 下地ランバーコア合板
内部棚板	ポリ合板20mm(グレー) 下地ランバーコア合板
備考	グレティヒンジ・重量リフトアシストダンパー 長丁番・スライド丁番 透明当たり止め ウレタンクッション



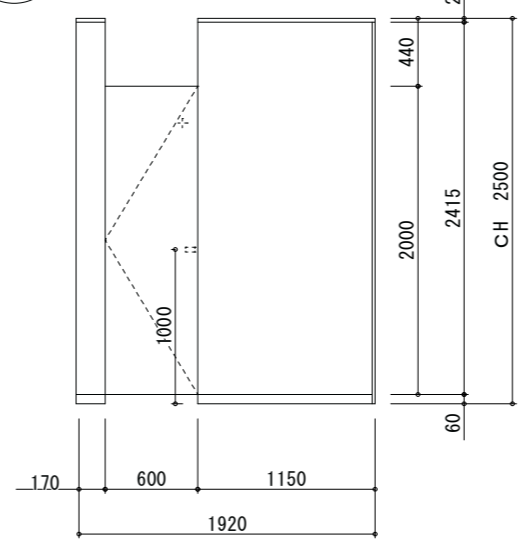
平面図・展開図 (S=1/50)



1A  
TB



1B  
TB

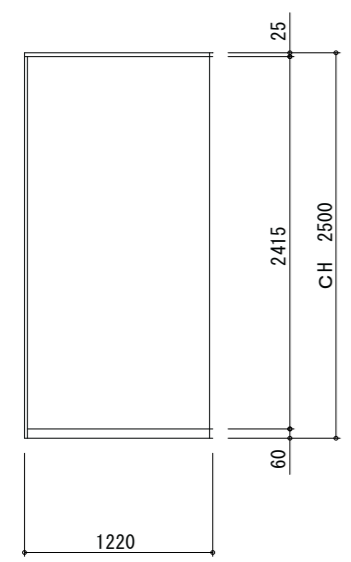


◇仕様表

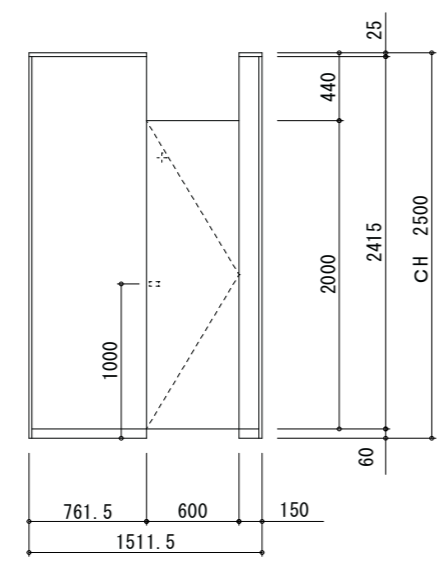
項目	部材	材 料 (板厚mm)
パネル	パネル表面材	高圧メラミン樹脂化粧板 (下地: MDF)
	芯材	ペーパーコア
	目板/戸当り	アルミ押出形材 <アルマイトクリア処理仕上>
付属品	巾木/床レール	ステンレス 0.8mm <ヘアライン仕上>
	天井レール	亜鉛めっき鋼板 1.2mm <焼付塗装仕上>
	壁面レール/コーナーカバー	アルミ押出形材 <アルマイトクリア処理仕上>
	ヒンジ	中心吊グレビティヒンジ
	ロック	非常時表示付スライドロックHK
その他金物	戸当り帽子掛けSK	

断面図: (S=1/5)

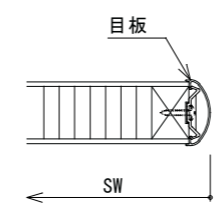
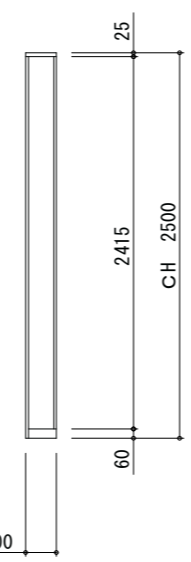
1C  
TB



2  
TB

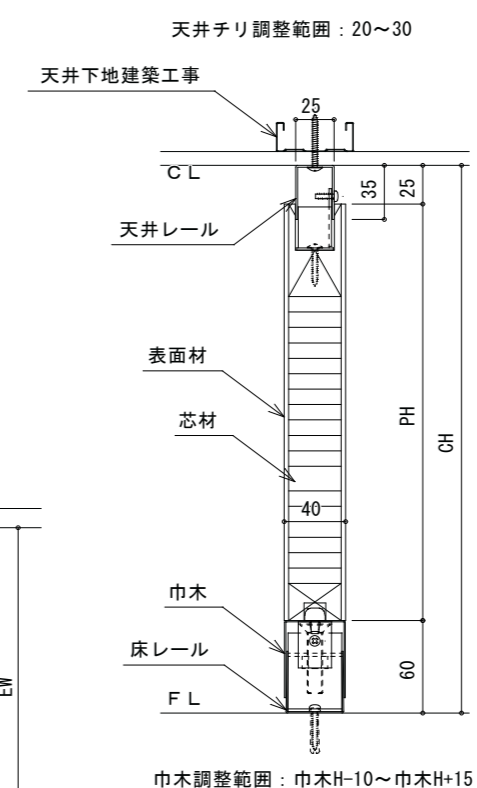


3  
TB

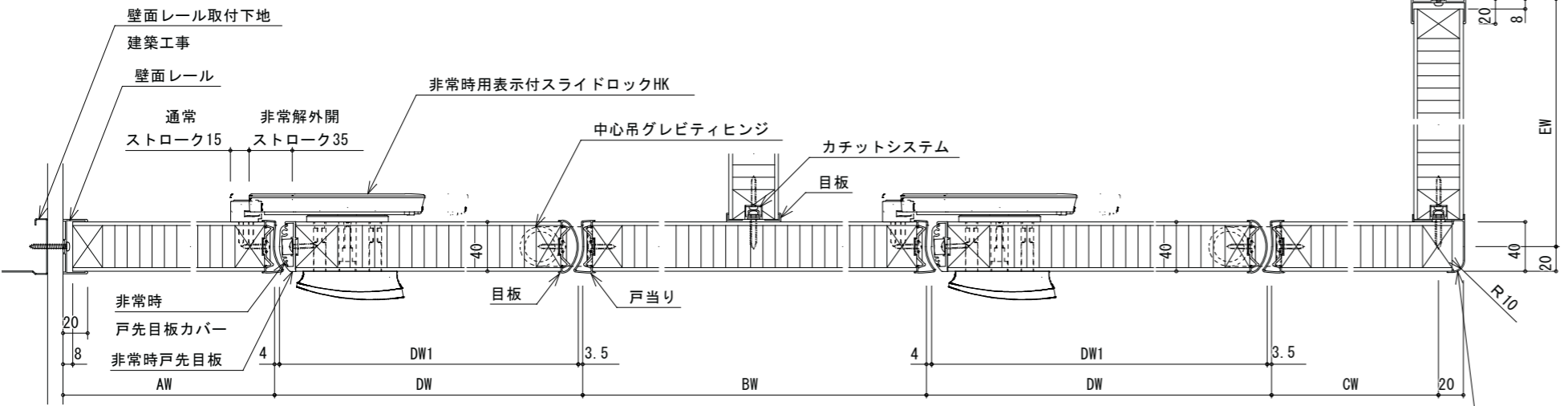
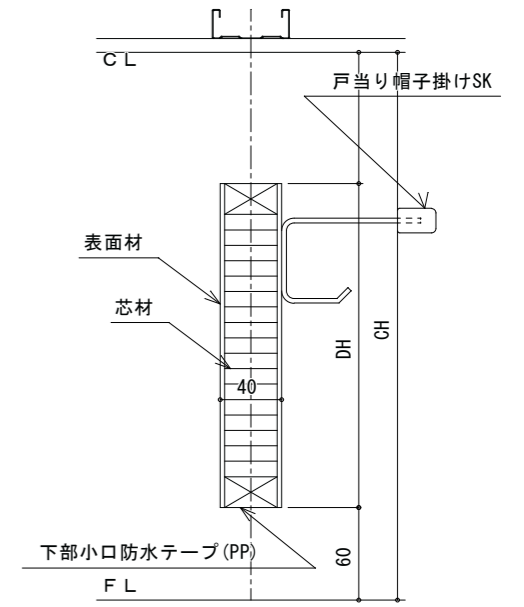


スクリーン端部

パネル詳細



扉詳細

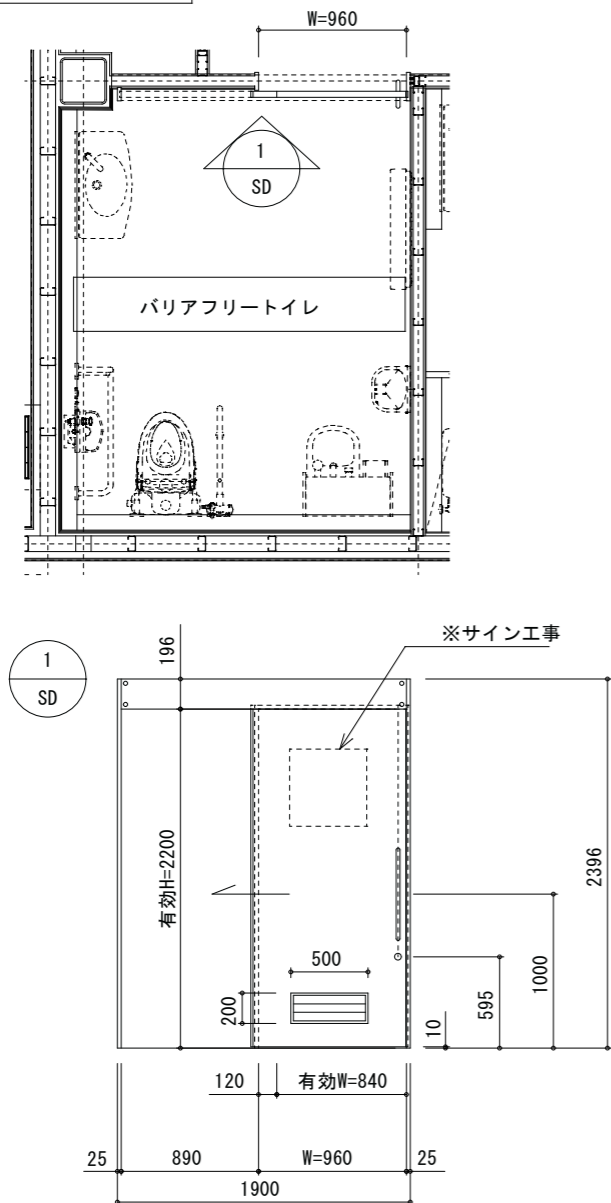


参考

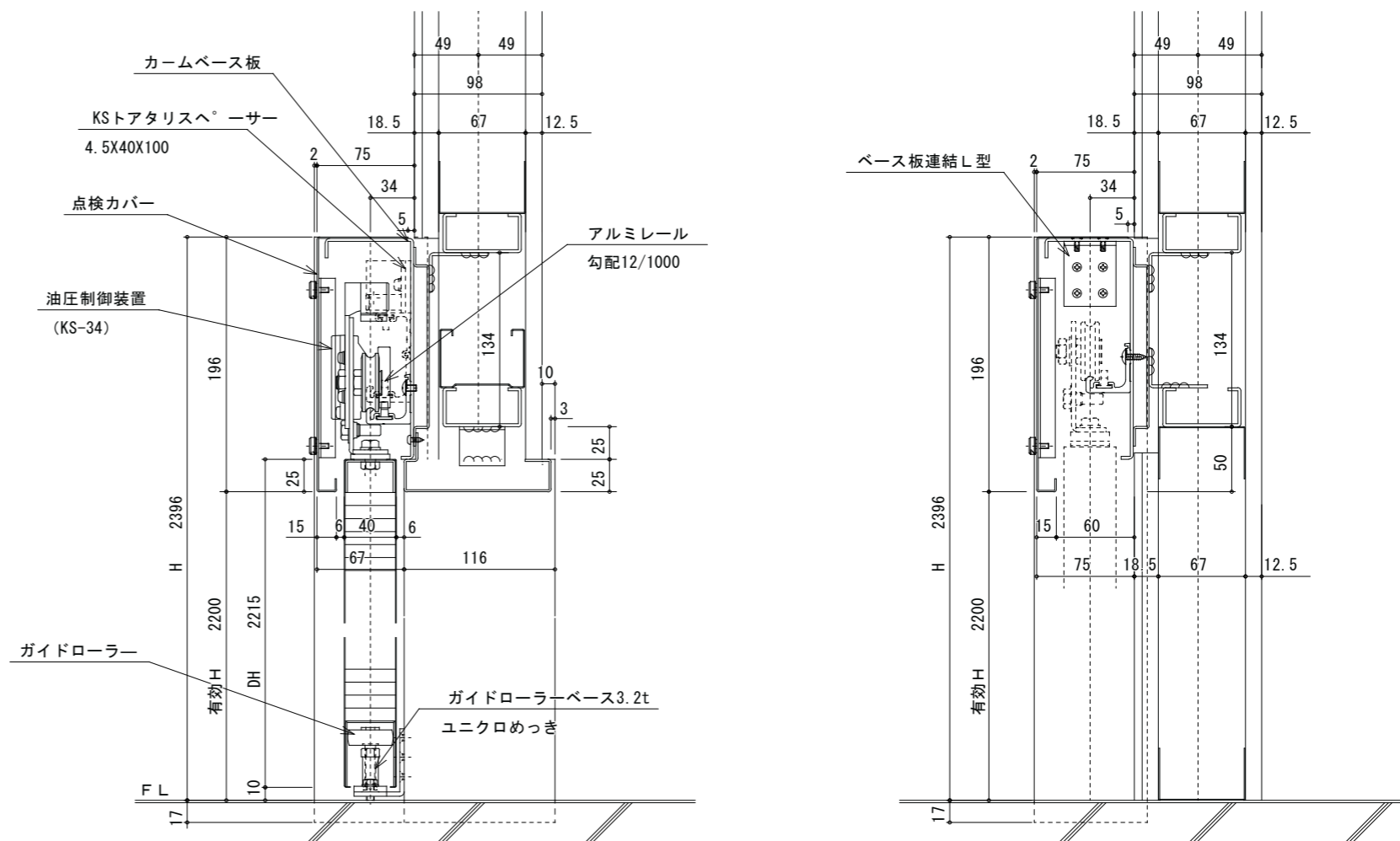
内開きトイレ用扉  
非常時外開き対応ドア

内開きトイレ用扉  
非常時外開き対応ドア

平面図・展開図(S=1/50)

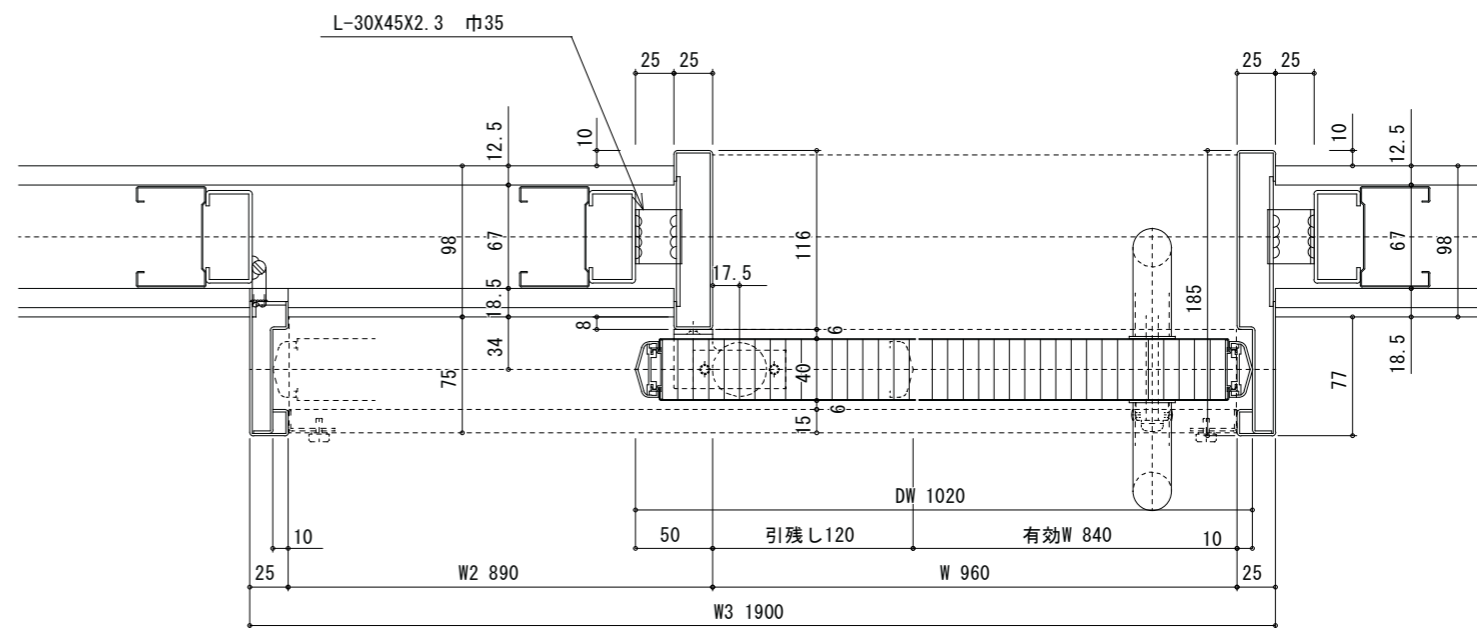


断面図 : (S=1/5)

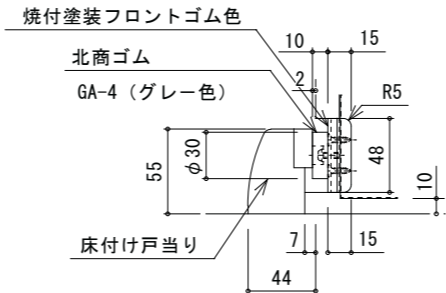
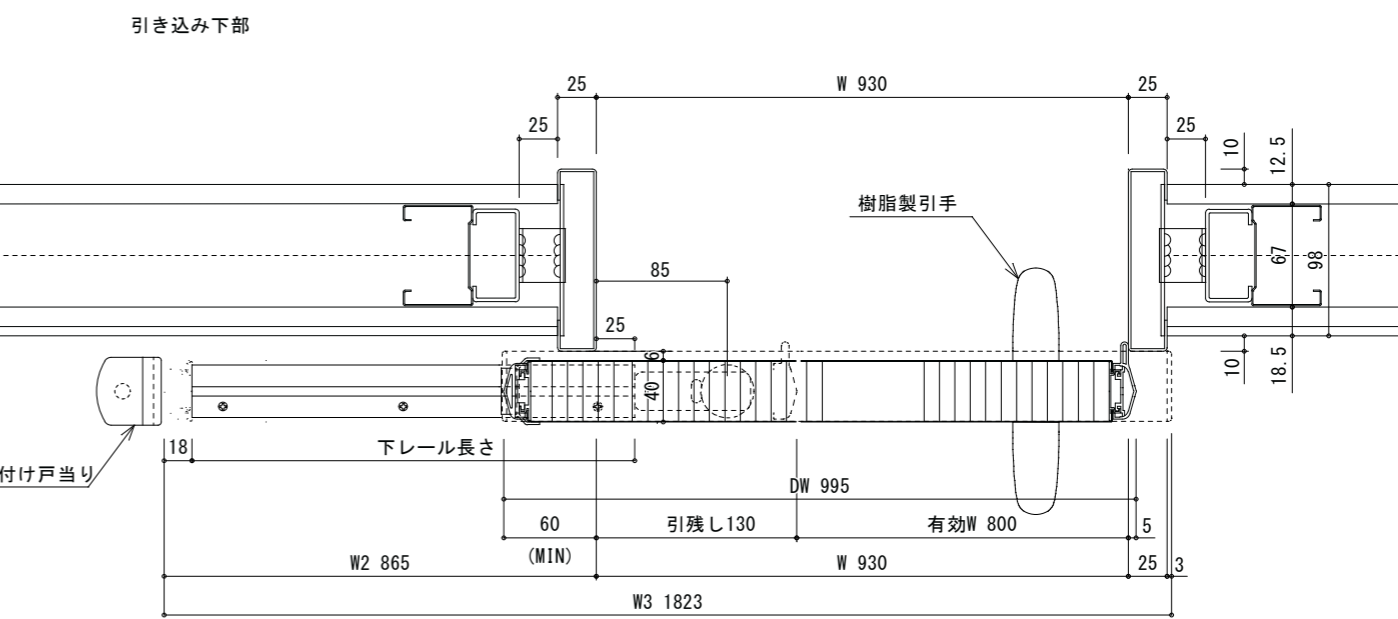
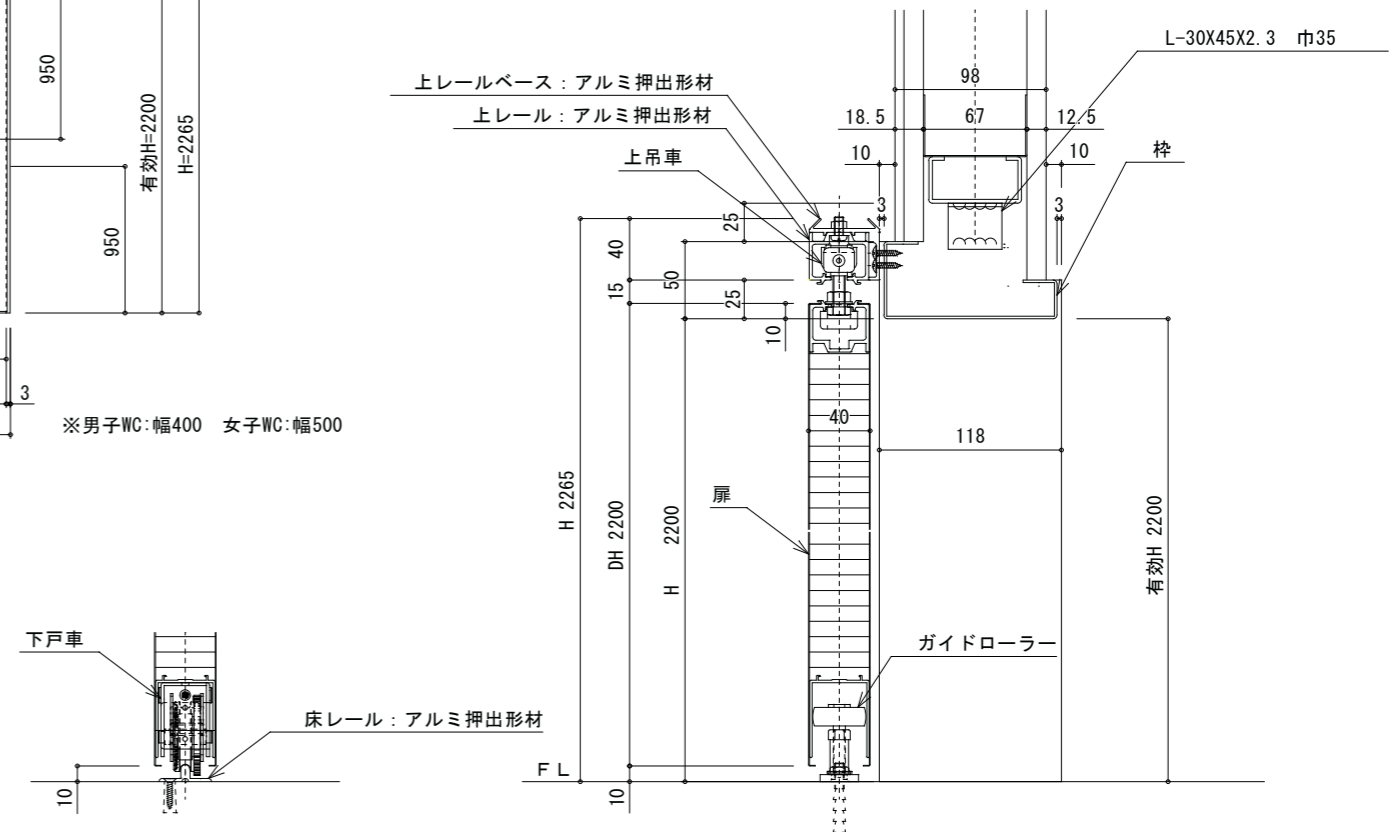
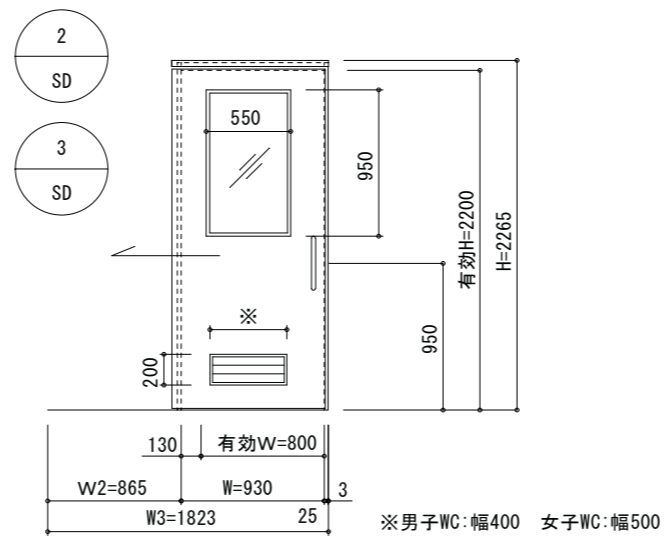
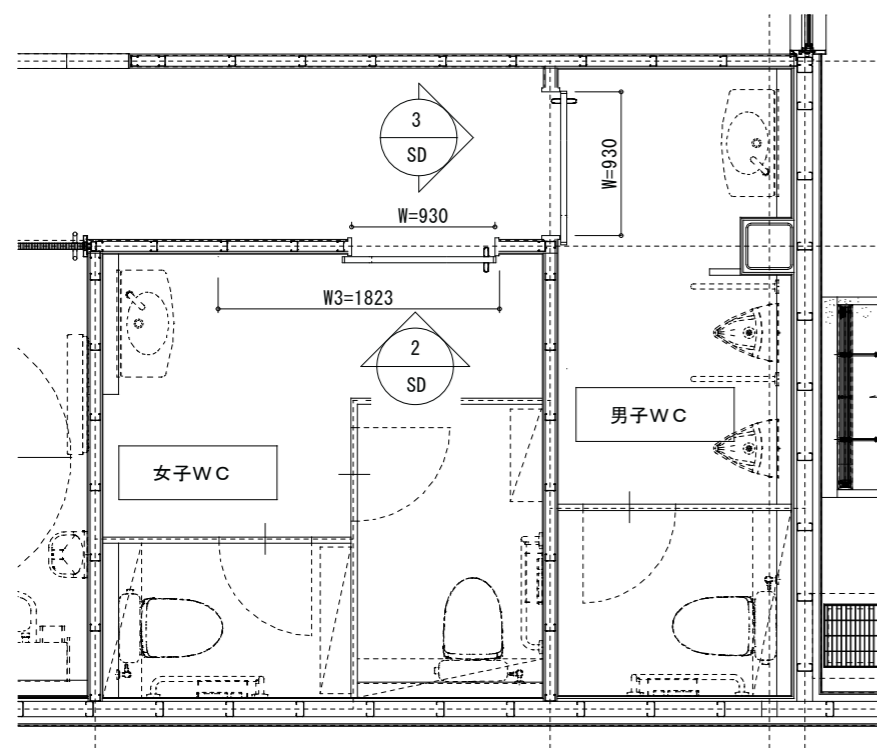


◇仕様表

項目	部材	材料(板厚mm)
駆動装置	駆動方式	油圧制御装置
	カムベース板	亜鉛めっき鋼板 2.3mm <防錆塗装仕上>
	カムレール	アルミ押出形材 <アルマイト処理仕上>
	ハンガー戸車	樹脂製戸車 ブラケットはめつき仕上
枠	先付け枠	亜鉛めっき鋼板 1.6mm <焼付塗装仕上>
	点検カバー	冷間圧延鋼板 1.2mm <焼付塗装仕上>
扉	パネル表面材	亜鉛めっき鋼板 0.6mm <焼付塗装仕上>
	芯材	ペーパーコア
	フロントゴム	ポリ塩化ビニル <ブラック色>
金物	ロック	チューブラ本締錠
	取手	SUS製・φ25 丸棒ストレート L=600
ガラリ	ガラリ	アルミ押出形材 <焼付塗装仕上>



参考

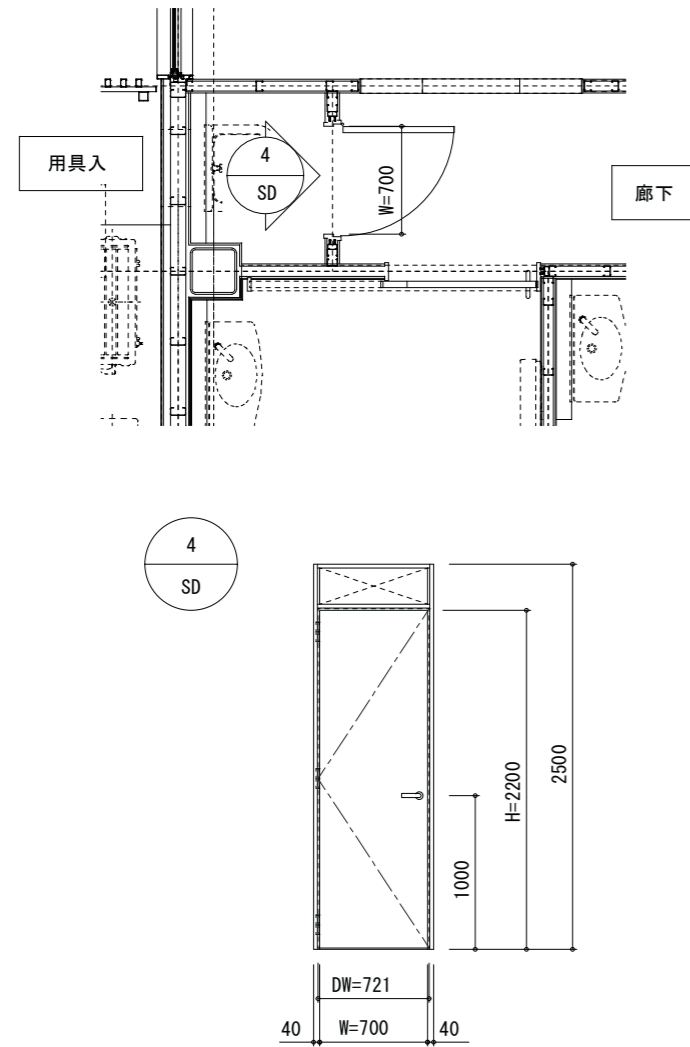


◇仕様表

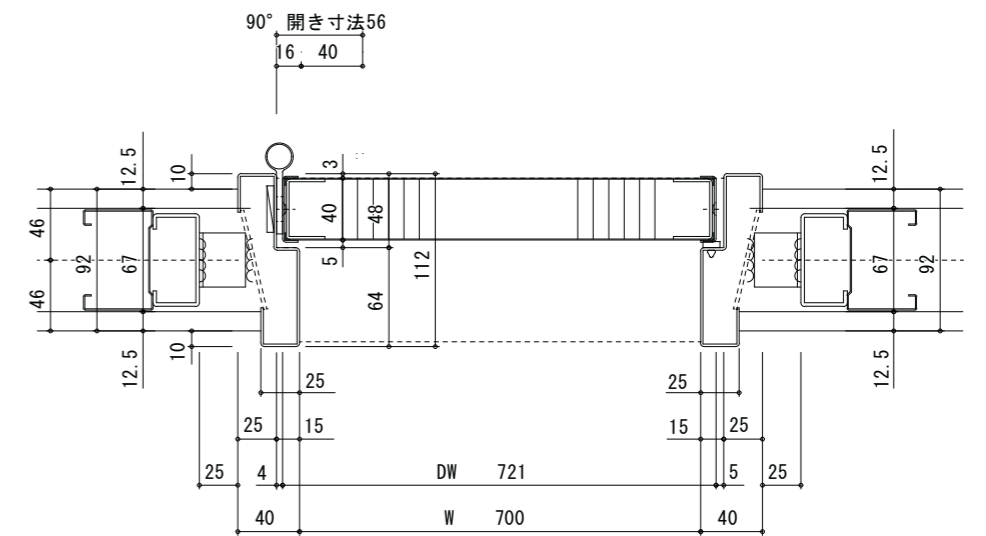
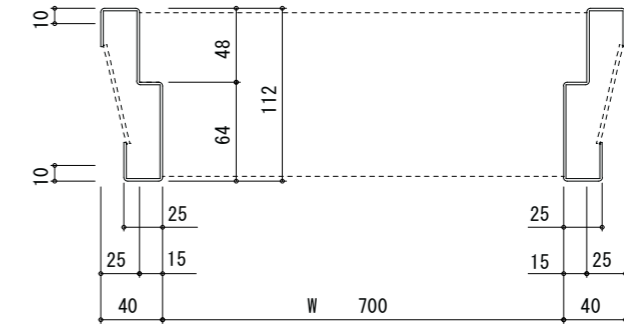
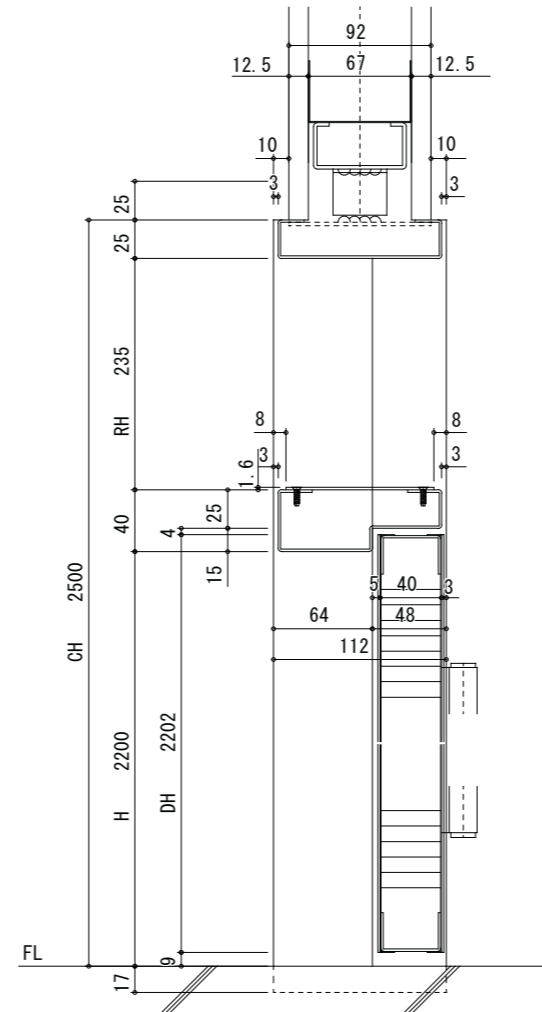
項目	部材	材料(板厚mm)
枠	三方枠	亜鉛めっき鋼板 1.6mm
	上レール	アルミ押出型材 <アルマイト処理仕上><焼付塗装仕上>
	小口キャップ	樹脂 (ABS) <ブラック色>
	上レールベース	アルミ押出型材 <アルマイト処理仕上><焼付塗装仕上>
	床レール	アルミ押出型材 <ステンカラー仕上>
扉	パネル表面材	亜鉛めっき鋼板 0.6mm <焼付塗装仕上>
	芯材	ペーパーコア
	フロントゴム	ポリ塩化ビニル (PVC)
金物	取手	樹脂製引手
	上吊車	ブラケット: 冷間圧延鋼板2.0mm 車輪: 樹脂 (POM)
	下戸車	ブラケット: 冷間圧延鋼板2.0mm 車輪: 樹脂 (POM)
切窓 ガラリ	切窓・ガラリ	アルミ押出型材 <焼付塗装仕上>
	ガラス押え	ポリ塩化ビニル 対応ガラス厚3~6mm<グレー色>

参考

平面図・展開図 (S=1/50)



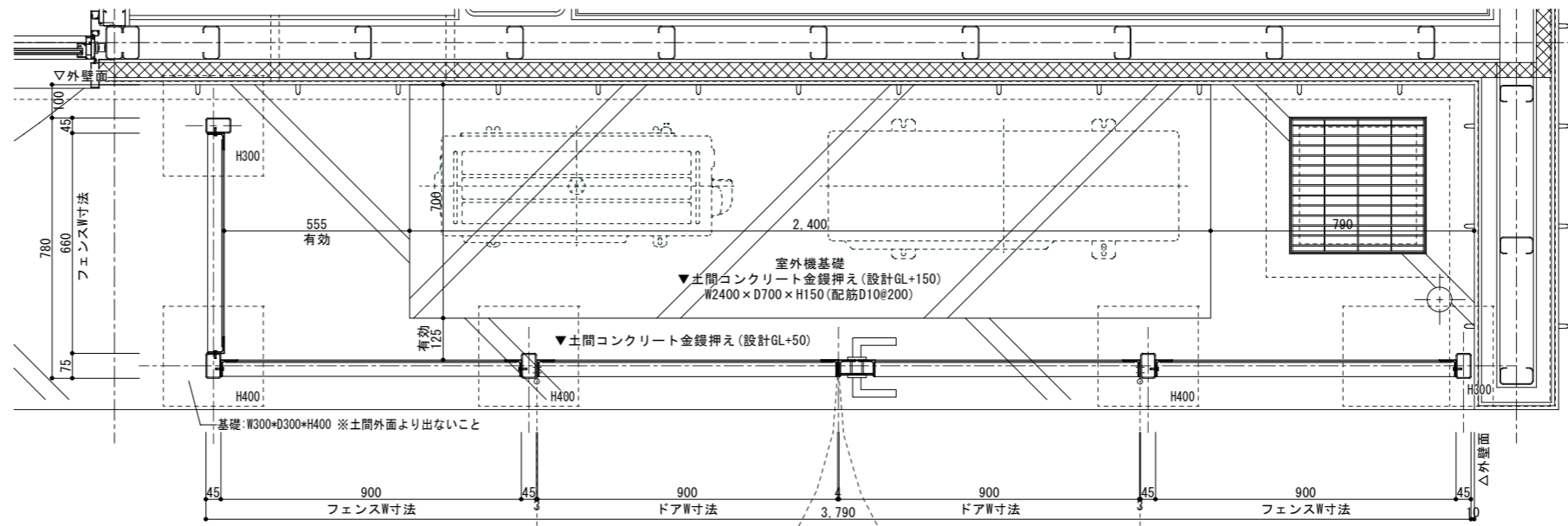
断面図 : (S=1/5)



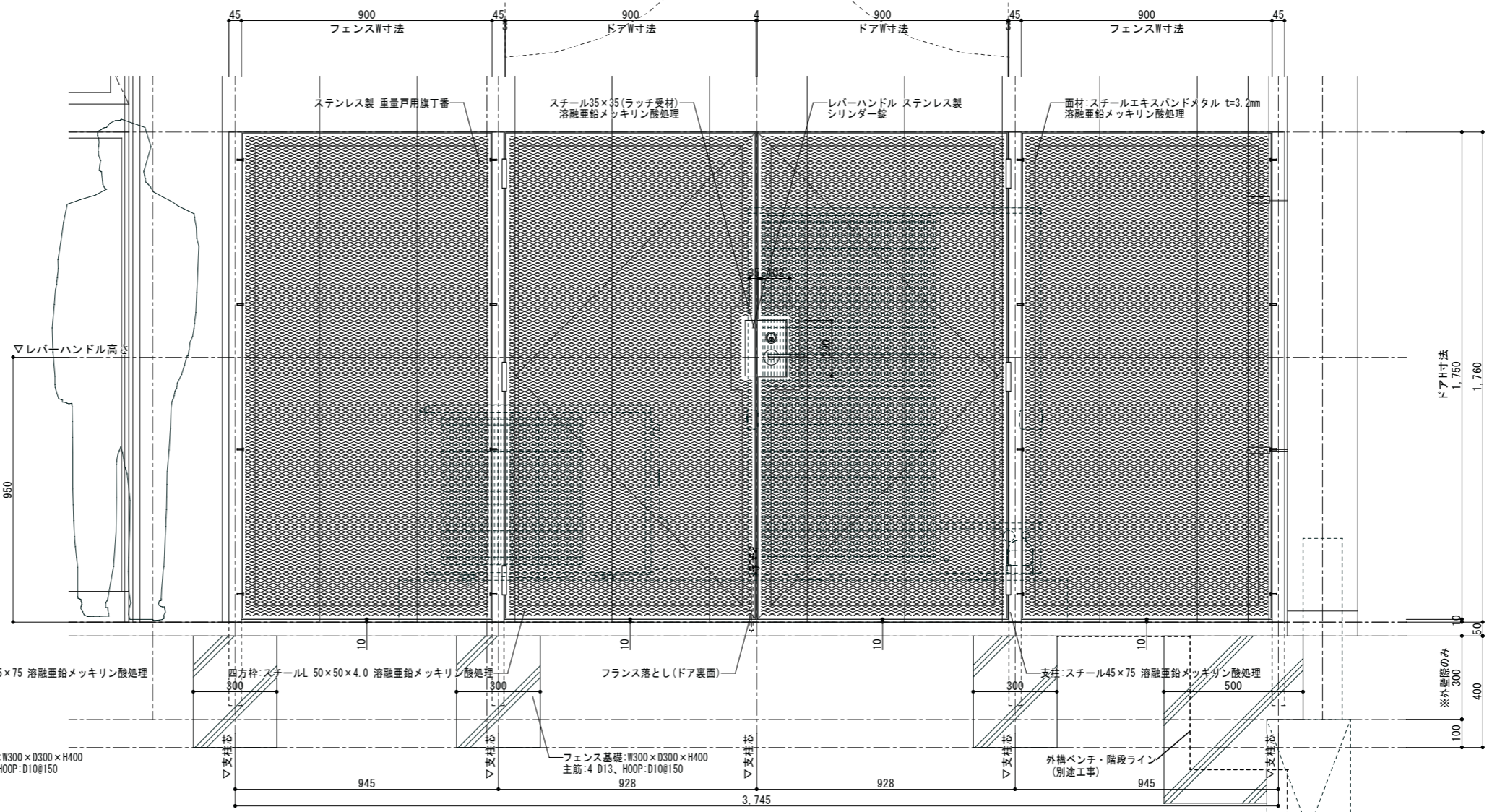
◇仕様表

項目	部材	材料(板厚mm)
枠	ドア枠	亜鉛めっき鋼板 1.6mm <焼付塗装仕上>
	奮摺	ステンレス
扉	パネル表面材	亜鉛めっき鋼板 0.6mm <焼付塗装仕上>
	芯材	ペーパーコア
	目板	亜鉛めっき鋼板 1.2mm <焼付塗装仕上>
金物	ロック	美和 LA錠/ゴール LX錠
	ドアクローザ	ニュースター 7000シリーズ
	吊り金物	旗丁番 (ステンレス)

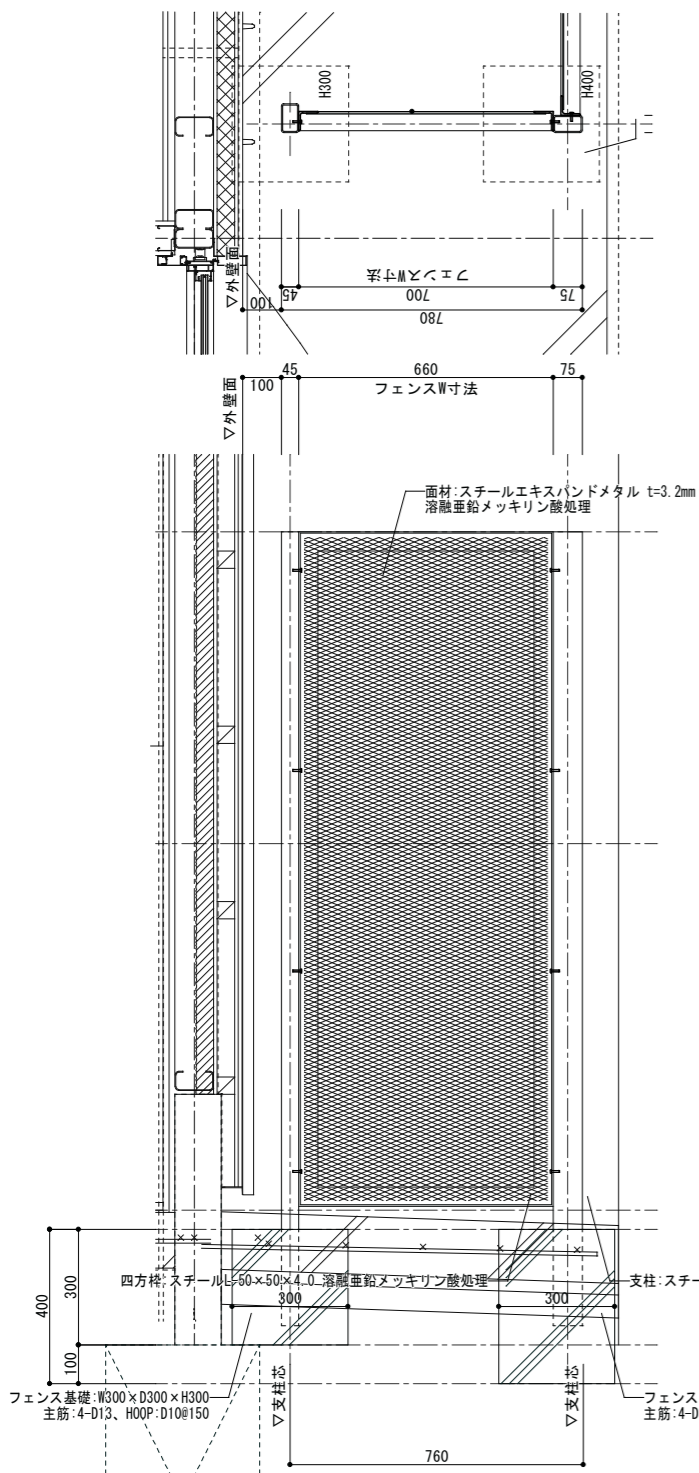
参考



平面図 S=1/20

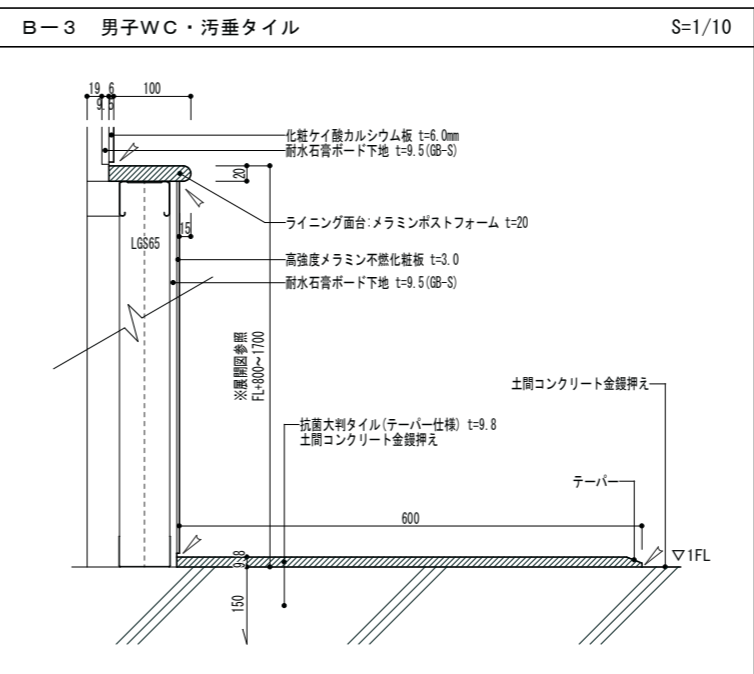
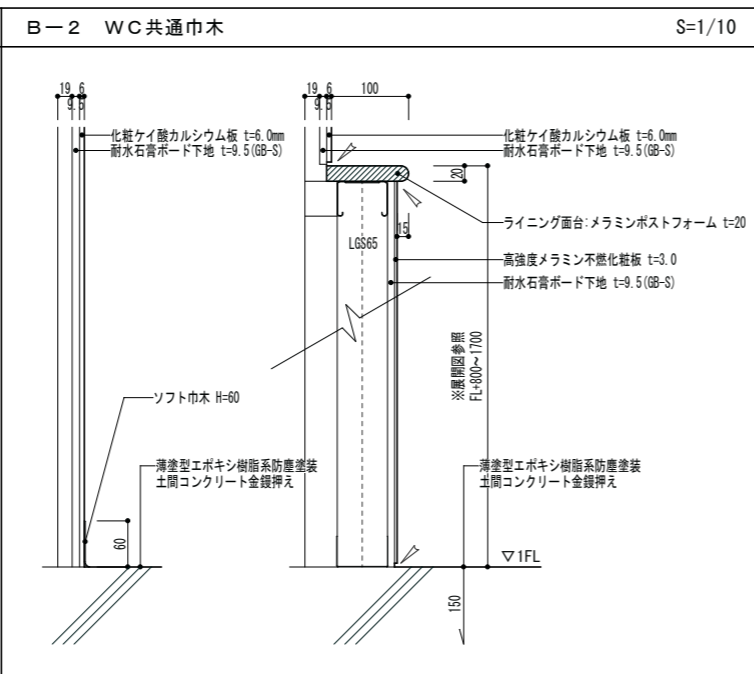
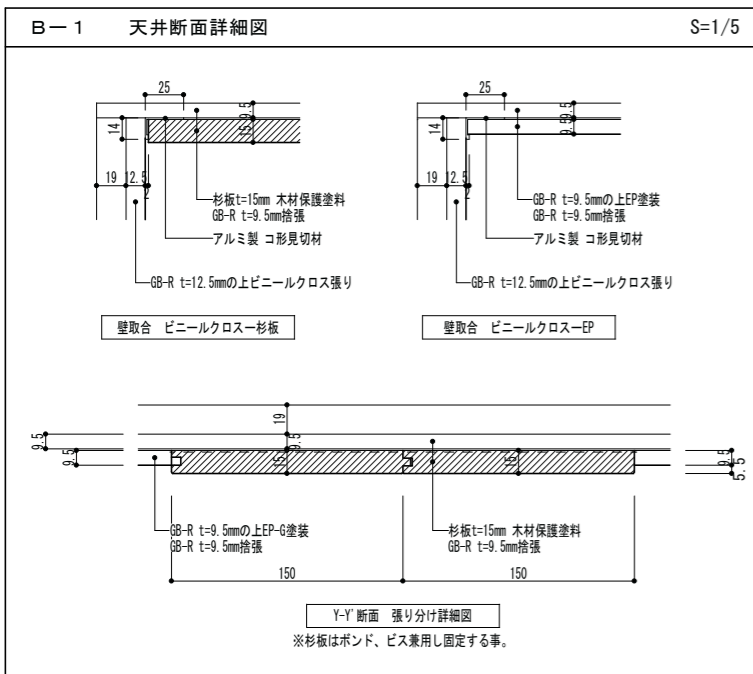


正面図 S=1/20



側面図 S=1/20

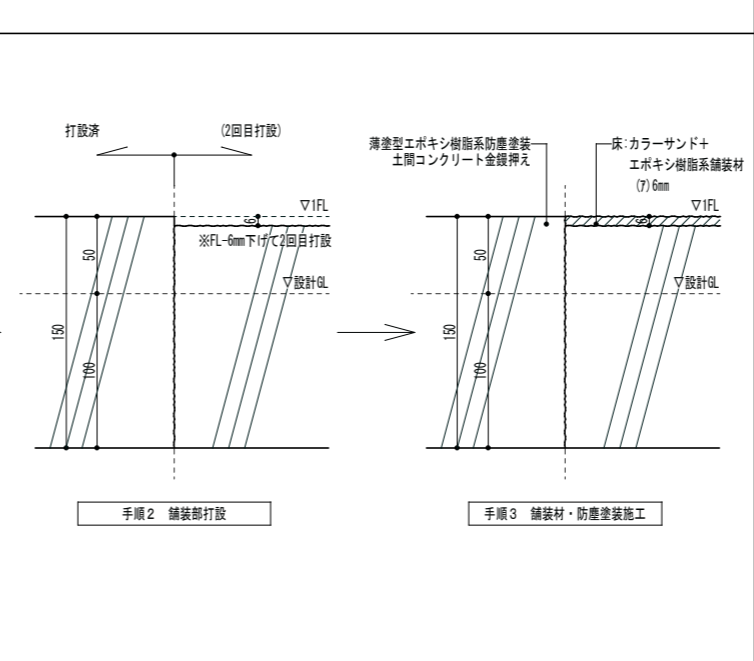
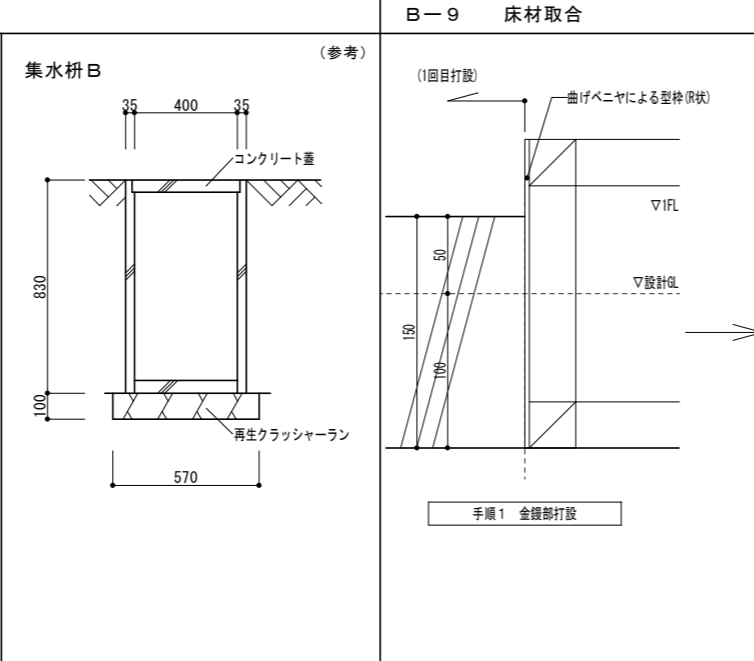
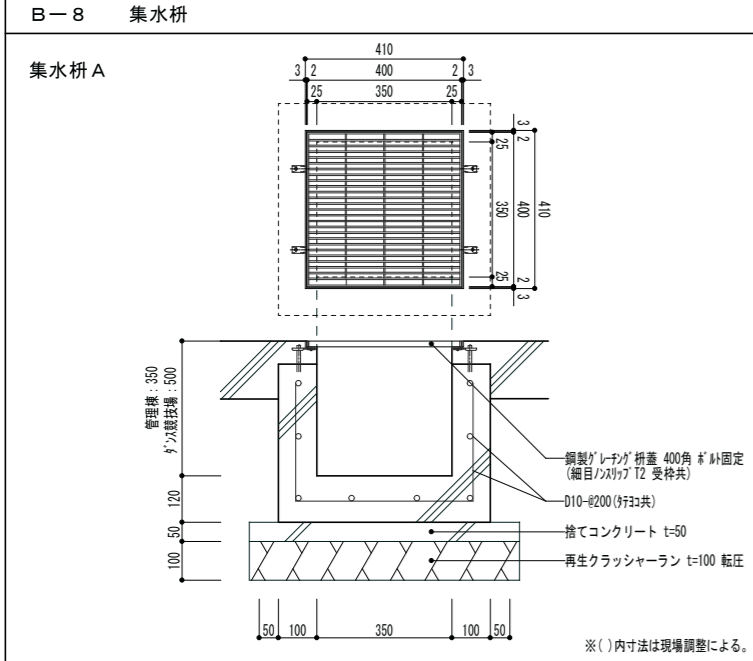
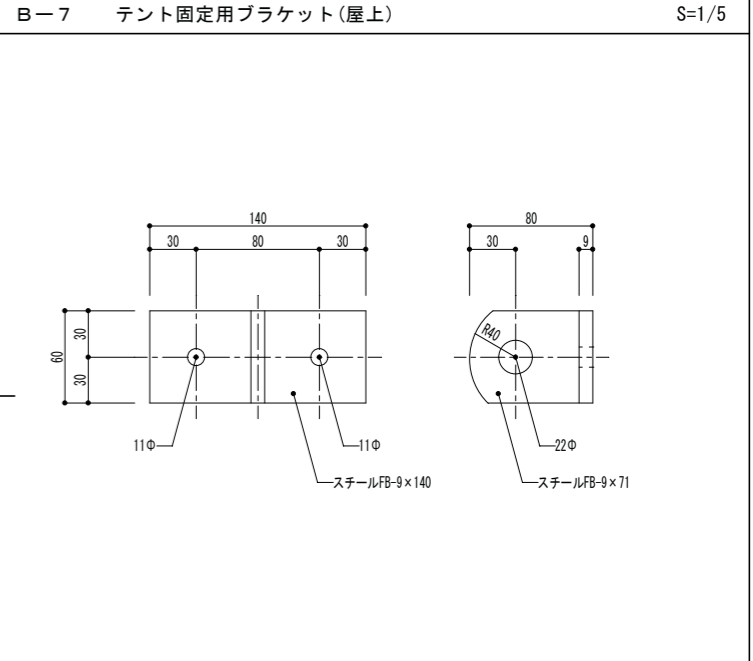
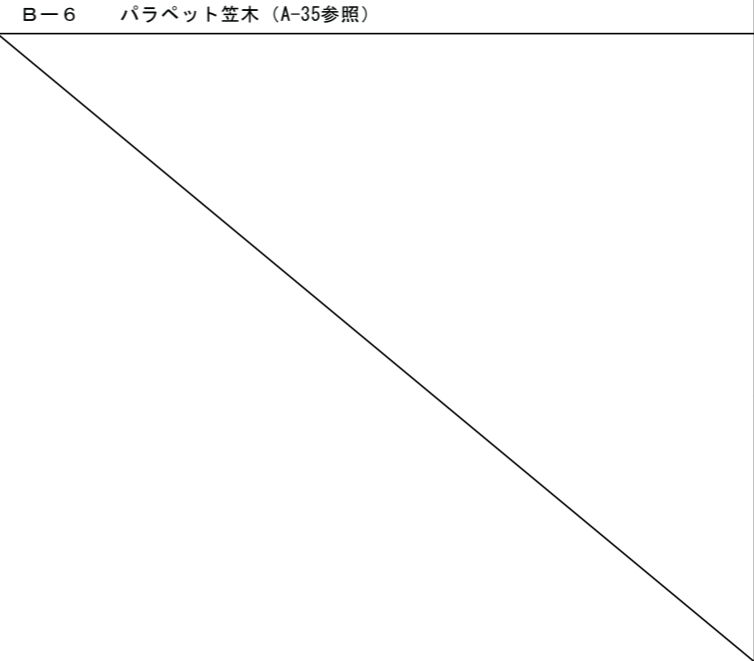
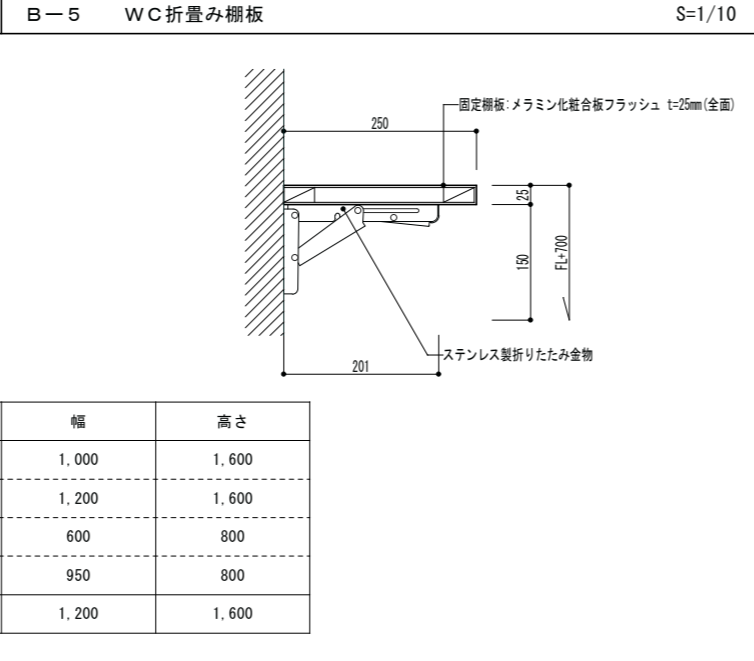
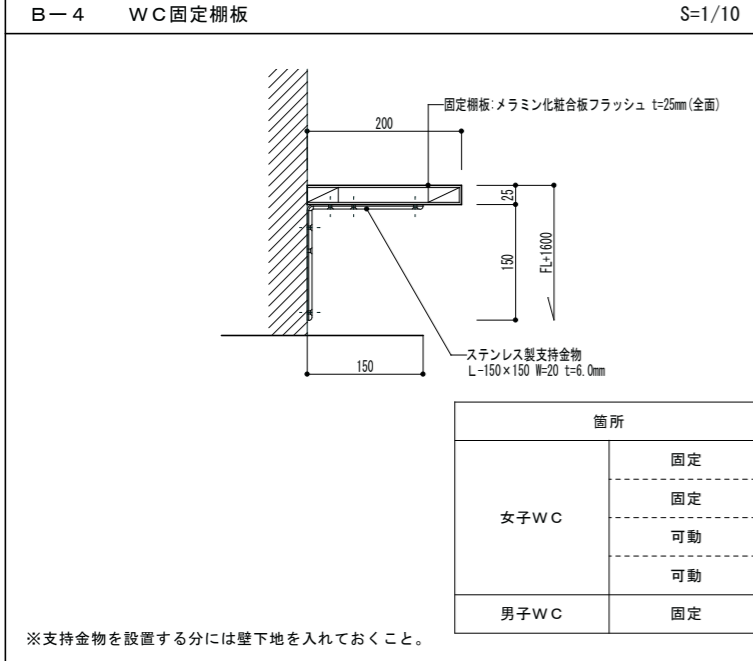
一級建築士事務所 知事登録 第1-4-16号	スケートボード等専用施設管理棟 ほか1棟新築本体工事	A-30
トラス・アーキテクト株式会社	部分詳細図5 (室外機外部フェンス)	
一級建築士 第344260号 木元 達也	鹿児島市建設局建築部建築課	

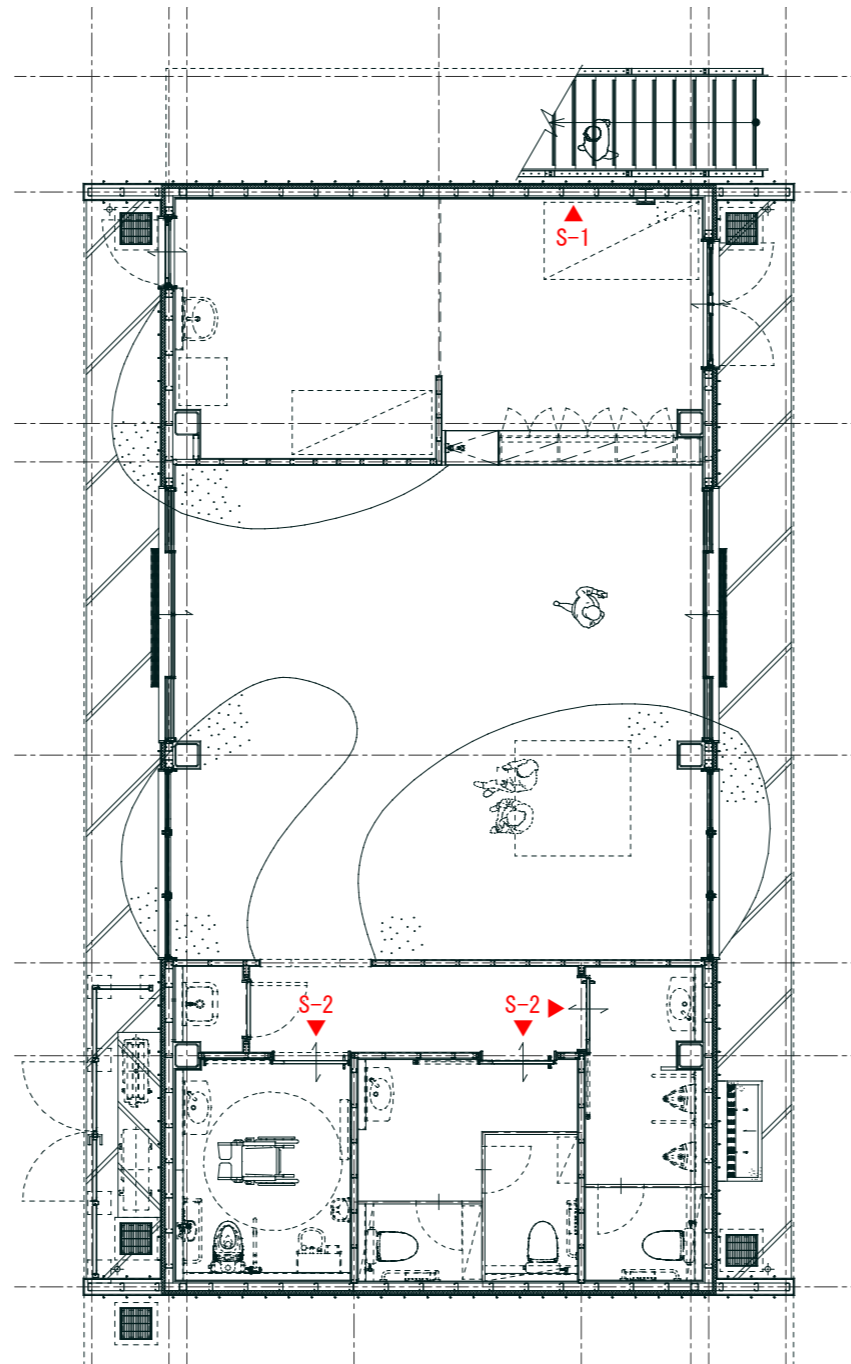


**面台一覧**

箇所		幅	高さ
用具入	洗面	100	1,200
バリアフリータイル	手洗い	100	850
	便器		1,700
	オストメイト		
女子WC	手洗い	100	1,000
	便器		800
	便器		
男子WC	手洗い	100	1,000
	便器		800
	小便器		1,300

※別途設備工事による衛生器具取付用の下地補強完了後、耐水石膏ボード(GB-S)を施工する事。  
印は、シーリングを示す(各図共通)





管理棟 1階サイン平面図 S=1/100

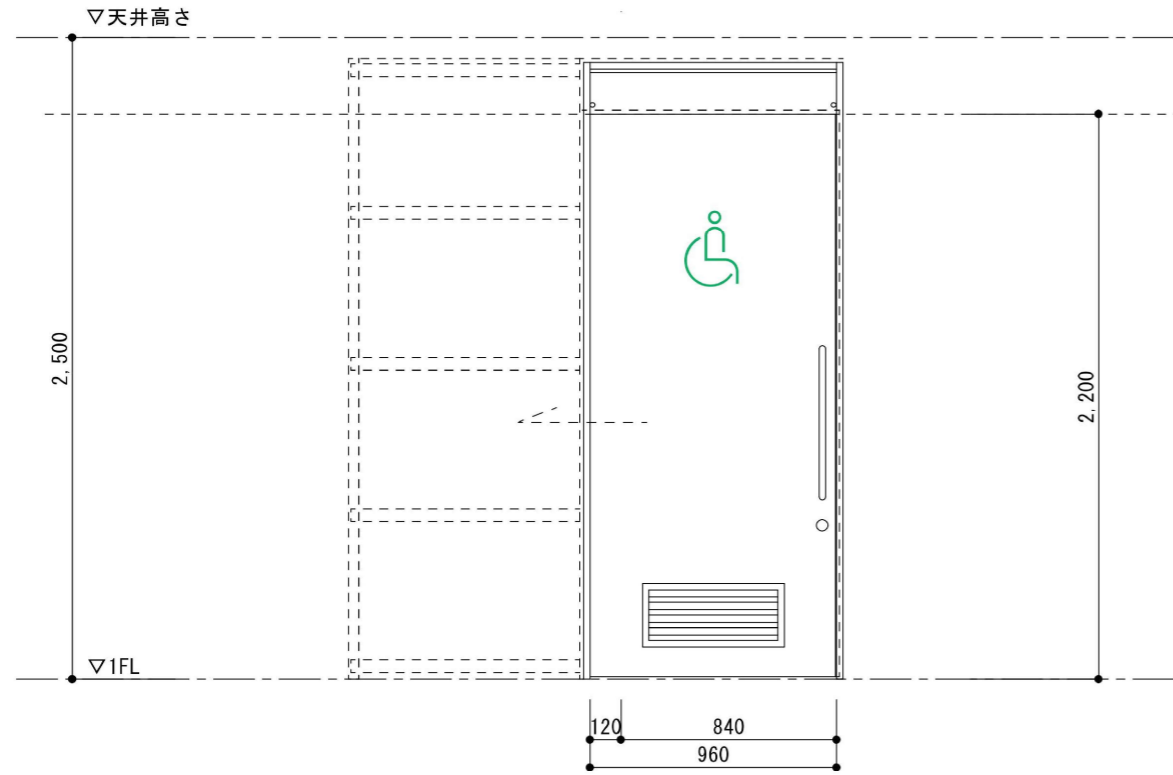
一級建築士事務所 知事登録 第1-4-16号 トラス・アーキテクト株式会社 一級建築士 第344260号 木元 達也	スケートボード等専用施設管理棟 ほか1棟新築本体工事	
	管理棟 サイン平面図	A-32
	鹿児島市建設局建築部建築課	



S-2トイレピクトサイン  
 表示／マーキングフィルム  
 数量／3ヶ所



正面姿図／Scale 1:8

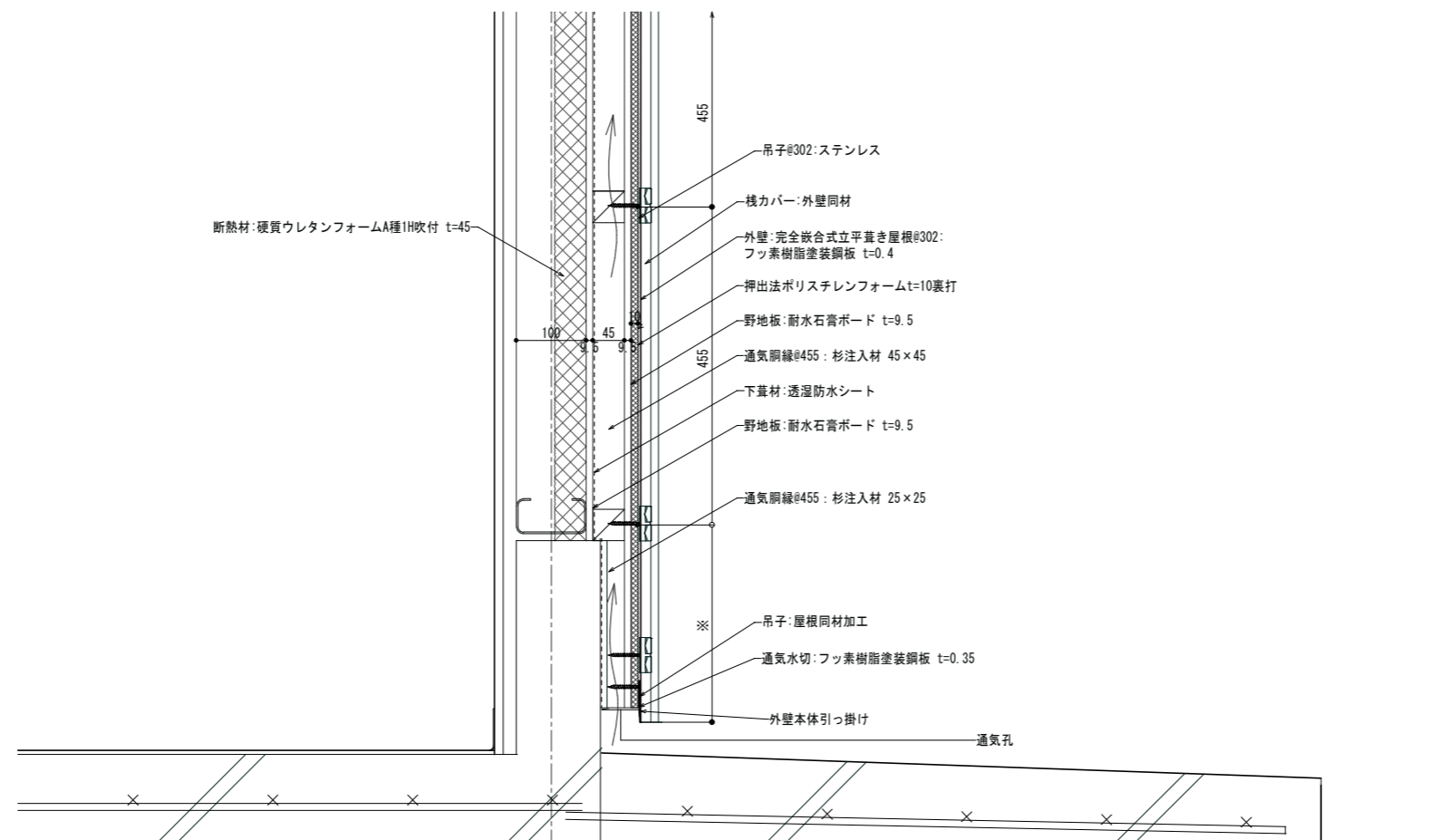
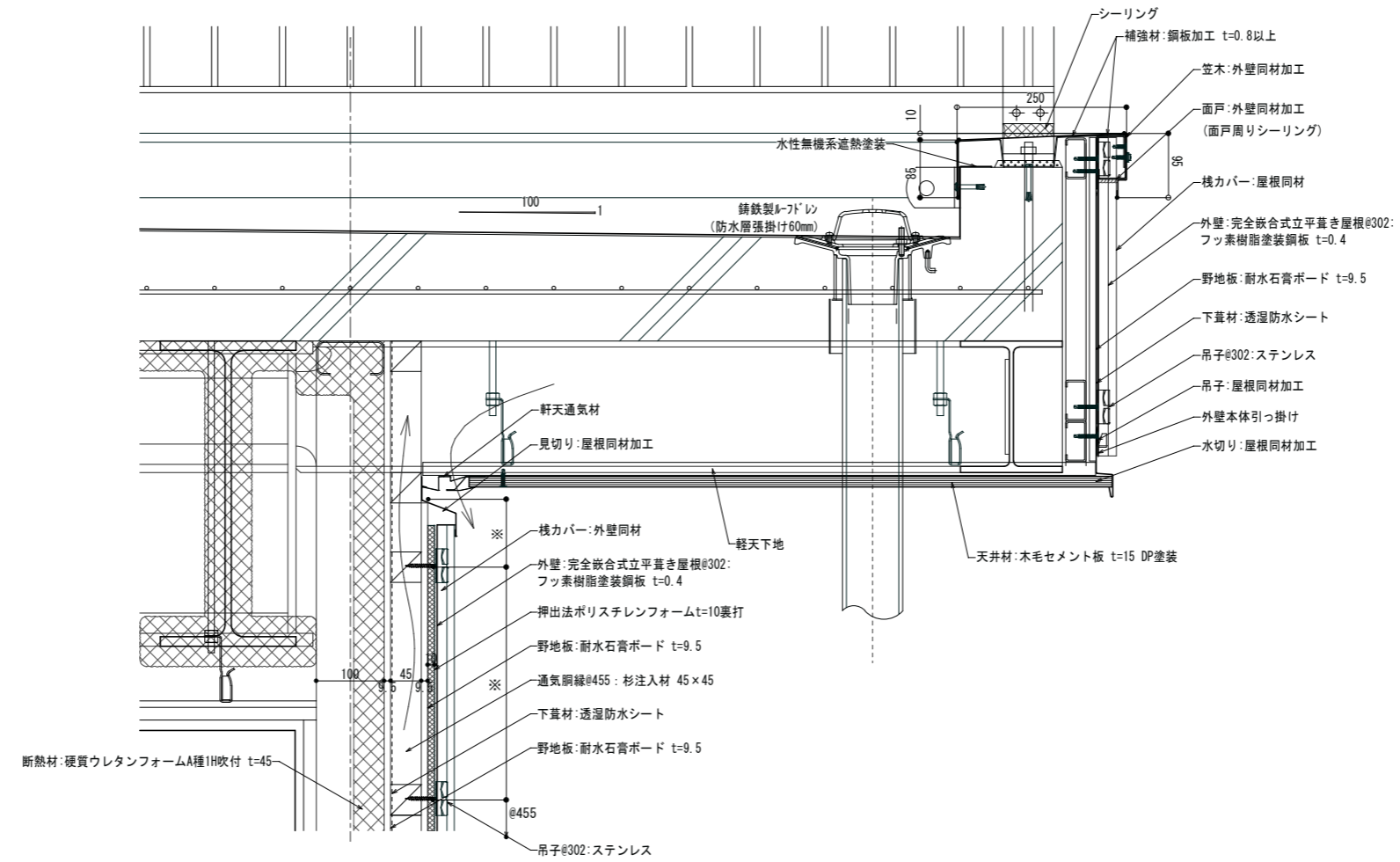


正面姿図／Scale 1:30



正面姿図／Scale 1:30

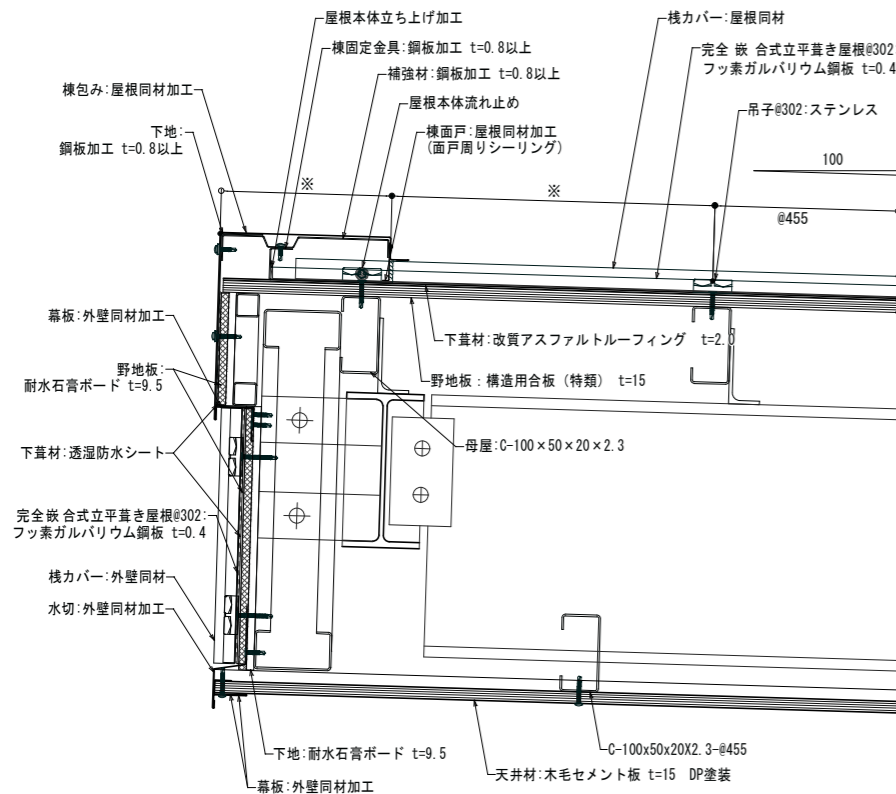
一級建築士事務所 知事登録 第1-4-16号 トラス・アーキテクト株式会社 一級建築士 第344260号 木元 達也	スケートボード等専用施設管理棟 ほか1棟新築本体工事	
	管理棟 サイン(S-2)詳細図 鹿児島市建設局建築部建築課	A-34



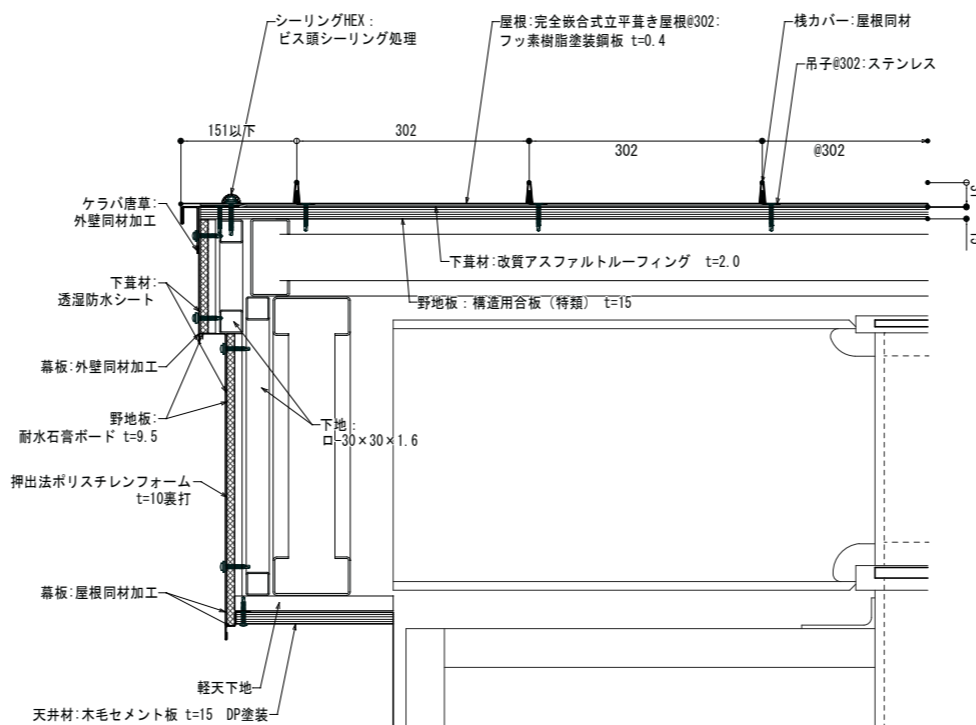
一級建築士事務所 知事登録 第1-4-16号 トラス・アーキテクト株式会社 一級建築士 第344260号 木元 達也	スケートボード等専用施設管理棟 ほか1棟新築本體工事	
	管理棟 屋根各部断面図	A-35
	鹿児島市建設局建築部建築課	

頂部断面図 S=1/10

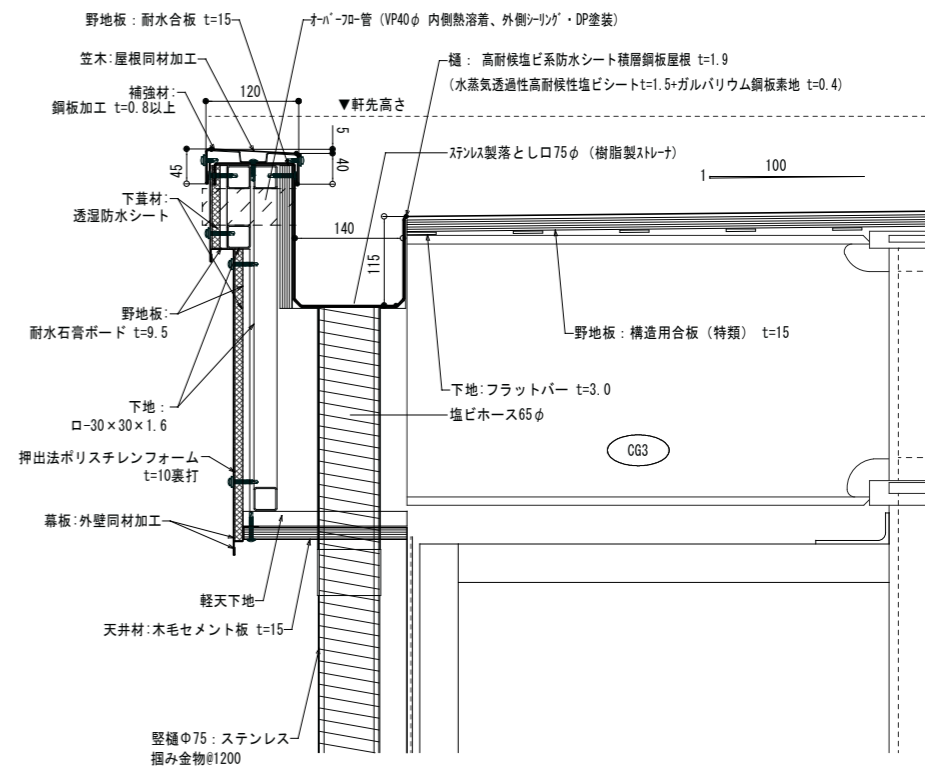
※印は現場合わせとする



ケラバ断面図 S=1/10

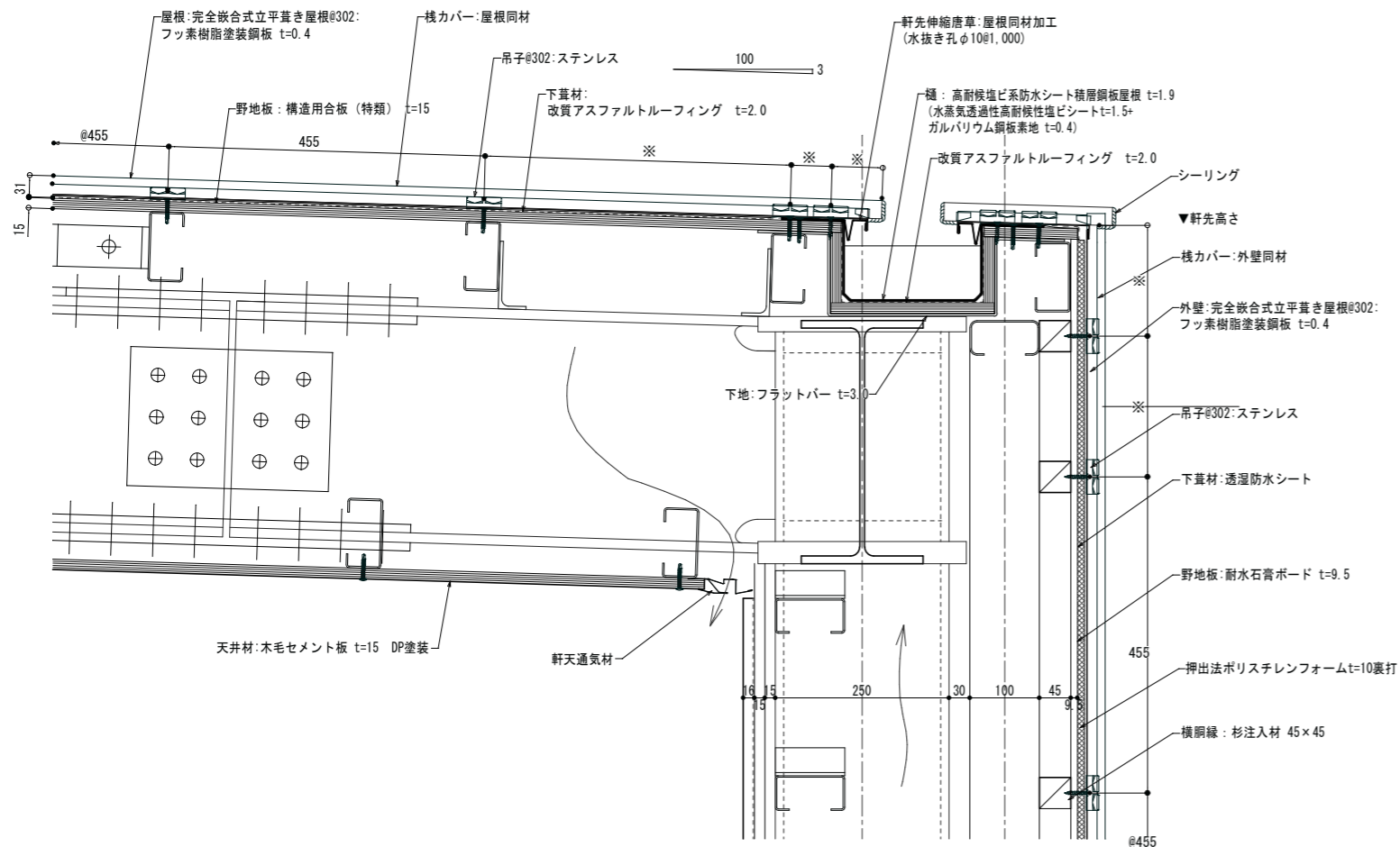


内樋部 ケラバ断面図 S=1/10



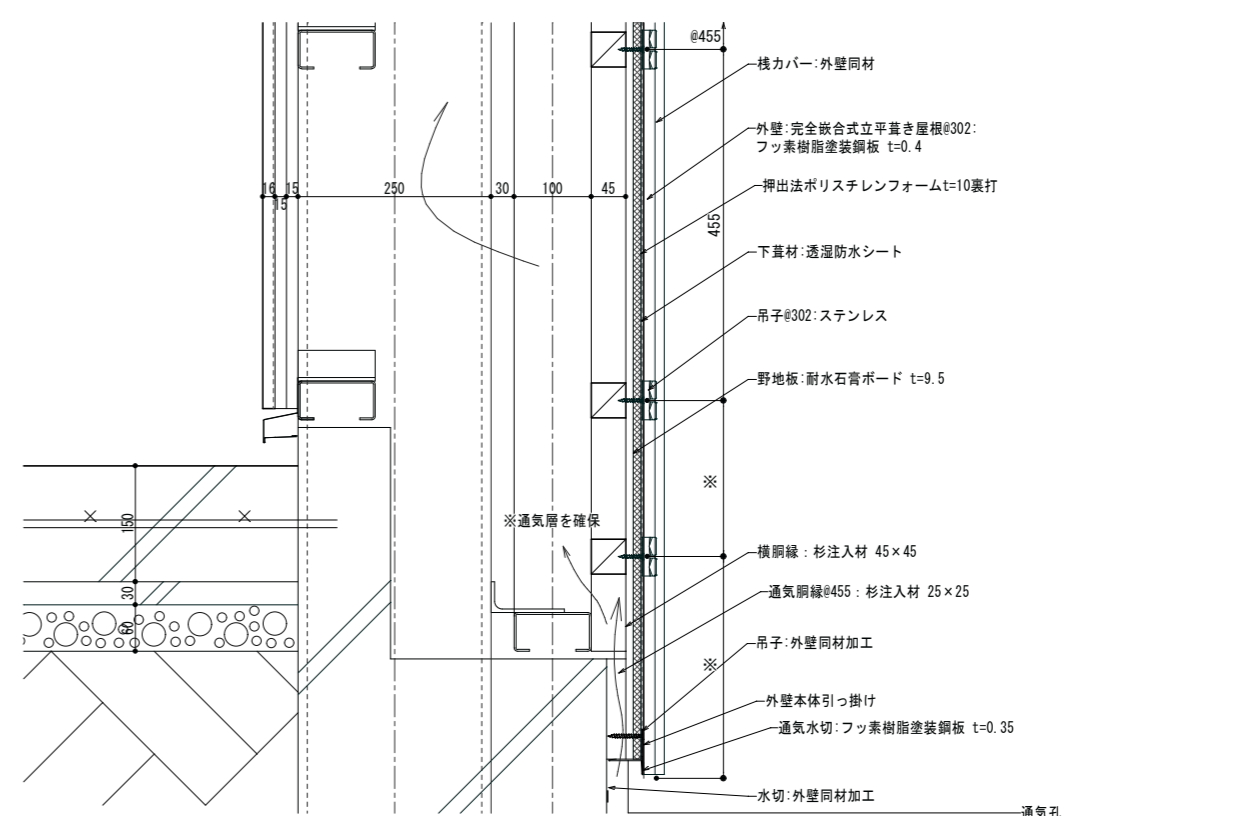
軒先断面図 S=1/10

※印は現場合わせとする



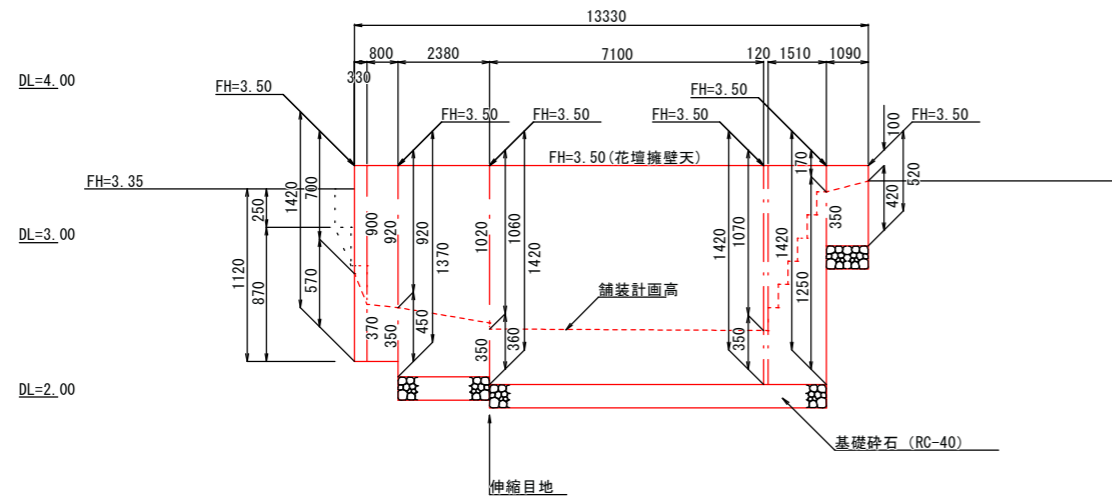
土台断面図 S=1/10

※印は現場合わせとする



構造図（重力式擁壁）

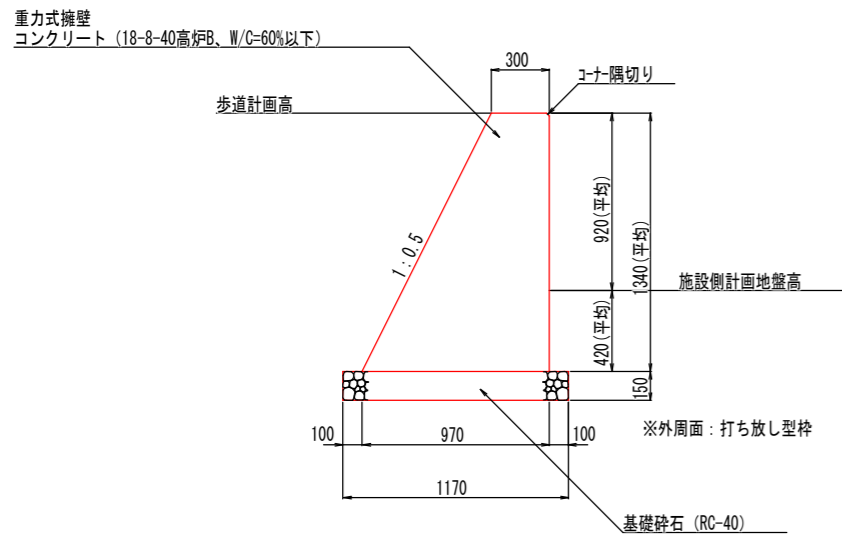
展開図 HS=1:100、VS=1:25 (A1)  
HS=1:200、VS=1:50 (A3)



平面図 S=1:25 (A1)  
S=1:50 (A3)

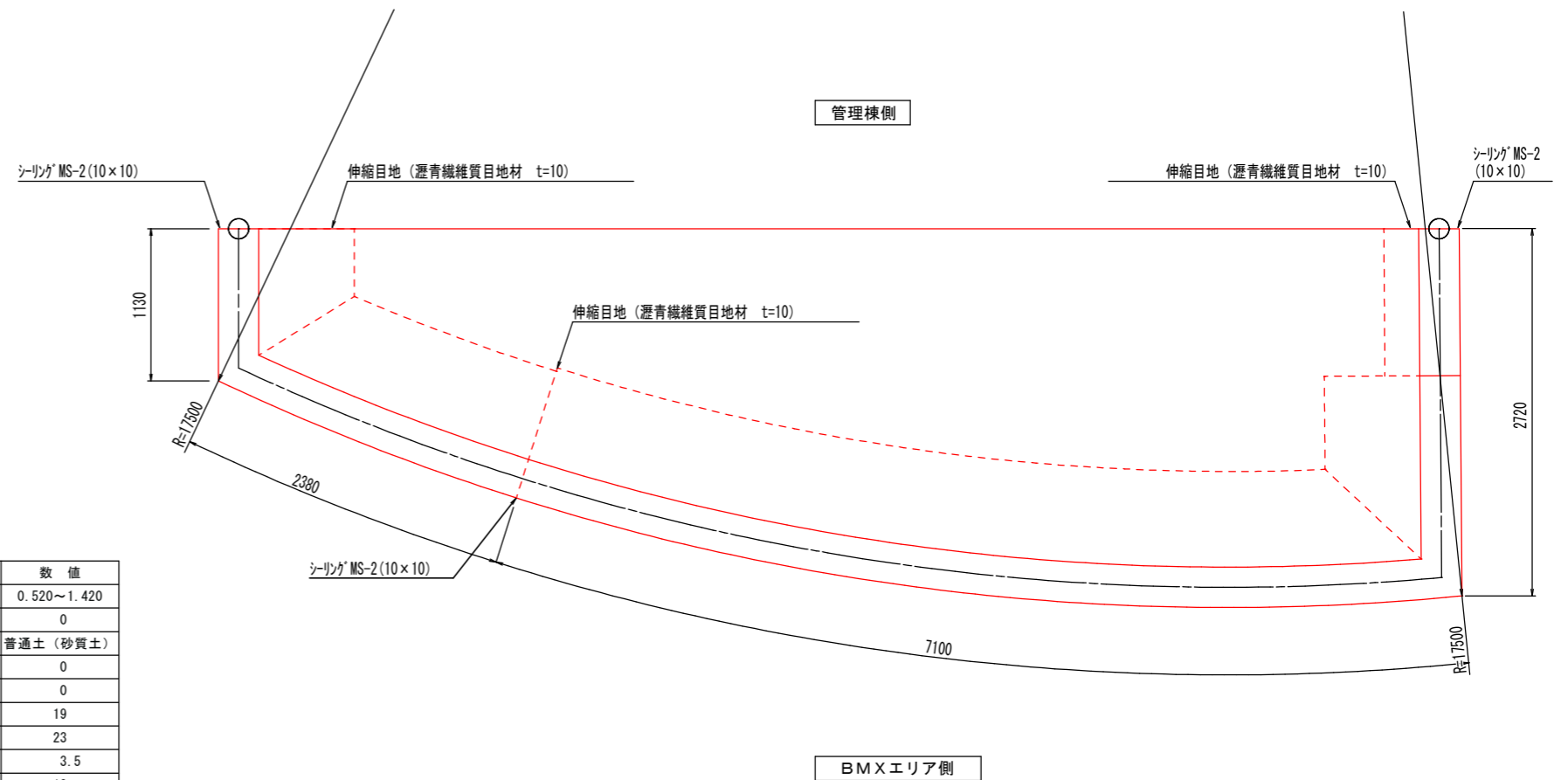
擁壁平均土被り高 =  $(0.57+0.37) \div 2 \times 0.33 + (0.37+0.35) \div 2 \times 0.80 + (0.45+0.35) \div 2 \times 2.38 + (0.36+0.35) \div 2 \times 7.10 + 0.35 \times 0.12 + (0.35+1.25) \div 2 \times 1.51 + (0.35+0.42) \div 2 \times 1.09 \div 13.33 = 0.42 \text{ (m)}$   
 擁壁平均高 =  $[1.42 \times 1.13 + 1.37 \times 2.38 + 1.42 \times (7.10 + 0.12 + 1.51) + 0.52 \times 1.09] \div 13.33 = 1.34 \text{ (m)}$

標準断面図 S=1:20 (A1)  
S=1:40 (A3)



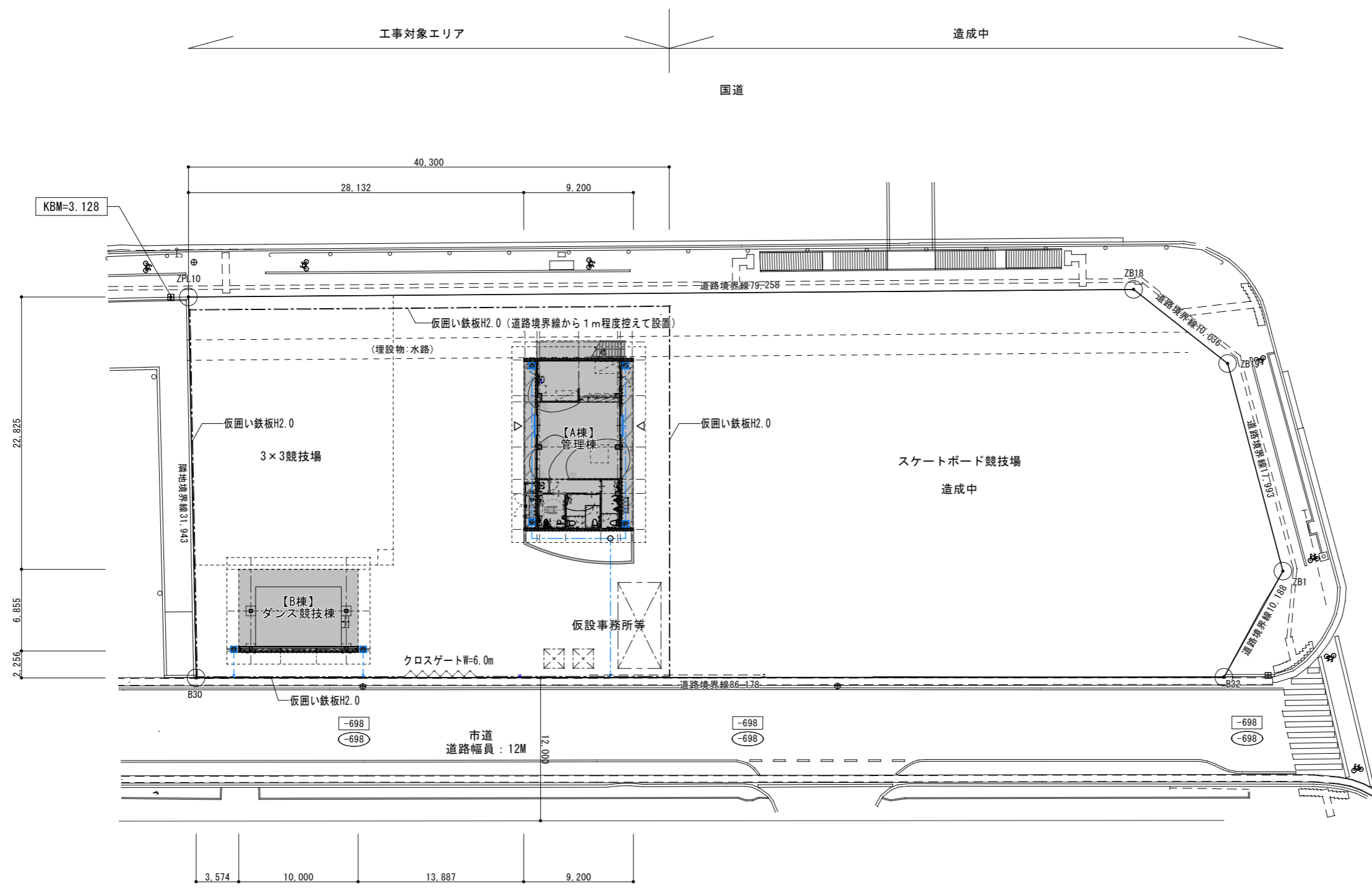
設計条件

項目	記号	単位	数値
擁壁高	H	m	0.520~1.420
盛土高	Ho	m	0
裏込め土の種類	C	-	普通土（砂質土）
盛土勾配	1:N	-	0
高さ比	Ho/H	-	0
単位体積土砂		kN/m <sup>3</sup>	19
重量コンクリート		kN/m <sup>3</sup>	23
載荷重	q	kN/m <sup>2</sup>	3.5
コンクリート設計基準強度	σ <sub>ck</sub>	N/mm <sup>2</sup>	18
滑动摩擦係数	μ	-	0.6
滑动安全率	F <sub>s</sub>	-	1.5



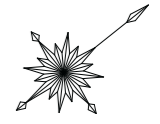
管理棟側

BMXエリア側



市道  
法42条1項1号道路  
道路幅員：27.8M

- ※搬出入部分は、ゴムマットの上敷き鉄板により適切に養生すること。
- ※仮設事務所等の設置場所については、設備工事業者とも確認の上、支障がない位置に計画し、事前に監督員に確認すること。
- ※3×3競技場エリアは、発生土の仮置き場所等として利用ができる。



スケートボード等専用施設管理棟 ほか1棟新築本体工事	
仮設計画図	A-38
鹿児島市建設局建築部建築課	